

令和 元 年度
事業報告書

(自) 平成 31 年 4 月 1 日

(至) 令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

目 次

総 括	1
会員の状況	2
法人運営の状況	3
地域福祉の部	13
包括支援の部	38
居宅介護の部	58
自立支援の部	72

【巻末】法人運営理念・サービス精神・職員心得

総 括

近年、社会福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。社会の構造的変化に伴いひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、また厳しい経済状況を背景とした生活困窮者や地域から孤立する世帯の増加など、様々な福祉課題が山積している。

南丹市社会福祉協議会(以下「社協」)ではこうした福祉課題に対応すべく、行政と社協が一体となり策定した「第3期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を基盤に「みんなでつくる、誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち」の実現に向け、様々な取り組みを進めてきた。

第2層圏域(町域)では、社協の各事務所に地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターを配置し、地域の福祉課題への対応や、住民活動の支援やコーディネートに力を注いできた。特に地域における福祉課題については、住民主体の福祉活動による課題解決力を強化していくため、生活支援コーディネーターが中心となって地域福祉活動の調整役として様々な取り組みに挑戦した1年であった。また毎年開催している地域別懇談会では、今年度も多くの住民に参加いただき、貴重な意見をいただくことができた。こうした活動を通して、住民と共に多様化する地域ニーズや課題の把握に努めてきた。

福祉サービス利用援助事業(京都府社協委託事業)、生活困窮者自立支援事業(南丹市委託事業)では、これまで以上に各関係機関とのネットワークを活かしながら、一人ひとりが抱えるニーズに対応できるよう個別支援の強化に取り組んできた。社協では法人後見を受任できる体制整備を進め、多様化するニーズに細やかに対応できるよう、成年後見利用促進にも努めてきた。

包括支援部門においては、高齢者が地域で安心して生活が送れるよう相談支援事業、権利擁護事業、介護支援専門員に対する支援の充実等を図ってきた。また人生100年時代ともいわれる中、認知症に対する正しい知識と理解を広めるため、昨年に引き続き認知症地域支援の推進をはじめ、様々な啓発活動を行った。

居宅介護部門、自立支援部門では法人内他部門との連携を強化しながら社協らしいサービスの提供に努めてきた。各介護サービス事業では、第三者機関による評価を受け、更なるサービスの質の向上に取り組んだ。障害福祉サービス事業では、障がい児、障がい者の地域での安心できる生活の継続だけでなく、すべての人々がどのような立場でもその背景を理解し、支え認め合う「地域共生社会」の実現に向け取り組んだ。業績については、収支差額が2年連続で赤字となり、財政基盤をも揺るがしかねない決算となった。聖域を排除して、あらゆる改革に取り組み、一刻も早く財政健全化を成し遂げなければならない。

自然災害への対応については行政や関係機関と連携し防災講座や防災訓練を実施して、災害時における自助と互助の意識向上に努めた。

一方で、1月に発生した新型コロナウイルス感染症による影響により、2月以降のイベントや会議、講座など軒並み中止・延期となるなど、特に地域福祉関連ではボランティア活動や地域における住民主体の活動・集まりが自粛される傾向にあり、非常に困難な状況にあると言える。また、新型コロナウイルス感染症の経済に与える影響により、困窮状態に陥った住民を対象とした緊急の生活福祉資金の貸し付けや臨時相談窓口の開設などの取り組みをはじめ、未だ収束の兆しが見えない中で、中長期的にも、社協として地域社会や住民の暮らしを守れるよう引き続き尽力していきたい。

会員の状況

事務所	世帯数	普通会員		特別会員		世帯加入率 普通・特別計
		件数	金 額	件数	金 額	
本 所	—	0	0	11	25,000	—
園部事務所	7,019	2,904	2,898,500	12	31,000	41.5 %
八木事務所	3,047	1,699	1,699,000	8	20,000	56.0 %
日吉事務所	2,092	1,330	1,186,000	12	26,000	64.1 %
美山事務所	1,790	1,118	1,110,500	13	29,000	63.2 %
合 計	13,948	7,051	6,894,000	56	131,000	50.6 %

事務所	賛助会員		ふるさと会員		本年度合計金額
	件数	金 額	件数	金 額	
本 所	11	110,000	0	0	135,000
園部事務所	66	340,000	0	0	3,269,500
八木事務所	3	74,000	0	0	1,793,000
日吉事務所	13	65,000	0	0	1,277,000
美山事務所	11	70,000	0	0	1,209,500
合 計	104	659,000	0	0	7,684,000

事務所	普通・特別会費 前年度対比		会費合計 前年度対比	
	前年度金額	増 減	前年度金額	増 減
本 所	32,000	△ 7,000	142,000	△ 7,000
園部事務所	3,010,900	△ 81,400	3,305,900	△ 36,400
八木事務所	1,772,500	△ 53,500	1,837,500	△ 44,500
日吉事務所	1,220,000	△ 8,000	1,305,000	△ 28,000
美山事務所	1,164,000	△ 24,500	1,224,000	△ 14,500
合 計	7,199,400	△ 174,400	7,814,400	△ 130,400

令和 元 年度 法人運営の状況

＜理事会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5月28日 (火)	本 所	理事 14 監事 2 その他 10	① 平成30年度 事業報告(案) ② 平成30年度 決算(案) ③ 令和元年度 第1次 補正予算(案) ④ 委員就任・交代の同意 ⑤ 評議員の解任及び選任候補者推薦 ⑥ 評議員選任・解任委員会の招集／評議員会の招集
第 2 回	6月18日 (火)	本 所	理事 15 監事 1 その他 9	① 会長、副会長、常務理事の選定 ② 顧問選任の同意 ③ 委員交代同意 ④ 職員重要人事の同意
第 3 回	8月20日 (火)	本 所	理事 15 監事 2 その他 9	① 評議員選任・解任委員会 委員の解任・選任 ② 就業規則改正(案) ③ 令和元年度 第2次 補正予算(案) ④ 評議員会の招集
第 4 回	3月18日 (水)	書面決議	理事 15 監事 2 その他	① 規則・規程の改正・制定／運営規程の改正 ② 令和2年度 事業計画(案) ③ 令和2年度 収支予算(案) ④ 委員選任の同意 ⑤ 評議員の解任及び選任候補者推薦 ⑥ 評議員選任・解任委員会の招集／評議員会の招集

＜評議員会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	6月18日 (火)	本 所	評議員 19 理事 3 監事 1	① 平成30年度 事業報告(案) ② 平成30年度 決算(案) ③ 令和元年度 第1次 補正予算(案) ④ 役員(理事・監事)の選任
※平成30年度会計に関する 定時評議員会				
第 2 回	9月10日 (火)	書面決議	評議員 22	① 令和元年度 第2次 補正予算(案)
第 3 回	3月29日 (日)	書面決議	評議員 22	① 令和2年度 事業計画(案) ② 令和2年度 収支予算(案)

＜監事監査の実施状況＞

回	開催日	場所	出席	監査事項・指摘事項
第 1 回	5月22日 (水)	本 所	監事 2 理事 2	① 平成30年度 事業(法人運営・実施事業等) ② 平成30年度 決算(会計・経理等) ※適正と認める
第 2 回	11月28日 (木)	本 所	監事 2 理事 3	① 令和元年度 上半期 事業(法人運営・実施事業等) ② 令和元年度 上半期 決算(会計・経理等) ※適正と認める

＜理事会総務部会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5月17日 (金)	本 所	委員 4 その他 4	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成30年度 事業報告(案)について ※法人運営状況 ③ 平成30年度 決算(案)について ④ 規程の改正について
第 2 回	11月19日 (火)	本 所	委員 3 その他 4	① 令和元年度 上半期事業報告 ② 令和元年度 上半期会計状況報告 ③ 介護職員処遇改善加算の運用について ④ 新人事管理制度について
第 3 回	3月4日 (水)	本 所	委員 4 その他 4	① 理事会・評議員会審議事項について ② 令和2年度 事業計画(案) ③ 令和2年度 収支予算(案) 規則・規程の改正・制定について

＜理事会地域福祉部会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5月20日 (月)	本 所	委員 6 その他 12	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成30年度 事業報告(案)について ※法人運営状況 ③ 平成30年度 決算(案)について ④ 規程の改正について
第 2 回	11月20日 (水)	本 所	委員 6 その他 11	① 令和元年度 上半期事業報告 ② 令和元年度 上半期会計状況報告 ③ 介護職員処遇改善加算の運用について
第 3 回	3月12日 (木)	本 所	委員 6 その他 11	① 理事会・評議員会審議事項について ② 令和2年度 事業計画(案) ③ 令和2年度 収支予算(案) ④ 規則・規程の改正・制定について

<理事会事業部会の開催状況>

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5月20日 (月)	本 所	委員 5 その他 9	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成30年度 事業報告(案)について ※法人運営状況 ③ 平成30年度 決算(案)について ④ 規程の改正について
第 2 回	11月20日 (水)	本 所	委員 5 その他 8	① 令和元年度 上半期事業報告 ② 令和元年度 上半期会計状況報告 ③ 介護職員処遇改善加算の運用について
第 3 回	3月10日 (火)	本 所	委員 3 その他 7	① 理事会・評議員会審議事項について ② 令和2年度 事業計画(案) ③ 令和2年度 収支予算(案) ④ 規則・規程の改正・制定について

<役員(理事・監事)研修会の実施状況>

回	開催日	場所	出席	内容
第 1 回	8月20日 (火)	本 所	理事 15	① 南丹市社協の経営状況と改善に向けて ② 南丹市社協資金運用のしくみ
第 2 回	2月6日 (木)	メルパルク 京都	理事 5	① 令和元年度 京都市府市町村社会福祉協議会 役員セミナー 社協における仕事づくりと人材育成

〈正・副会長会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	4月25日 (木)	本 所	理事会・評議員会審議事項について GW(10連休)中の対応について [報告]職員全体研修について
第 2 回	5月21日 (火)	本 所	平成30年度 事業報告(案)・決算(案) 八木デイサービスセンター空調工事について 園部公民館休止に伴う園部事務所移転について
第 3 回	6月27日 (木)	本 所	令和元年度 社協会費納入依頼について 介護職員初任者研修について [報告]自然災害対応マニュアルについて
第 4 回	7月25日 (木)	本 所	理事会・評議員会審議事項及び役員研修会について 南丹市内社会福祉法人懇談会について [報告]評議員会書面決議について
第 5 回	8月29日 (木)	本 所	職員の制裁処分について [報告]評議員会書面決議について [報告]南丹市社協交通安全教室について
第 6 回	9月26日 (木)	本 所	法人後見事業の進捗状況について [報告]地域福祉計画ガイドブックの発刊について [報告]職員向け災害時初動ハンドブックの作成について
第 7 回	10月25日 (金)	本 所	令和2年度南丹市補助委託金予算要望について 介護職員処遇改善加算の運用について [報告]令和元年度上半期経営事業の収支状況について
第 8 回	11月28日 (木)	本 所	南丹市長への要望活動について [報告]理事会部会について [報告]新人事管理制度について
第 9 回	12月25日 (水)	本 所	年末年始の対応について [報告]職員人事異動について [報告]南丹市障害者支援施設運営委員会での協議について
第 10 回	1月20日 (月)	本 所	理事会審議事項について [報告]南丹市成年後見センター設立準備状況について [報告]福祉サービス利用援助事業運営管理体制検討会について
第 11 回	2月26日 (水)	本 所	令和2年度 職員人事配置(内示)について 平成31年度 事業計画・収支予算(案)について 新型コロナウイルス感染症について
第 12 回	3月25日 (水)	本 所	新型コロナウイルス感染症への対応について [報告]理事会・評議員会について(書面決議) [報告]福祉サービス利用援助事業実地調査について

<企画委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	2月6日 (木)	本 所	第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗報告について 各事務所の取組報告（地域別懇談会、たすけあい会議等）

<企画小委員会 合同会議の開催状況>

回分	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5月21日 (火)	市役所 日吉支所	事務局体制、委員の役割、前年度事業報告、今年度事業計画等の説明 各町小委員会での懇談 正副委員長の選出

<園部町企画小委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	9月17日 (火)	国際交流会館	地域別懇談会について ふれあい委員活動について 地域福祉推進組織づくりについて
第 2 回	11月29日 (金)	国際交流会館	地域懇談会や今年度事業のふりかえり、たすけあい会議について

<八木町企画小委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6月13日 (木)	八木事務所	地域別懇談会について
第 2 回	7月25日 (木)	八木事務所	懇談会に向けたワークショップ（学校避難所机上訓練）
第 3 回	8月28日 (水)	八木事務所	地域別懇談会について

＜日吉町企画小委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6月17日 （ 月 ）	日吉事務所	地域別懇談会について
第 2 回	10月31日 （ 木 ）	日吉事務所	地域別懇談会の振り返りと、今後の日吉事務所事業について

＜美山町企画小委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	8月19日 （ 月 ）	美山事務所	地域福祉事業の進捗報告 意見交換
第 2 回	12月18日 （ 水 ）	美山事務所	今年度地域福祉事業や各地区福祉活動の報告、地域別懇談会について

＜広報委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6月5日 （ 水 ）	本 所	正副委員長の選出 今年度の広報発行計画について 『なんたん社協だより』（第41号）の発行（7/12）について
第 2 回	8月9日 （ 金 ）	本 所	『なんたん社協だより』（第42号）の発行（9/27）について
第 3 回	12月5日 （ 木 ）	本 所	『なんたん社協だより』（第43号）の発行（1/10）について
第 4 回	2月26日 （ 水 ）	本 所	『なんたん社協だより』（第44号）の発行（3/27）について

＜ボランティアバンク運営委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5月30日 (木)	本 所	V基金運用、前年度事業報告、今年度事業計画等の説明 正副委員長の選出 ボランティアバンク助成（グループ・ボラ連）について
第 2 回	7月11日 (木)	本 所	第13回南丹市ボランティア交流会について ボランティア活動振興事業の報告 ボランティアバンク助成申請に対する委員会意見（審査）
第 3 回	8月29日 (木)	本 所	※ボランティア連絡協議会との合同会議 第13回南丹市ボランティア交流会について
第 4 回	11月8日 (金)	本 所	第13回 南丹市ボランティア交流会について ボランティアグループ紹介冊子「ぼらん」の更新について ボランティアバンク助成申請に対する委員会意見（審査）

＜福祉資金調査委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	7月19日 (金)	本 所	正副委員長の選出 夏期くらしの資金貸付について（申請なし） 資金償還状況／生活福祉資金借受者の状況について
第 2 回	12月5日 (木)	本 所	年度 冬期 くらしの資金 貸付について くらしの資金償還状況について 督促強化取り組み実績報告 生活福祉資金借受者の状況について

＜苦情解決第三者委員会・個人情報保護委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	8月29日 (木)	本 所	正副委員長の互選 苦情報告費について 職員の制裁について
第 2 回	3月	本 所	新型コロナウイルス感染症の影響により延期

＜善意銀行運営委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	8月30日 (金)	本 所	正副委員長の互選 平成30年度福祉基金決算並びに今年度の状況について
第 2 回	3月	本 所	新型コロナウイルス感染症の影響により延期

◇ 令和元年度 ボランティア基金 運用実績

(金額単位：円)

基金原資 ①	利 息 ②	売買による損益 ③	運用益合計 ④＝②＋③	年間運用率 ⑤＝④÷①×100
93,000,000	2,179,000	0	2,179,000	2.343%

※運用率は少数点第4位切り捨て

◇ 令和元年度 福祉基金(善意銀行積立金)残額

(金額単位：円)

区分	内 容	積立額	取崩額	
繰越	前年度末積立金残高	53,980,744	0	
取崩	見舞金(1件) 家屋全焼	0	50,000	
積立	預金利息	4,616	0	積立金残額
合 計		53,985,360	50,000	53,935,360

＜職員全体研修＞

【日 時】 平成31年4月21日(日) 9:00～16:15

【場 所】 南丹市日吉生涯学習センター 遊youひよし

【テーマ】 社協の総合力 ～チームワークアプローチを考える～

【目 的】

住民主体・協働につながる機能を有する社協をいかにバランスよく機能させていくのか。地域福祉の施策化が進む中、社協はどのように事業を進めていくのか。個々の職員の能力を高めるだけでなく、様々な部門・分野の職員が連携・協働し総合力を高め、社協組織マネジメントを具体的に考え学ぶ。

1. 本年度事業計画・収支予算を理解・共有し、他部門との連携強化を図る。
2. 部門間連携・協働について考え学ぶ。
3. 社会福祉の原点に立ち返り、事業・支援の目的、意味について考える。
4. 社協事業マネジメント、経営について考え、学ぶ。

【内 容】

1. 開会（「サービス精神」唱和、会長あいさつ、新任職員紹介、オリエンテーション）
2. 本年度事業計画・収支予算について
3. 社協の経営と課題について
4. 社協が向き合う連携・協働の価値、意義について
(講師)愛知教育大学 福祉講座 教授 川島ゆり子氏
5. 演習（グループワーク）「社協内連携、どうすすめる？～お互いの役割を考えてみよう～」
6. 閉会（講評）

【参 加】

常勤正規・嘱託職員：84名(参加率89.3%) [参加対象職員数計：94名(産休・育休2名除く)]

＜人事管理制度改革の取り組み＞

人事評価制度(業務・目標管理、マニュアル・評価票)においては試行運用の2年目として、以下の取り組みを進めた。正式運用に向け、引き続き検証とブラッシュアップを進めていく。

新人事評価制度検証ワーキングチーム

新人事管理制度の導入・評価の活用やその課題等を把握し、制度の改善や職員の理解促進、人材育成に効果的につなげるための取り組みに関することについて検討する。

	日 時	協議・検討内容
第1回	令和元年12月23日(月)	WTの趣旨と進め方について、制度しくみについて (問題点など) その他
第2回	令和2年1月20日(月)	業務管理・目標管理シートの検証、様式の改善点について その他
第3回	令和2年1月28日(火)	業務管理・目標管理シート 様式の改良について その他
第4回	令和2年2月6日(火)	業務管理・目標管理シート 様式の改良について その他
第5回	令和2年2月18日(火)	業務管理・目標管理シート 様式の改良について 基礎・半期評価について その他
第6回	令和2年3月5日(木)	業務管理・目標管理シート 様式の改良について 最終まとめについて
第7回	令和2年3月16日(月)	業務管理・目標管理シート 様式の改良について 最終まとめについて

〈南丹市内社会福祉法人連携・協働の取り組み〉

社会福祉法人が改正され、地域の福祉ニーズに対応する社会福祉法人の連携・協働による具体的な取り組みが進められる中、南丹市においても市内社会福祉法人の懇談会を開催することができた。また、市内社会福祉法人連絡会設立に向け準備会を開催することができた。

■令和元年度 第1回 南丹市内社会福祉法人懇談会

【日時・場所】 令和元年 7月17日(水) 南丹市社会福祉協議会 本所

- 【内 容】 ①あいさつ・開催趣旨説明
②南丹市より「福祉避難所の運営について」
③情報・意見交換

【参 加】 南丹市内10社会福祉法人 (全12法人中)

■令和元年度 第1回 南丹市内社会福祉法人連絡会設立準備会

【日時・場所】 令和2年 1月27日(月) 南丹市社会福祉協議会本所

- 【内 容】 ①あいさつ・開催趣旨説明
②報告 介護職員初任者研修について
③協議 ・連絡会設立に向けて ・介護職員初任者研修余剰金の使途について

【参 加】 ・社会福祉法人 長生園
・社会福祉法人 アイリス福祉会
・社会福祉法人 日吉たには会
・社会福祉法人 北桑会
・社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

〈介護職員初任者研修の取り組み〉

地域の介護福祉人材の確保と養成に寄与し、住民の福祉ニーズに対応できるよう市内他法人と連携しながら取り組むことができた。

【研修期間】 令和元年10月1日～令和2年1月31日

【受講者数】 定員25名 受講者数10名 修了者数9名

【協力期間】 (研修講師及び実習受け入れ先、その他)

- ・社会福祉法人 長生園 ・社会福祉法人 アイリス福祉会 ・社会福祉法人 日吉たには会
・社会福祉法人 北桑会 ・社会福祉法人 未生会 ・社会福祉法人 京丹波福祉会
・社会福祉法人 みその会 ・社会福祉法人 京都太陽の園 ・株式会社○△□Sukku(スック)
・社会福祉法人 七野会 ・社会福祉法人 美山育成苑 ・南丹市高齢福祉課

〈災害対応への取り組み〉

多発する自然災害への対応を強化するため、自然災害対応マニュアルを発行するとともに、職員向けに災害時の初動ハンドブックを作成し全職員に配布した。

■南丹市社協 自然災害対応マニュアル発行

【発行日】 令和元年8月1日

■南丹市危機管理対策室と社協との災害時の連携に係る打ち合わせ

【日時・場所】 令和元年8月21日 南丹市役所3号庁舎

- 【内 容】 ①協定内容の確認
②災害発生時の情報連携について
③災害ボランティアセンター設置場所について

■南丹市社協 災害時初動ハンドブック発行

【発行日】 令和元年10月1日

地域福祉の部

1. 住民が主体的に取り組む地域づくりの支援

① 見守り活動の充実

ふれあい委員と民生児童委員との連携強化や、各地域における交流活動の支援を通じて、見守り活動の充実を図った。

(1) 見守り活動を通じた問題・ニーズの早期発見と共有・早期対応

◆「あんしんあんぜん情報（見守りチラシ）」の発行（月1回発行、印刷部数：4,500枚／回）

＜テーマ＞

4月	民生児童委員・ふれあい委員について	10月	転倒防止
5月	交通事故にご注意	11月	ヒートショックに注意
6月	食中毒対策	12月	火災予防
7月	熱中症対策	1月	インフルエンザ予防
8月	夏バテ解消	2月	特殊詐欺に注意
9月	防災	3月	脳トレクイズ

◆ふれあい型給食（毎月1回）

令和元年度 配食数：1,230食（園部517食、八木502食、美山211食）

【成果】月1回の定期訪問が、見守りになっている。

【課題】給食ボランティア担い手（新規ボランティア加入）の課題（園部・八木）
調理委託業者が継続して事業を受けてもらえるか（美山）

◆各町民生児童委員協議会 総会・定例会への参加

（園部4/18、9/19、12/12、9/25、八木1/10、日吉4/23、美山4/23）

- ・ふれあい委員との連絡協力、社協との連携について依頼
- ・社協事業概要説明

◆区長への協力依頼

- ・今年度より区長会に外部団体が出席できなくなったため、資料配布により協力依頼を行った。
- ・一部地域では自治会役員会に出席し協力依頼等を行った。
5/10 八木 南地区自治会役員会

◆「ふれあい委員研修会」の開催

- ・各町で開催（4/13～21） ふれあい委員の役割・活動内容について説明。
参加者 計206名（園部44名、八木85名、日吉39名、美山38名）※八木、日吉は民生児童委員含む

◆住民主体の見守り活動

- ・「近隣ミニネットワーク」（園部町木崎町区）
希望する高齢者を対象に協力員が戸別訪問し、サロンなど集いの場への参加の呼び掛けや、日頃の安否確認、災害時の避難誘導などを行う活動を継続している。
- ・「健友会見守り訪問活動」（園部町新町区）
対象者と「出会った」「訪問した」「電話した」回数を記録し、第1月曜日に情報共有を行い1度も関わりのなかった方を訪問。

◆ふれあい委員「ブロック会議」／「ブロック代表者会議」等

＜園部町＞

「ふれあい委員 ブロック会議」

6ブロックで実施（元桐 6/7、摩気 4/23、川辺 6/29、元町 5/18、西本梅 6/21、元村 6/22）

内容：普段の活動紹介、民生児童委員との意見交換、警察署より防犯啓発、合同サロンについて協議

【成果・課題】今年度は、摩気、西本梅の各振興会役員の参加があり、合同のサロンなど地域の集いについても意見交換された。摩気地域では、昨年度から取り組んでいる「まんぷくサロン」の具体的な相談も行われた。今後は、地域福祉の中心的役割を担う民生児童委員とふれあい委員が協働して全ブロックにおいて集い・催しなどが計画できるよう推進したい。

＜八木町＞

「ふれあいネットワーク会議」

（各回、全10ブロック…南地区A・B・C・東地区A・B・C・西地区A・B・北地区・神吉地区）

全10地区、年5回開催（5月、7月、9月、11月、2月）

内容：情報交換、ふれあい事業、ゴミ出し、地域別懇談会、見守り活動の中で気づいたこと 等

「ふれあいネットワーク ブロック代表者会議」

8月29日（木） 内容：地域福祉部八木事務所について／自己紹介シート（地域の良いところ・見守り活動で気づいたこと）を活用して懇談

【成果】行政区ごとに主体的な話し合いを展開。今年度は「たすけあい会議」とも連動し、ゴミ出し問題について協議を行った。

【課題】ネットワークでつながりながら活動を楽しむことや、支え合いの意識をどのように醸成していくかが重要になる。社協（事務局）の関わり、アプローチのあり方が非常に重要になる。任期中で育まれた意識や関わりが、任期を終えられると途絶えないように、フォローが必要である。

＜日吉町＞

「ふれあい委員正副ブロック長会議」

10月2日（水） 内容：日吉町ふれあい委員交流会について

「日吉町ふれあい委員交流会」

2月13日（木） 内容：明治国際医療大学の池本先生による健康体操、公共交通に関する聞き取り（市地域振興課）

【成果】民生児童委員にも参加していただき、交流することができた。

【課題】参加率が前年度より下がった（ふれあい委員37%、民生児童委員40%）

＜美山町＞

「宮島地区 ふれあい委員・民生児童委員交流会」

12月18日（水） 内容：地域福祉活動ガイドブックの紹介と、活動事例紹介

【成果】他地域の活動を知ること、自分の地域での活動のヒントになった。

「平屋地区 ふれあい委員・民生児童委員交流会」

2月10日（月） 内容：ふれあい委員と民生児童委員の違いと共通点について学び、互いの立場についての理解を深める機会とする。

【成果】新任民生児童委員も多い中、ふれあい委員の役割を知ってもらうことで互いの連携を深めることができた。

◆地域福祉活動助成「ミラたね助成」事業

「地域の未来（ミラ）に種（タネ）をまく」ことを目的に、地域住民どうしが協力して主体的に取り組む地域福祉活動に対して、3万円を上限に助成。

助成件数：計7件

- ①みんなでお茶しよう会（園部町・新堂区）、②レクリエーション学習会（八木町）、
- ③南地区自治会（八木町・南地区）、④上保野田エゴマ栽培実行委員会（日吉町・上保野田）、
- ⑤下保野田老人クラブ（日吉町・下保野田）、⑥豊郷公民館（美山町・豊郷地区）
- ⑦上胡麻いきいきサロン（日吉町・上胡麻）

- 【成果】 各々の地域実態に応じた助成事業を継続して実施することができた。
- 【課題】 一定の地域に偏ることなく、広く助成を広報し、紹介することが必要である。

◆「ふれあい事業」（ふれあいネットワーク活動助成事業）

- ・八木町ふれあいネットワーク9ブロックで開催（8/22～11/23）
内容：ラジオ体操、レクリエーション、脳トレ、体操、手芸、活動パネル展示、会食 など

【成果】 ブロック合同や地域の祭りへの参加といった活動区域を越えた取り組みが展開されはじめている。事業を通して、ふれあいネットワークの意義や活動を地域に広める役割も果たしている。

【課題】 今年度は、開催されないブロックがひとつあった。助成については検討が必要。

◆ひとり暮らし高齢者のつどい

- 日 時：10月24日（木）10時00分～14時30分 場 所：南丹市国際交流会館イベントホール
- 内 容：南丹亭百笑さんの落語、唱歌カルタ、みんなで歌おう、会食、大抽選会 他 参加者：80名
- 共 催：園部町民生児童委員協議会、南丹市社会福祉協議会園部事務所

② 居場所・交流づくりの推進

活動助成や交流事業を通じてサロン活動を支援した。既存のサロンでも活動が続けにくくなっているところもあり、今後の支援方法について検討が必要である。

(1) サロン・居場所を通じたつながりの充実

◆ふれあいいきいきサロン（3月末現在） 登録：123サロン（園部49、八木17、日吉18、美山39）

新規立上げ 1サロン（園部町西本梅「サロン令和永無月会」）

サロン活動助成（1人あたり月1回150円） 助成額計1,663,800円（のべ11,092人分）

【成果】・サロン活動に見守り活動の視点を取り入れて次年度からは地域で気が付いたことを報告していただくように様式を変更する。

【課題】・新規サロン立ち上げの思いはあるものの、実際に立ち上がりに至っていない地区がある。（八木）

・活動報告書の提出（写真の添付）が負担であるとの声がある。（日吉）

・新しくなったサロン助成であるが、地域からはやや使いづらくなったとの声がある。（美山）

◆青戸ふれあいいきいきサロンとほほえみ八木通所介護事業所介護職員との協働（八木）

- ・地域住民と専門職が課題に対して向かいあう体制づくり

4月15日（月） サロン参加者30名、社協職員2名 八木町管内事業所のお話、脳トレ

6月17日（月） サロン参加者21名、社協職員7名 地域包括支援センターの役割、介護予防体操

10月21日（月） サロン参加者30名、社協職員4名 イスヨガ、〇×クイズ、作品展、寸劇

12月16日（月） サロン参加者26名、社協職員7名 介護予防体操、観音寺駐在所の寸劇、会食

2月17日（月） サロン参加者22名、社協職員2名 認知症の話、脳トレ、詩の郷紹介、防災クイズと試食

【成果】 地域住民と社協職員のつながり強化

【課題】 社協の中で、効果的な振り返りや、成果、課題の検証ができていない。他地域へ波及できていない。

(2) サロンどうしの交流、活動紹介・情報発信の充実

◆南丹市サロン交流会

11月22日（金）	国際交流会館	参加者：27名 講師・関係機関職員・社協職員：11名
11月25日（月）	日吉は一とびあ	参加者：19名 講師・関係機関職員・社協職員：12名
12月4日（水）	美山保健福祉センター	参加者：23名 講師・関係機関職員・社協職員：14名

＜内 容＞

- ・サロンや家庭で実践できる体操・運動の意義等の学習（南丹地域リハビリテーション支援センター協力）
- ・意見交換（事前アンケートによるテーマについて）
- ・各サロンの取組内容を冊子にして配布（サロンの定番・人気メニュー・介護予防体操の取組み等）
- ・サロン活動の写真・作品の展示

【成果・課題】 講師の講義内容が好評であった。 学習の時間と交流の時間を設ける等の工夫を行った。

開催形態や時期（他事業との調整）等、サロン交流会の在り方を検討していきたい。

◆平屋地区サロン従事者交流会（美山）

- ・平屋地区のサロン代表者及び参加者による交流会を開催。社協の貸出物品を展示、体験。

日時：8月27日（火）19時30分～ 参加者：19名、社協職員5名

【成果・課題】サロン同士での近況報告により、互いに刺激になった。サロン助成についても改めて説明し、内容について一定納得してもらえた。内容が毎年同じような感じなので、そろそろ違うパターンも取り入れたい。

◆上平屋笑話サロンと北桑田高校美山分校生との交流

- ・北桑田高校生3名がサロンを訪ね、自身で考えたり制作したゲームや手作りのお菓子をふるまい、地元高齢者との交流を深めた。（6/19、1/22の2回開催）

【成果・課題】高齢者からはスカットボールの遊び方を高校生に教えたり、お互いに得意なことを交換し合え、大変いきいきとした場が作れた。単発で終わらずに、年に1回ないし数回のペースで、また他地域のサロンなどでも開催できると良いと思った。

◆西本梅合同いきいきサロン

日時：10月2日（水）10時～13時

【成果・課題】サロンを開催していない地区に対しての案内に課題が残ったが、多くの参加者があり、音楽を聴きながら手遊びなどで交流をすることができた。

◆「あんしんあんぜん情報（見守りチラシ）」の裏面活用によるサロン活動紹介

毎月、民生児童委員やふれあい委員を通じて配布いただく見守りチラシの裏面に、園部、美山事務所では、サロン活動紹介の記事を掲載した。

【成果・課題】ごく身近な話題や、あえて人の顔の写真を載せることで、ご近所での良い話題になっている。

(3) サロン・居場所における介護予防活動の充実

- ・サロン交流会（上記）において介護予防活動として南丹圏域地域リハビリテーションセンターより体操の体験学習を実施した。

③ 協働ですすめる地域福祉の体制づくり

（旧）小学校区エリアを基本として多様な団体、関係者、住民等が協力し合い、交流活動、支え合い活動、活動拠点づくり、実態把握活動などを先進的に取り組む地区を地域福祉推進モデル地区として、前年度から継続して3地区指定している。社協職員は地区組織の関係者との企画協議や情報提供、調整、活動助成金交付などを行うことによって、諸活動のステップアップにつなげた。モデル地区の取り組みは、様々な機会を通じて紹介し他地域での活動のきっかけとなることをねらいとしてた。

また、モデル指定期間（3ヶ年）が終了した地区のうち、地区福祉活動計画策定済みの2地区に対しては、地区福祉活動の発展的推進のために必要な活動費の助成交付を行った。

(1) 地域福祉推進組織の立上げ支援、および継続支援

- ・地域福祉推進モデル事業・・・3地区
- ・地域福祉推進継続・発展事業・・・2地区

指定地区・活動主体	事業年数	実施内容
(1) [美山]鶴ヶ岡地区 ／鶴ヶ岡住み続けられる町 づくり推進会議	モデル 2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービス事業の継続・充実 ・スマートフォンのアプリを活用した災害時の連絡体制の構築 ・鶴ヶ岡地区福祉活動計画の検討
(2) [園部]摩気地区 ／特定非営利活動法人 摩気高山の郷振興会	モデル 2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援事業の視察（富田林市ほっとらいふ）の報告（地区懇7/18） ・外出や移動に困りごとがあると見受けられる高齢者に対する調査活動（民生児童委員、ふれあい委員の訪問等により）結果を地区懇談会（7/18）にて報告。 ・摩気地区合同まんぷくサロン開催と参加者送迎（5/21）。 ・摩気高山の郷文化祭にて摩気地区合同まんぷくサロン開催と参加者送迎（11/24）

指定地区・活動主体	事業 年数	実施内容
(3) [美山]宮島地区 ／元気にすごせるまち宮島 協議会	モデル 3 年目	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段のない高齢者の支援としておでかけツアーの実施（美山町宮島地区内および園部方面）と元気アップ体操 6～3 月、計 9 回実施 ・民生児童委員とふれあい委員の交流会の実施 ・次年度、地域福祉活動計画策定に向けた役員会を開いた。
(4) [日吉]佐々江・四ツ谷地区 ／住みよいむらづくり協議会	発展 1 年目	<ul style="list-style-type: none"> ・旧五ヶ荘小学校を拠点にした共助の基盤づくりを推進し、モデル指定 3 年目の H30 年度末に地区の福祉活動計画「わたしたちの未来図」を策定し、その計画実践を継続し発展させるための諸活動を推進している。 ・居場所づくり、健康体操教室の開催、五ヶ荘オープンデーなどへのさらなる参加の呼びかけが課題（通信の発行、参加者の送迎、大学生との連携）
(5) [美山]平屋地区 ／平屋地区地域福祉推進協議会	発展 1 年目	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 期目の地区福祉活動計画（H30～R4 年度）に基づき、ふれあいカフェの充実とお出かけツアーの実施に向けた協議を重ねた。 ・大谷大学学生との協働による住民調査の結果分析や先進地視察研修（三和町）を実施した。 ・お出かけツアーの実施（10 月～、計 5 回実施） ・移動支援の取組みのモデル指定地区として、具体案を提案した。

【成果】 各々の地域実態に応じた助成事業を継続して実施することができた。

【課題】 一定の地域に偏ることなく、広く助成を広報し、紹介することが必要である。

(2) 支え合いの地域づくりに向けた継続的な協議の場の運営支援

◆地域別懇談会の開催

（旧）小学校区域やブロック地域を単位に市内全 21 地区（ブロック）での開催計画のうち 20 地区で実施し、計 448 人の参加を得た。地元区や福祉推進組織との懇談テーマや日程調整の状況により開催が下半期に及ぶ地域もあった。

具体事例による情報提供と、住民どうしの参加と協力によってできることを話し合っていたことによって、地域の状況の把握と関心を高めていただくことができた。

出された意見や検討された事項を実行に移すための準備として出席者（参加案内者）へ結果報告を行った。またエリア会議やたすけあい会議等において報告し共有を図った。

〈園部事務所〉

地区/ブロック	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	地元役員	合計	参加率
元桐	9月 5日（木）	8 人	5 人	8 人	8 人	0 人	29 人	70.7%
摩気	7月18日（木）	6 人	7 人	7 人	3 人	7 人	30 人	69.7%
川辺	8月 1日（木）	5 人	2 人	4 人	3 人	8 人	22 人	70.9%
元町	9月19日（木）	4 人	4 人	0 人	3 人	0 人	11 人	50.0%
西本梅	8月29日（木）	6 人	2 人	3 人	2 人	3 人	16 人	45.7%
元村	10月 3日（木）	6 人	6 人	7 人	7 人	0 人	26 人	66.6%
計		35 人	26 人	29 人	26 人	18 人	134 人	62.9%

【成果・課題】 今年度は「住民がすすんで取り組む地域づくり」をテーマとして意見交換をしていただいた。懇談の話題提供として、各ブロックで地元の方から、取り組んでいる地域活動や、高齢者の暮らしの実状などをお話いただいた。身近な方からの話題提供により、参加者も興味深く聞くことができ、その後の懇談の話も活発になっている地域が多くあった。社協からの資料としては①ブロック内サロン活動一覧②世代間交流に関するアンケート調査（地元で開催されている住民が集う催し）の結果等を配布した。また、全参加者及び欠席者に対して各ブロックで発表された意見を集約した報告書を送付した。

＜八木事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	一般	合計	参加率
南	1月25日（土）	3人	9人	5人	0人	18人	35人	
東	11月16日（土）	1人	5人	3人	2人	8人	19人	
西	10月 6日（日）	0人	2人	5人	4人	16人	27人	
北	10月 5日（土）	2人	1人	4人	1人	12人	20人	
神吉	2月 5日（水）	3人	3人	4人	0人	13人	23人	
計		9人	20人	21人	7人	67人	124人	

※今年度は、ひとりひとりが地域で支えあう意識を高めることをねらいとして、避難所設営の机上訓練と非常食の試食を行った。

【成果】各地域への波及効果として、南地区の災害時避難者支援マップ作成会議においては、避難所設営訓練を計画化された。サロンにおいては、防災をテーマに非常食の試食を実施された（2ヶ所）。お知らせなんたんで広報することにより、一般の参加者があった。

【課題】より広く参加いただくための開催日程の調整がむずかしい。

＜日吉事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	ボランティア 代表	その他	合計	参加率
保野田・ 志和賀	7月12日（金）	1人	2人	3人	1人	1人	8人	16人	64%
佐々江・ 四ツ谷	7月19日（金）	1人	4人	3人	0人	1人	4人	13人	28.5%
世木	7月26日（金）	1人	4人	4人	3人	3人	6人	21人	46.6%
胡麻	8月 3日（土）	5人	5人	6人	1人	2人	16人	35人	44.8%
田原	8月 9日（金）	3人	3人	0人	0人	0人	4人	10人	40%
計		11人	18人	16人	5人	7人	38人	95人	44.9%

【成果・課題】「日吉のまちでワクワクすることをやってみる会2019」と題して開催、社協の情報提供として、日吉町の状況、他府県の支え合いの取り組み事例を紹介した。後半はワークショップ形式で地域の課題と課題解決のための取組を議論した。移動手段、居場所、多世代交流による地域活性化等が主な課題として多く上げられた。取り組み内容の検討も今後社協として密に関わりを持っていきたい。

＜美山事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	サロン 代表	福祉協 関係等	合計	参加率
知井	7月19日（金）	0人	5人	5人	2人	0人	13人	25人	62.5%
平屋	3月10日（火）	-	-	-	-	-	-	-	中止(※)
宮島	12月18日（水）	0人	3人	3人	0人	0人	4人	10人	52.6%
鶴ヶ岡	6月21日（金）	11人	4人	10人	0人	0人	18人	43人	68.2%
大野	2月10日（月）	0人	2人	7人	0人	1人	8人	18人	64.2%
計		11人	14人	25人	2人	1人	43人	96人	61.9%

【成果・課題】どの地域も活発な意見交換がされた。宮島地区については、福祉協の存在をアピールすると共に、役員の参画を促したい。大野地区においてはモデル事業終了後、自力での運営に向けて頑張っておられる。運営面でのバックアップをしっかりと行っていきたい。

（※）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◆地域たすけあい会議（第2層協議体）の開催

地域の方々の参加と協力による支え合いによって課題解決できることを定期的、継続的に協議し合う場として昨年度各事務所エリアで発足し、2ヶ月に1回ほどの割合で開催した。（3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。）

生活支援コーディネーターを中心に、地域福祉コーディネーターや事務所長が事務局を担当し、包括支援センター相談員も協議メンバーとして参加し、地域の課題解決に向けた協議の場の運営を行い、市行政や既存の各種協議体とも情報共有を行った。

協議テーマを検討しながら、市内の活動実践の紹介やテーマ別の勉強会の検討などに主に取り組んだ。

<園部地域たすけあい会議>

開催日 5月22日、7月23日、9月26日、11月25日、1月29日

内 容：助け合いサービスについて、天引区「便利屋さん」の紹介・意見交換

見守りネットワークについて、木崎町区「近隣ミニネットワーク」の紹介・意見交換

防災について、川辺地区「平成30年7月豪雨災害対策」の報告・意見交換

地域福祉活動ガイドブックから地域に必要な資源を検討・意見交換

日常生活総合事業の先進地事例から園部町に必要な事業を検討・意見交換 他

【成果・課題】地域での自助、共助による助け合いを推進するうえで多面的に課題を共有することができた。今後は地域での具体的な助け合いの制度化、事業化が求められる。

<八木地域たすけあい会議>

開催日 5月17日、7月19日、9月9～10日、10月7日、12月9日

内 容：・認知症学習会、講義を受けてフリートーク、

・いきがい・助け合いサミット in 大阪（共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践～分科会）

・南丹市各町のたすけあい会議及びモデル事業の実施状況を情報共有

・生きがい活動支援通所事業の今後の予定について

・移動支援について（八木の現状）

・ゴミ出し問題について調査結果報告（八木町管内介護支援専門員、民生児童委員、ふれあい委員にアンケート調査を実施）

【成果】たすけあい会議は何をやるかについて、改めて共通理解が図れた。メンバー同士の顔の見える関係づくりが図れた。

【課題】若いメンバーは会議の欠席が続いている。地域へのアプローチができていない。しくみづくりにいたっていない。

<日吉地域たすけあい会議>

開催日：4月11日（木）、6月6日（木）、8月22日（木）、10月24日（木）、12月16日（月）

内 容：各地区の取組み、振り返り、地域の困り事等、意見交換

協議体の役割について、地域の課題について（地域別懇談会の報告等）

【成果・課題】「地域の課題・困り事」「地域の居場所」「移動支援の仕組み」といった話し合いを行い、どのように取り組んでいったら良いか模索する中で、対象地域を絞り実態を知るための調査活動を行い、委員の方々に報告した。

調査結果は次年度の取組みの資料とし、今後はさらに地域を広げて調査活動を行い、協議体で議論を深めていく。

<美山地域たすけあい会議>

開催日：7月18日（木）、12月11日（水）

内 容：前回会議振り返り、認知症カフェ、移動支援活動について、今後の会議の進め方について

【成果・課題】「認知症カフェの開催」をテーマに始めた話し合いは、各地域のサロン等での認知症の理解を広げることが大事ということへ繋がった。

移動支援についても各地域共通テーマとして話題にのぼり、全町で取り組んでいけるよう協議を重ねたい。

(3) 活動財源づくり

◆南丹市共同募金委員会「運営委員会」

	月日	内 容
第 1 回	5月24日(金)	H30事業及び会計決算の報告、R1事業計画及び収支予算の提案・承認
第 2 回	8月26日(月)	R1募金運動の提案・承認、歳末たすけあい募金助成事業の提案・承認

◆南丹市共同募金委員会「審査委員会」

	月日	内 容
第 1 回	6月19日(水)	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集分)の審査、 当事者団体活動助成(公募分)の審査
第 2 回	8月26日(月)	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集分)の審査、 福祉まつり等助成(公募)の審査
第 3 回	11月21日(木)	年末年始地域交流事業の審査

◆助成実績

助成事業名		件数	助成金額
赤い羽根募金 (一般募金) 助成分	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集)	9 件	781,231 円
	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集)	6 件	449,868 円
	当事者団体活動助成(公募)	1 件	300,000 円
	当事者団体活動助成(指定)	7 件	360,000 円
	福祉まつり等助成(公募)	1 件	150,000 円
	ボランティアグループ活動一般助成	55 件	545,000 円
	ボランティアグループ活動特別助成	18 件	332,287 円
	サロン活動助成	1,450 人	217,500 円
	生活困窮者支援助成	1 件	70,000 円
歳末たすけあい 募金助成分	激励金助成(個人)	454 人	2,270,000 円
	施設激励金助成	19 件	190,000 円
	年末年始地域交流事業助成	1 件	50,000 円
	サロン活動助成(歳末)	1,713 人	638,400 円
	歳末たすけあい見守り訪問事業	3,493 人	578,140 円

◆「赤い羽根共同募金運動」、「歳末たすけあい運動」

赤い羽根募金(一般募金)額 4,606,765 円 / 歳末たすけあい募金額 3,805,007 円

- ・募 金 期 間：10月1日～12月31日
- ・目 安 額：赤い羽根募金(一般募金) 500 円/世帯、歳末たすけあい募金 500 円/世帯
- ・街 頭 啓 発：南丹市共同募金委員会 市内 8 か所で実施(10/1)
- ・募金箱設置場所：市内 71 か所
- ・法 人 募 金：市内 28 事業所
- ・職 域 募 金：市内 12 小中学校、南丹市役所役職員、南丹市社会福祉協議会役職員、市内 2 事業所
- ・学 校 募 金：市内 1 高等学校
- ・老人クラブ戸別募金：園部老人クラブ連合会、八木老人クラブ連合会、日吉老人クラブ連合会、
美山老人クラブ連合会
- ・その他、イベント募金、個人募金など

【成果】南丹市老人クラブ連合会の協力を得て、各会員から多くの募金を集めることができた。CATV を活用して、助成団体の活動紹介とともに学生による募金の呼びかけを行い、広報の充実を図った。

【課題】歳末たすけあい募金は年々減少しており、運動の仕方を検討する必要がある。さらに、募金の使われ方を広く知らせるよう努める。

④ 地域における住民参加型の支え合いサービスの検討

生活支援体制整備事業（※南丹市委託事業）

生活支援コーディネーターを中心に、地域における生活支援ニーズを把握し、市民や関係事業者、行政に対して明らかにするとともに、市民の参加と協力による支え合いのしくみ作りの先進事例等の調査・検討を昨年度から継続して行い、市民に働きかけを行った。

(1) 地域における生活支援ニーズの把握

i) 地縁組織等多様な主体へのかかわりの中での地域資源やニーズの把握

各事務所エリアにおいて、区や地区単位でのふれあいサロンをはじめとする交流の場や民生児童委員とふれあい委員のブロック会議ネットワーク会議、懇談会などに出向き、状況の把握、課題の把握を行った。

地域	内 容
摩気地区	摩気高山の郷振興会との会議、地区合同「まんぷくサロン」の開催支援、竹井区「竹井楽笑サロン」立ち上げ及び活動継続支援、地区夏祭り開催協力
西本梅地区	地域振興会役員会、地区合同「いきいきサロン」、視察（天引・便利屋さんへ）、車両乗り合いによる買い物支援を開始するため移動支援について勉強会開催。
八木町全域	全10ブロックのふれあいネットワーク会議（見守り活動の情報共有、ゴミ出し問題等）
世木地区	振興会への関わりを持ち支援をしっかりと行い、会議、役員会にも積極的に参画していき、サポートしていく体制を整える。
四ツ谷・佐々江地区	住みよいむらづくり協議会役員会、健康教室、オープンデー、立命館大学との連携（一まち一キャンパス事業）など地域活性化センターを地域の支え合いの拠点にする取組みに関わる。 【成果・課題】居場所作りとして佐々江区では夕食会の定期開催など区全体の取組みとなっている。また同区では移送ボランティアの検討も議題に上がり、まずは地域の実態把握を行うため、調査活動を実施した。住みよい村づくり協議会の全体での取組みをどのように支援していくか検討が必要。
胡麻地区	胡麻地域まちづくり協議会が発足し、地域をどうしていくかを考え、実行していく組織であるため、常に住民のニーズを把握しながら取り組んでいく目標を掲げている。 【課題】居場所が少ない西胡麻においてお試しカフェ開催への働きかけを行い、開催には至っていない。
平屋地区	平屋地区地域福祉推進協議会役員会、研修会「栗木剛さん講演・幸せってなあに？」の開催、ふれあい委員・民生委員交流会の開催、サロン従事者交流会の開催
宮島地区	元気にすごせるまち宮島協議会、宮島地区ネットワーク会議、ふれあい委員・民生児童委員交流会。 【成果・課題】地区福祉協発足から1年ほどで、目に見える事業の成果が出ている。
鶴ヶ岡地区	住み続けられる町づくり推進会議（鶴ヶ岡地域別懇談会）高齢化の状況と移送サービスの状況、サロン活動の推進、地域での見守り体制について報告と意見交換 【課題】サロン助成の改変にともなうサロンやNPOからの意見を次年度の活動支援に反映したい。今年度は各区での福祉懇談会を企画され、裾野での意識の広がり期待したい。

ii) 関係機関や既存各種会議、部門間連携での把握

- ・園部エリア内施設ケアマネジャーと社協職員との懇談会
- ・「園部中学校の未来を考える会」会議
- ・ケアマネジャー事例検討会に出席し、個別事例会から地域課題を考える。（八木町）
- ・懇談会では移動手手段の課題が多く上げられた、生畑区では市の地域振興課による公共交通機関の説明会が行われ、市に交通手段の改善の要望を行った。（日吉町世木地区）

iii) 調査活動と調査結果の共有

地域	内 容
園部町	ふれあい委員に対し各区での世代間交流事業についてアンケート調査
船岡・東部地区	平成30年豪雨災害時の避難状況アンケート
摩気地区	移動・外出支援に係る要望等について困っておられると見受けられる高齢者に対し、民生児童委員、ふれあい委員が訪問等によりアンケート調査。集計結果は、地区の懇談会にて報告。
八木町	ゴミ出し問題についてアンケート調査を実施 対象：八木町管内居宅介護支援専門員、民生児童委員、ふれあい委員 情報共有：たすけあい会議、ふれあいネットワーク会議
知井地区	ワークキャンプにおいて、高齢者世帯の困り事聞き取り調査 【成果・課題】地域別懇談会では防災や移動支援の話題を元に、高齢者とどのように接するか議論が交わされた。サロンの継続にも困難が生じており、どうすれば安定して継続できるのが模索中である。 佛教大学生による公共交通についてのアンケート調査の実施
平屋地区	三和地域協議会へ移動支援の視察研修 大谷大学との協働による交流事業と調査活動（鶴ヶ岡での移送サービス調査、戸別訪問支援、日役の手伝い兼聞き取り調査） 【成果・課題】三和町への視察では移動支援そのものを再考させられるものであった。地区組織単独ではなく美山町全体で取り組めるよう、たすけあい会議などで検討をという結論に至った事が視察による転機となった。
佐々江区・生畑区	普段の暮らしに関する聞き取り調査を実施。毎月、民生委員・ふれあい委員が見守り訪問をしている世帯を対象に訪問し聞き取り形式で実施をした。 生畑区ではサロンの参加者に対しても行った。 内容：暮らしの楽しみについて、困りごとについて、外出について等。

(2) 支え合いサービスに関する調査・研究、協議

◆生活支援体制整備事業に関する会議（生活支援コーディネーターと市高齢福祉課との連携会議）

	月 日	内 容
第1回	5月23日(木)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、今後の会議の持ち方について
第2回	6月27日(木)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、地域の移動支援活動への支援の課題、たすけあい会議について、地域防災講座について
第3回	7月24日(水)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、生き通事業の今後について、地域の移動支援活動への支援の課題
第4回	8月27日(火)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、第1層協議体について
第5回	9月27日(金)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、生き通事業の今後について
第6回	11月19日(火)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、たすけあい会議について、第2層協議体について
第7回	12月17日(火)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、生き通事業の今後の具体案について、第1層協議体準備会の内容について
第8回	2月 5日(水)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告
第9回	3月17日(火)	各町取組報告、市高齢福祉課の報告、次年度生活支援コーディネーター業務計画書について

◆京都府生活支援体制整備推進情報交換会

	月 日	内 容
	1月30日(木)	府内各地のＳＣから実践を聞き「自分の立場で何ができるか」「圏域ごとに何ができるか」「職種別にどんなことができるか？」についてワークショップ形式で検討。

◆第8回きょうと地域福祉活動実践交流会への参加

開催日：12月7日（土） 会 場：京都府丹後文化会館・峰山地域公民館（京丹後市峰山町）
内 容：基調講演「歴史から学ぶ支え合いのカタチ」 講師 堀田 力氏（さわやか福祉財団） 他
参 加：32名（企画小委員、たすけあい会議メンバー、社協役職員）

(3) 地域への働きかけと生活支援サービスの創出

地域	内 容
天引区	便利屋さん(日常生活困りごと助け合いサービス)が立ち上がっている。京都運転ボランティア友の会に依頼して地区内で移動支援検討会議を開催。要望調査を行い次年度に「買い物支援」について実施を計画。
新町区	お出かけ支援訓練打ち合わせ会議。疑似認知症徘徊者に対する声かけ訓練を開催。認知症サポーター養成講座を開催。
木 崎 町 区	「ちょいのり支援」を令和2年4月から地区イベントやサロンへの送迎支援を主な活動として開始。
八木町	自主グループの立上げ（南地区大堰塾、南地区災害時避難者支援マップ作成会議） 新たな集いの場（いちごの会、元気会、楽遊会）
北広瀬区内	一人暮らし高齢者の仲間づくりのための集いの場づくりの相談（10月にスタート）
田原地区	興風交流センターにて市「隣保館デイサービス事業」として実施、サロンや居場所の少ないこの地域に、人が集える場所を作りたいという考えが一致して前年度より福祉事業所、社協と計画検討し今年度スタートに至った。
宮島地区	従来のお出かけツアーに元気アップ体操を一緒に実施。
平屋地区	移動支援のモデル的取り組みの提案。

⑤ 地域における移動・外出支援活動の創出

地域福祉推進モデル地区等において移動・外出支援活動の試行実験を実施し、先進地への視察研修を行った。検討会議において、情報交換しながら地域主体の活動の具体的な支援方を話し合った。

(1) 移動・外出支援検討会議

◆地域における活動の立上げ・運営支援（助言・情報提供等）

- ・摩気地区・・・移動外出支援に係る要望調査、視察研修（大阪府富田林市）報告等
- ・平屋地区・・・視察研修（福知山市三和町）、移動支援についてのモデル的取り組み。
- ・宮島地区・・・高齢者お出かけツアー試行
- ・天引区・・・京都運転ボランティア友の会に依頼して地区内で移動支援検討会議を開催。要望調査を行い次年度に「買い物支援」について実施を計画
- ・木崎町区・・・令和2年4月より開始予定の「ちょいのり支援（区のイベントやサロンへの送迎を主たる活動とする）」について区役員から相談を請けた。

【成果】市役所から運輸支局に確認調整を行い3月地区役員会にて要綱が承認され実際に令和2年4月から事業を開始することとなった。今後は、生活支援などにも活動を展開することなどが考えられる。

【課題】運輸支局が公共交通がある場所を通過することと「移動前後の生活支援」に難色を示したため、移動に關しては別にボランティアが活動する要綱に改めた。

◆運転ボランティア講座

開催日：2月29日（土） 場所：南丹市社会福祉協議会本所農事研修室 参加者：15名
講 師：京都運転ボランティア友の会 石原 宏武 氏

◆福祉有償運送運転者講習（関西 STS 連絡会）

開催日：3月20日（金） 参加者：職員3名

⑥ 地域防災力の強化

地域防災講座の開催、南丹市総合防災訓練への参加、地区の防災活動支援、集落への出前講座等を通じて地域防災力の強化に努めた。

(1) 災害時要配慮者支援を意識した地域防災力の強化

(i) 福祉防災マップづくり支援

◆八木町南地区 災害時避難者支援マップ作成会議 及び 総合防災避難訓練

- 7/7 第1回 災害時避難者支援マップ作成会議開催
9/29 八木町南地区総合防災避難訓練、ひとり暮らし高齢者宅防火訪問
11/24 第2回 災害時避難者支援マップ作成会

※上記開催のための準備会等 4/20、4/24、6/10、6/17、6/26、7/18、8/20、10/7、11/1、1/28、3/8

【成果】区長、民生児童委員、消防団が区ごとに顔の見える関係づくりが図れた。災害者要支援者台帳を基にマップ作成に取り組めた。次年度も“成長するマップづくり”と称して、様々な取り組みを進めていく予定である。

【課題】個人情報保護の観点から、現在は、マップに掲載する人、マップ作りに関係する人が限定されている。今後地域でどのように理解を進めていくかが課題である。

(ii) 地域防災講座、避難所運営訓練等の実施

◆地域防災講座

開催日：8月31日（土） 13：00～16：00 場 所：日吉町生涯学習センター遊 you ひよし
講 師：藤林 裕子氏、藤林 チエ氏 参加者：70名
内 容：講義・グループワーク「ひとりひとりが取り組む防災～わたしと大切な人を守るために」

◆南丹市総合防災訓練

開催日：9月29日（土） 9：30～12：00 場 所：園部公園スポーツ広場
内 容：南丹市災害ボランティアセンター開設運用訓練、炊き出し訓練
参加者：67名（ボランティア45名、職員22名）

◆防災出前講座

集落単位での防災懇談会・啓発活動として社協職員がサロンに出向いて防災講座を実施した。

7/26 悠サロン（美山町）、9/25 野添せせらぎサロン（美山町）、10/5 内久保老人クラブ（美山町）

1/30、2/6 園部中学校防災学習授業

【成果・課題】 ハザードマップの見かたや避難情報について、非常持ち出し袋の中身についてなど、防災の初歩的な知識を身につけ、普段の暮らしでの助け合いや見守りの大切さを訴えた。できるだけたくさんのサロン等で講義を行いたい、今年度はまだあまり回数を行えていない。

⑦ 福祉教育、人権啓発の推進

市内の小学校等からの依頼に応じて、様々な内容で福祉に関する学習を支援している。また、音訳ボランティア活動のサポートを通じて、視覚障がい者への情報伝達を支援した。

(1) 当事者、ボランティア、福祉事業所等との協働による福祉教育・人権啓発の充実

◆小中学校等における福祉教育支援

学校名	学年	実施日	内容
園部中学校	2年生（1名）	11月6日～8日	職場体験学習受入
園部中学校	2年生	12月12日（木）	職場体験学習体験発表

学校名	学年	実施日	内容
園部中学校	1年生	1月30日（木）	防災学習授業
園部中学校	1年生	2月 6日（木）	防災学習授業
八木西小学校	1年生（30名参加）	6月21日（金）	サロンひまわり参加者と交流
八木西小学校	2年生（28名参加）	6月27日（木）	生きがい活動支援通所事業参加者と交流
八木東小学校	4年生 （23名+PTA参加）	11月 6日（水） 11月 7日（木）	事前学習 福祉とは？人にやさしい町 車イス、アイマスク、高齢者疑似体験
八木東小学校	3年生 （21名+PTA参加）	11月21日（木）	聴覚障害について ふない聴覚言語障害 センター、当事者、手話サークル協働
胡麻郷小学校	4年生 （13名+保護者）	10月31日（木）	アイマスク体験と車いす体験 ※ほほえみかぐらと協働
胡麻郷小学校	5年生 （26名+保護者）	11月12日（火）	福祉について/車いすと高齢者疑似体験
美山小学校	4年生（19名参加）	2月 6日（水） 2月13日（水）	福祉ってなんだろう？ 視覚障害について（ほほえみかぐらヘルパーによる講義） 車いす体験 グループディスカッション
北桑田高校 美山分校	家政科4年生（3名）	6月19日（水） 1月22日（水）	上平屋サロン参加者と交流 （ゲーム、歌、おしゃべり）

◆「次世代の担い手育成事業」

- ・京都府社協、南丹市内の事業所と連携し、以下の2つの小学校における福祉の総合学習を支援

	園部小学校 4年生 90名（3クラス）	園部第二小学校 4年生 40名（2クラス）
1学期		6月18日（火） 福祉ってなんだろう？ ユニバーサルデザインについて
2学期	10月11日（金） 車いす体験	10月16日（水） 認知症サポーター養成講座 ＊包括支援部との協働
	10月16日（水） 視覚障害について ＊ふない聴覚言語障害センターとの協働	10月18日（金） RUN 伴京都 2019 への参加 ＊包括支援部、美山こぶしの里等との協働
		12月2日（月） 車いす体験 ＊京都太陽の園、はぎの里オアシスとの協働
		12月6日（金） PTA 親子人権学習「視覚障がいについて」 点字・アイマスク体験・当事者との交流

【成果】両学校の教諭より「自分たちも勉強になった」「児童も熱心に授業を受けていた」と前向きな意見があった。

◆地域住民団体等における人権啓発の推進

- ・2/7 園部町仏教会人権研修（園部町南陽寺）
テーマ：「避難所の事例から学ぶ障がい者への配慮」

(2) ユニバーサルデザインにもとづく事業活動の推進、理念の普及啓発

◆「音訳・朗読ボランティア（４町）」活動支援

・各種広報物の音訳 リスナー登録：10 人

【成 果】PCの導入によって、より質の高い録音物を発行することが出来ている。聞きやすいとの評価もある

【課 題】急な機材トラブルの対応（特に休日）について

◆「音訳ボランティア養成講座」の開催

全5回講座 8/7（水）～10/2（水） のべ参加人数 27名

【成 果】講座をきっかけに新規の会員が5名増えた。

⑧ 地域福祉活動・ボランティア活動への住民参加の促進

各町ボランティア連絡協議会をはじめ、各種団体の事務局として活動を支援するとともに、ボランティア体験や交流会を開催し住民参加の促進に努めた。また、当事者団体等の送迎に協力し、諸活動への参加を支援した。

(1) ボランティアコーディネート機能の充実

◆ボランティア基金の運用益活用

- ・「ボランティアグループ活動助成」 10,000 円×54 グループ、5,000 円×1 グループ、
- ・「ボランティア連絡協議会活動助成」 130,000 円×4 町連絡協議会
- ・「ボランティアグループ活動特別助成」 332,287 円（18 グループ）

【成果】京都ボランティア活動補助金も活用しながら、各々の状況に応じたボランティア活動を支援することができた。

【課題】ボランティアの高齢化が進むなか、さらに活動を支援できる内容も検討していくことが必要である。

(2) 地域福祉・ボランティア活動実践者の交流促進

◆パソコン初級講座

日 時：7月9日（火）、7月23日（火）、8月6日（火）、8月20日（火）、9月3日（火）
いずれも 10：00～11：30

会 場：南丹市国際交流会館 3 階 会議室

参加者：13 名（申し込み：18 名）

内 容：社会貢献活動に関わる団体構成員及び個人が Word や Excel 等の使い方を学び、受講者の書類制作やチラシづくり、会計等の能力を向上させることを目的に開催した。また長期目標として、受講者がグループ化し、パソコン講座を主催していくことも目指した。

第1回（7月9日）	Excel の基本①（文字入力やセルの色付け等）
第2回（7月23日）	Excel の基本②（基本的な計算式の入力）
第3回（8月6日）	Word で書類づくり（案内文の作り方）
第4回（8月20日）	Word でチラシ作り（テキストボックスの作成等）
第5回（9月3日）	Word で名刺づくり（名刺作成後、名刺交換）

◆夏のボランティア体験（園部町）

日 時：7月26日（金）10：00～15：00 場 所：南丹市国際交流会館（イベントホール）

参加者：87 名（ボランティアスタッフ 53 名） 主 催：園部町ボランティア連絡協議会

内 容：①マジックに挑戦 ②オカリナの音色にふれてみよう ③点字を打ってみよう④絵手紙を描いてみよう
⑤脳トレを体験しよう ⑥将棋をやってみよう⑦小物を作ってみよう ⑧読み聞かせ体験

⑨車いす体験 ⑩要約筆記 ⑪輪投げ・ラダーゲッターコーナー ⑫展示：給食ボランティア「あじさいの会」・音訳ボランティア「かわせみ」 加盟グループの紹介

【成果・課題】小学生や親子での参加が多数あり、ボランティア活動を知る機会や、活動者と参加者のふれあいの機会となっている。継続していることで、毎年楽しみに参加される方もある。会員の高齢化が進むグループも多く、ボランティアへの参加を広報する機会として生かせるよう、大人が参加しやすい工夫も考えていきたい。

◆第13回南丹市ボランティア交流会

日 時：11月17日（日）13：20～16：00 場所：南丹市日吉町生涯学習センター遊 you ひよし
内 容：ポスターセッションによる実践報告と交流、シニアミュージカル発起塾による公演 等
参加者：112名

【成果・課題】ボランティア未経験者の参加促進のために日曜日開催にしたが、結果はほとんどが活動者だった。
日曜日開催は他イベントと重なることもあり、次年度は検討が必要。
ポスターセッションが、参加者同士の交流する場となり、発表者のやりがいにも繋がった。

◆「各町ボランティア連絡協議会」事務局

・園部町ボランティア連絡協議会

4/10 代表者会議、5/24 総会、7/26 夏のボランティア体験（前頁）、10/24 ひとり暮らし高齢者のつどいアトラクション協力、1/31 親睦交流会 参加者：55名 内容：手話講座の体験談・落語・南丹亭百姓・サクソ演奏・クレージーモンキーズ

役員会・三役会等…4/26、6/14、10/3、11/13、11/27、2/12

【成果】会議や行事を通して、グループや役員間の連携が図られ、良い関係ができています。

【課題】会員の高齢化が進んでいる。グループ同士の連携を生かしてできることがあるかどうか検討したい。
2/19 公民館利用料について市長、教育長に要望書提出

・八木町ボランティア連絡協議会

12/3 視察研修旅行 神戸ふたば学舎（震災スライド学習・避難所体験）、ナナファーム 他 20名参加
2/22 第35回八木町ボランティア交流会 “わくわくボランティアinやぎ2019～ふ・ふ・ふ”

会場：アイリス福祉会 地域交流多山ホール 参加：86名

内容：午前 江藤ゆう子氏によるアンチエイジング講座

午後 ボランティアグループ紹介とレクリエーション

※新型コロナウイルス感染予防のため、午前中のみ開催

3/18 社会教育課へ八木市民センターについて要望書提出

3/19 福祉相談課へ八木市民センターについて要望書提出

四役会：5/7、6/24、8/26、10/7、1/23、3/4

定例会：5/13、7/8、9/4、10/18、11/8、1/30、2/21

【成果】定期的な集まりがボランティア同士の活動のモチベーションや支えにつながっている。

【課題】団体の減少、ボランティアの減少。次世代ボランティア活動や、支援のあり方を検討する必要がある。

・日吉町ボランティア連絡協議会

4/9 再建委員会

5/23 会計監査、5/26 総会

9/21 日吉町ボランティア交流会

会 場：五ヶ荘地域活性化センター 参加者：80名

内 容：講演（田川雅規氏）、ポスターセッション、ステージ発表

3/16 日吉町ボランティア研修会 ※感染症予防のため中止とし書籍の購入に変更

【成果】再建委員会から役員へ引き継ぐことができ、停滞していた活動を再開することができた。

日吉町ボランティア交流会では会員以外にも多くの参加があった。

【課題】ボラバンクの登録グループでもボラ連の加入者は少ない。会員の拡大を目指していく必要がある。

・美山町ボランティア連絡協議会

4/25 総会、8/9 広報51号発行、10/27 美山育成苑 育成苑まつり手伝い

11/3 美山ふるさとまつり ふれあいバザー出店、12/7日 美山福祉のつどい作品展示出展

2/16 ボラ連研修会「いつまでも若さを保つために」、3/27 広報52号発行、通年 SNS（Facebook）での情報発信

【成果】役員同士日頃からの交流ができており、大変良い関係性ができている。

【課題】ボラ連に新規加入する団体が少なく、グループ内の高齢化も深刻。次年度の20周年事業に向けてアイデアを練っていく。

◆各種団体・サークル・当事者組織・ふくしまつり等の支援

＜園部事務所＞

- ・ボランティア需給調整 計 55 件（敬老会・夏祭り・施設行事 等）
- ・視覚障がい者送迎支援 計 6 回 利用者数のべ 25 人
- ・身体障害者福祉会送迎 計 2 回 利用者数のべ 8 人
（そのほか 2 回〈3/5、3/14〉は調整後、新型コロナウイルス感染拡大防止のため依頼者より中止の連絡があり中止。）
- ・「ゴー！ゴー！ワクワクキャンプ」～被災地福島の子供たちの保養キャンプ（園部町埴生）
公用車貸し出し（8/4、8/12）
- ・「西本梅合同いきいきサロン」10 月 2 日 10 時から 12 時 約 50 人参加 開催支援及び公用車貸し出し（園部町西本梅地区）

【成果・課題】サロンを開催していない地区に対しての案内に課題が残ったが多くの参加者があり音楽を聴きながら手遊びなどで交流をすることができた。

- ・「川辺ふれあい福祉まつり」11 月 4 日 10 時から 13 時 約 200 人参加 開催支援（園部町川辺地区）

【成果・課題】川辺振興会主催で開催 2 年目となり住民交流イベントとして地域に定着してきた。

- ・「摩気地区合同まんぷくサロン」5 月 26 日 10 時から 12 時、11 月 24 日 10 時から 15 時（摩気高山の郷文化祭にて） 各約 100 人参加 開催支援及び公用車貸し出し（園部町摩気地区）

【成果・課題】ふれあい委員、民生児童委員が中心となりサロンを計画、実施した。モデル事業として社協公用車を貸し出して送迎を行ったことにより 70 歳以上の方も多く参加されて非常に交流の場となった。

＜八木事務所＞

- ・「難聴者の会」事務局
6/3「難聴者の会」令和元年度総会（10 名参加）
10/2「親睦会」（10 名参加）
12/6「親睦会」（15 名参加）

【課題】集まる回数が減少している。メンバーの高齢化に伴い送迎支援の必要性が高まる。新規加入がない。

- ・ボランティア需給調整 計 24 件（敬老会、夏祭り、施設行事、施設サークル講師）
- ・視覚障害者送迎支援 計 4 回 利用者数のべ 4 人
- ・身体障害者福祉会送迎 計 19 回 利用者数のべ 162 人

＜日吉事務所＞

- ・身体障害者福祉会送迎 計 1 回

＜美山事務所＞

- ・「美山福祉のつどい実行委員会」事務局
「第 11 回美山福祉のつどい」（赤い羽根共同募金助成事業）
開 催 日：12 月 7 日（土）12：00 ～ 16：00 場 所：美山文化ホール
内 容：レクリエーション交流、展示（作品やパネル説明）、小中学生等意見発表、各団体からの模擬店、
舞台発表（福祉施設、ボランティアグループ、福祉協） 講演／落語 南丹亭百笑さん
【成果】今年度より、これまでの体制から企画委員制を設け、少しでも各自の負担が減らせるように工夫した。
まだまだ事務局任せなところも多いが、祭りの内容自体も併せて、これからどんどん改革していきたい。
- ・身体障害者福祉会送迎 計 8 回 利用者数のべ 30 人
- ・「美山ふるさと祭り実行委員会」（参加）
開 催 日：11 月 3 日（日）／ 場 所：美山文化ホール

⑨ 事業所等における地域貢献事業の推進

昨年度に引き続き南丹市内の社会福祉法人（12 法人）による懇談会を社協から呼びかけて実施した。今後も引き続き各種テーマを設定して情報交換、懇談、研修等を継続していく。

◆南丹市内社会福祉法人懇談会

- 7 月 17 日 内容：昨年度ふりかえり、防災・福祉避難所の運営について 他
- 1 月 27 日 南丹市内社会福祉法人連絡会設立準備会の実施

◆京都府さわやかボランティアロード事業（※）（アイリス福祉会、シミズふないの里、社協八木事務所）

場 所：八木町 国道 477 号線（府道 25 号線交差点～住吉大橋）

実施日：令和元年 9 月 24 日（火）6：00～10：00 参加者：8 名

（※）定期的にボランティアで道路の環境美化活動を行う団体・企業等を支援する府の事業

⑩ 第 3 期地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知、活動の推進

◆地域福祉活動ガイドブックの活用

第 3 期計画の活動内容を、地域住民の方々が地域場で実践するための参考にできる内容を作成した「地域福祉活動ガイドブック」を地域別懇談会やたすけあい会議で説明し、活用を呼びかけている。

＜美山町宮島地区＞

12 月 18 日（水）ふれあい委員、民生委員交流会において、「地域福祉活動ガイドブック」の説明と、各町の事例紹介、チェックリストの実施など。

⑪ 広報活動の充実

「なんたん社協だより」のほか、事務所独自の通信作成にも取り組み、様々な地域活動や事業の紹介に努めている。

◆なんたん社協だより

・編集会議での紙面づくりの最初の段階で、広報委員の方からご意見をいただく機会を設け編集を進めた。

号(発行日)	主な内容
第 41 号 (7 月 12 日)	平成 30 年度事業報告、令和元年役員・委員等紹介、みんなの笑顔でまんぷくに！～摩気地区合同サロン「まんぷくサロン」 他
第 42 号 (9 月 27 日)	私にもできる！？ ホームヘルパーのお仕事、自分で 家族で 地域で 防災について考えてみませんか？、新会長就任のご挨拶、出前講座一覧表を活用してみませんか？
第 43 号 (1 月 10 日)	劇団員は警察官？！地域で活躍されている駐在さんへインタビュー、南丹市社協介護事業所の紹介、RUN 伴京都 2019 の報告 他
第 44 号 (3 月 27 日)	今、男性の地域活動が熱い！、地域活動支援センターの紹介、赤い羽根共同募金実績報告、パソコン初級講座の案内

◆園部事務所だより「そのべお写真だより」

・園部地域における様々な事業や行事、活動について写真を中心に紹介し、住民のみなさまに見える化することを目指す。

号(発行日)	主な内容
令和元年春号 (5 月)	写真で見るそのべだより /きょうと実践交流会 /第 1 回園部地域たすけあい会議
令和元年夏号 (7 月)	そのべお写真だより /第 2 回園部地域たすけあい会議 /町内ケアマネジャー懇談会 /摩気地区合同「まんぷくサロン」 /6 地区でブロック会議 /合同企画小委員会
令和元年秋号 (12 月)	そのべお写真だより /第 3 回園部地域たすけあい会議 /第 4 回園部地域たすけあい会議 /新町区疑似認知症者声かけ訓練 /園部町内 6 ブロックで地域別懇談会
令和元年冬号 (2 月)	そのべお写真だより /川辺地域ふれあい福祉まつり /摩気地区合同「まんぷくサロン」 /第 5 回園部地域たすけあい会議 /第 6 回園部地域たすけあい会議 /ひとり暮らし高齢者のつどい /園部町ボランティア交流会 /木崎町区ちょうたん飾りつけ /木崎町区クリスマス会

◆日吉事務所だより「hanaso」

- ・福祉についての情報を伝える機会を増やし、無関心層へのアプローチや担い手の発掘、福祉のまちづくりへつなげることを目指して発行している。

号(発行日)	主な内容
7号 (4月26日)	南丹市社協日吉エリアの紹介 / ひよしのまちでわくわくする取り組み(四ツ谷東谷サロン) / おしらせコーナー
8号 (6月28日)	介護予防事業 / 日吉町ボランティア連絡協議会 / おしらせコーナー
9号 (8月23日)	日吉町地域別懇談会の報告 / 防災講座の案内 / 地域ケア推進会議案内 / おしらせコーナー
10号 (10月25日)	日吉町ボランティア交流会 / ひよしのまちでわくわくする取り組み(広野 茶話会) / 赤い羽根共同募金 / 日吉ボランティア交流会のお知らせ / おしらせコーナー
11号 (12月25日)	つながりで笑顔を / 世木地域振興会の取り組み / ひよしのまちのわくわくする取り組み(胡麻地域まちづくり協議会、胡麻小福祉教育) / おしらせコーナー
12号 (3月27日)	ボランティア / ひよしのまちのわくわくする取り組み(認知症サポーター養成講座、防災ブレスレットづくり) / おしらせコーナー

◆美山事務所 「みんなのまちの活動紹介」

- ・「あんしん・あんぜん情報」の裏面を活用し、地域での出来事やサロン活動の様子、また社協からのお知らせなどを掲載。

号(発行日)	主な内容
150号(平成31年4月)	美山町たすけあい会議
151号(令和元年5月)	やまぼうしの会(旧平屋地区ふれあいサポーター)
152号(令和元年6月)	花ノ木サロン(下平屋区)
153号(令和元年7月)	ふれあいカフェ(平屋地区)
154号(令和元年8月)	悠サロン(中区)
155号(令和元年9月)	ふれあい広場(大野老人クラブ)
156号(令和元年10月)	せせらぎサロン(野添区)
157号(令和元年11月)	平屋地区地域福祉推進協議会「大谷大学との交流事業」
158号(令和元年12月)	平屋地区地域福祉推進協議会「お出かけツアー」
159号(令和2年1月)	高砂いきいきサロン(砂木区)
160号(令和2年2月)	上平屋美の里笑話サロン
161号(令和2年3月)	新型コロナウイルス Q&A

2. 地域の暮らしを支える各種事業

① 介護予防・生活支援事業（※南丹市委託事業）

車の運転を伴う事業が多いため、交通安全教室を開催し、安全運転の徹底に努めた。
 生きがい活動支援通所事業が次年度（令和2年度）で終了することが決まっているため、その後の介護予防の取り組みの在り方について、市と協議を重ねた。

(1) 食の自立支援サービス事業

◆支援実績（3月末現在）

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	30 人	49 人	42 人	61 人	182 人
延べ配食数	6,106 食	11,932 食	6,947 食	7,921 食	32,906 食
備 考	夕食	昼食、夕食 (特別食あり)	夕食 (特別食あり)	昼食、夕食 (特別食あり)	

(2) 外出支援サービス事業

◆支援実績（3月末現在）

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	206 人	121 人	173 人	141 人	641 人
延べ利用件数	2,567 件	2,754 件	2,971 件	1,517 件	9,809 件
延べ運行距離	66,940 km	42,154 km	140,740 km	169,493 km	419,327 km

◆福祉有償運送運転協力者講習会

9月7日(土)・8日(日) 2人(対象：平屋福祉協 「お出かけツアー」運転ボランティア2名)
 3月27日(金) 5人(対象：福祉有償運送業務従事者)

◆交通空白地有償運送運転協力者講習会

6月7日(金) 2人(対象：日吉外出支援運転手)

◆交通安全教室

外出支援運転手をはじめ、運転業務に従事する職員等を対象に、南丹警察署から講師を招いて交通安全教室を実施した。

実施日	場 所	参加人数	内 容
9 月 9 日 (月)	美山保健福祉センター	9 人	危険予測機器を使った交通安全指導
9 月 11 日 (水)	小桜公民館	8 人	
9 月 12 日 (木)	社協八木事務所	26 人	
9 月 13 日 (金)	社協本所	28 人	
計		71 人	

(3) 生きがい活動支援通所事業

◆支援実績（3月末現在）※3月は、感染症拡大防止のため中止した。

	園部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	※受託なし	19 人	37 人	76 人	132 人
延べ利用人数		752 人	669 人	1,483 人	2,904 人
開 催 箇 所		3 ヶ所	5 ヶ所	5 ヶ所	13 か所

(4) 各事業のあり方検討

◆生きがい活動支援通所事業に係る打合せ会議

実施日	内 容
8 月 20 日 (火)	利用者へのアンケート調査実施について 他
10 月 28 日 (月)	アンケート調査結果報告、今後のあるべき姿について 他

② 福祉サービス利用援助事業 (※京都府社協委託事業)

不適切事案に関する第三者委員会の指導を受け、適正な事業運営に努めた。3 月には京都府社協による実地調査を受け、事業運営の改善状況を確認していただいた。

(1) 適正な事業運営

◆内部監査の実施 年 2 回

上半期内部監査 9 月 17 日～9 月 25 日 ※改善事項再確認 11 月 5 日～ 8 日

下半期内部監査 2 月 27 日～3 月 5 日 ※改善事項再確認 3 月 16 日～17 日

◆京都府社会福祉協議会・運営適正化委員会による実地調査 (特別監査)

日時：令和 2 年 3 月 19 日 (木) 9 時～16 時

場所：南丹市社会福祉協議会 農事研修室

主な内容：第三者委員会の提言を受けたのちの対応の確認

重要確認事項および点検項目にもとづく確認

◆支援件数状況 (3 月末現在)

事務所	支援件数					内、生活保護 受給世帯
	内 訳				合計	
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他		
園 部	3	16	11	6	36	19
八 木	5	5	3	3	16	5
日 吉	4	6	3	2	15	7
美 山	3	6	3	0	12	3
合 計	15	33	20	11	79	34

(2) 担当者の資質向上

◆各種研修

研修・会議	開催日	参加人数
専門員新任研修 (府社協) 1 回目	5月16日 (木)	3人
専門員新任研修 (府社協) 2 回目	8月21日 (水)	3人
第1回専門員・権利擁護担当職員会議 (府社協)	7月 9日 (火)	2人
ブロック別専門員担当職員会議・事例検討会 (南丹・乙訓ブロック)	12月18日 (水)	2人
第3回専門員・権利擁護担当職員会議 (府社協)	中止(※)	人
生活支援員新任研修 (府社協) [南部]	6月10日 (月)	0人
生活支援員新任研修 (府社協)	10月 8日 (火)	2人+発表1人
生活支援員現任研修 (府社協)	2月21日 (金)	0人
南丹ブロック現任生活支援員研修 [ガレリアかめおか]	12月 5日 (木)	22人+職員6人
第1回生活支援員研修交流会 (市社協)	9月12日 (木)	29人+職員12人
第2回生活支援員研修交流会 (市社協)	中止(※)	人

(※) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 福祉資金（生活福祉資金・くらしの資金）貸付事業（※京都府社協委託事業、南丹市委託事業）

6月より専任の担当職員が配置されたことにより、これまで十分に組み立ててこなかった償還促進を積極的に進めた。

3月には新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお悩みの方々に向けた緊急小口資金等の特例貸付を開始した。

◆くらしの資金（南丹市委託事業）

貸付事業 申請状況

※（ ）内は相談件数

	園部	八木	日吉	美山	合計
夏 期	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (3)
年 末	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)

◆生活福祉資金（京都府社協委託事業）

・町別相談件数内訳（4月～3月末）

	園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
延べ人数	71	14	44	13	3	1	146
実人数	40	9	16	8	1	1	75

・種類別相談・問合せ件数 内訳（4月～3月末） ※重複あり

	総合支援資金			教育支援資金		不動産担保型 生活資金	緊急小口資金	臨時特例つなぎ	福祉費	不明や非該当	制度について	その他	合 計
	生活支援費	住宅入居費	一時生活再建費	教育支援費	就学支援費								
相談/ 問合せ	1	6	0	63	48	2	30	0	35	0	0	4	189
貸付				4	4		1		1				10

- ・相談件数 146 件のうち、39 件は新規貸付相談、107 件は償還等に関する相談である。
- ・貸付に至らないケースも、生活困窮者自立支援事業との連携により、相談段階から多面的な支援を念頭に置き、同席面談等を実施した。

◆生活福祉資金 償還相談員派遣モデル事業

- ・京都府社協の償還相談員派遣モデル事業にエントリーしてモデル指定社協となった。これにより京都府社協から償還相談員が派遣され、中長期延滞ケースや困難事例に対しての効果的なアプローチを検討し、滞納先への同行訪問等を実施した。対象者：28 人
- ・償還の動きのない借受人にも角度を変えてアプローチし、状況に合わせた償還を促しており、全く連絡のなかった借受人とも定期的に相談できるようになった。

◆生活福祉資金 特例貸付

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計維持のための貸付を必要とする世帯への緊急小口資金貸付等を開始。（当面、令和 2 年 7 月末日まで予定）

相談受付件数：13 件（3/25～3/31 時点 実世帯数）

④ 生活困窮者自立支援事業（※南丹市委託事業）

様々な問題を抱えている相談者に寄り添い、他機関とも連携しながら丁寧な相談援助に努めた。出張相談等を通じて相談窓口のPRを進めるとともに、団体・企業等との新たなつながりづくりにも努め、就労体験等の受け入れ先の開拓にも努めた。

◆相談受付件数（3月末現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規相談受付件数（総数）	3	9	6	12	4	3	5	6	2	0	2	3	55
プラン作成件数（総数）	3	2	5	1	1	5	4	0	10	5	5	6	47
事業等利用件数 法に基づく	住居確保給付金	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	家計改善支援事業	0	1	2	0	0	2	0	3	3	5	1	18
	自立相談支援事業による就労支援	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	8
	生活福祉資金等による貸付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・町別内訳

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
23	6	15	11	0	0	55

・年代別内訳

～10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65～	不明	合計
1	4	5	12	9	7	15	2	55

・相談内容内訳（重複あり）

病気や健康、障害	家賃やローン支払い	仕事探し、就職	家族との関係	ひきこもり、不登校	住まい	税金・公共料金支払い	食べ物が無い	仕事上のトラブル	地域との関係性	DV・虐待	収入・生活費	債務	子育て	介護	その他
21	10	17	8	2	10	12	1	3	0	0	33	10	7	7	3

・3月末での支援継続者は33名。うち自立相談支援事業利用者33名・家計改善支援事業利用14名。

◆支援調整会議の開催

・13回開催 4/24 5/30 6/21 6/28(臨時) 7/26 8/22 9/27 10/29 11/21 12/19 1/30 2/17 3/26

◆法的解決支援プログラム（京都司法書士会）

相談案件数 18件（昨年度年間28件）

【成果】多重債務などの経済的な相談だけでなく、成年後見制度利用に関しての相談も多くなっている。個別ケースの相談以外にも、困窮者支援の支援調整会議への参画や、生活相談センターが市や包括支援センターと協働して開催する「成年後見制度利用検討ケース会議」等の各種会議にも、当プログラムを通じて助言者として参加依頼し、専門的な助言を受けている。相談者に合わせた場所と面談日を調整することができるため（アウトリーチ）、遠方の専門職事務所まで出向く必要がなく、課題の早期解決につながっていると考えられる。

◆生活困窮者支援機関向け専門電話相談（京都弁護士会）

- ・適用案件数：3 件
- ・支援計画の策定や援助の方向性等において、支援者に対して法的な観点からの助言が必要な際に、ブロック別に担当されている弁護士に文書にて相談を申し込み、後日電話にて相談する。支援者の法的な初期相談先として活用している。

◆赤い羽根共同募金 生活困窮者自立相談支援事業緊急時助成の活用

- ・適用件数：3 件 計 70,000 円
(障害年金受給請求にかかる診断書料、家賃・水道光熱費、入院諸費用、自立支援医療・身体障害者手帳等の診断書料)

◆小規模フードバンク

- ・適用件数：32 件 (米、飲料、缶詰、缶パン、乾麺、レトルト、調味料等を提供)

◆特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都との連携

- ・適用件数：2 件
- ・社協内のフードバンク事業だけでは、十分な食品の種類や量が確保困難な場合において、ケースの支援計画と共に食料品支援申込を行い、一旦社協が緊急支援用食品を受領し、南丹市社協から要支援者へ提供するもの。

◆小規模物品バンク

- ・適用件数：2 件 (肌着 5 着、下着 2 着、タオル 5 枚、セーター 2 着、靴下 4 足、シャツ 1 着、ズボン 1 着、上着 3 着)
- ・生活上必要な物品が不足しているが購入困難な困窮世帯に対し、社協内で保管している市民から譲り受けた使用に耐える中古物品を無償で提供している。

◆広報啓発

- ・リーフレット、チラシのほか、カード、クリアファイル、ボールペンなど啓発物品を作成。
- ・店頭パンフレットがあったことで相談に繋がった案件もあるため、少しずつ周知活動が機能し始めている。

◆くらしの出張相談会

- ・生活相談センター及び担当事業の周知を目的にして、広報活動を重点的に行った。
- 10/19 かやのもり市（八木町）、10/27 森の学び舎オープンデイ（日吉町）、11/10 水の杜フェスタ（日吉町）、11/24 摩気文化祭（園部町）、12/7 第 11 回美山福祉のつどい（美山町）

◆令和元年度 生活困窮者自立相談支援事業研修会

日 時：令和 2 年 1 月 22 日（水）13 時 30 分～16 時 30 分

会 場：南丹市役所 2 号庁舎 3 階 301 会議室

講 師：認定 NPO 法人 抱樸（ほうぼく） 専務理事 森松 長生 氏

内 容：第一部 講演（抱樸の 30 年の取組みについて、生活困窮者への支援の歴史を振り返る）
第二部 グループワーク（事例検討）

参加人数：45 名

◆たんけんたい（共助の基盤づくり事業）【新規】

- ・これまで人との交流が希薄だったためにできなかった、「知ること・やってみること」のきっかけを作り、多様な職業、働き方があることを理解し、自身の生き方、働き方を考える際の参考にしてもらう。また、参加者が見学や体験を通して、地域・企業を知り、安心して外とのつながりを構築する第一歩とすることを目的にしている。

〈対象訪問先〉

企業・商店・NPO・サロン・各種組合等や活動団体

〈実施内容〉

- ① 道の駅・市内の地域活性化センター 参加人数 3 人

② 企業（ギフトショップ）・NPO法人（まちづくり） 参加人数 3 人

③ NPO法人（居場所） 参加人数 4 人

【成 果】

- ・ 配置職員が増えたことで新たな企画を立ち上げ、足りない資源の補完支援を地域づくりに絡めながら充実化を図ることにも着手できた。事務処理が改善されたことで、具体的な個別支援への時間も確保できた。
- ・ 昨年度より支援調整会議の参画委員の拡充を図り、それにより幅広い専門的助言や情報共有の幅が広がった。
- ・ 福祉相談課と月に一度連携会議を実施しており、これまで不透明な課題や不十分だった協議・取組について、共通認識して改善できる場が設けられた。それにより、事業全体の推進や見直し、個別プランの策定に大きな効果が出ている。

【課 題】

- ・ 困窮事業への相談経路は、本人からよりも各関係機関からの相談が多い。つまり、当事者からの直接的な相談の繋がりにくさが色濃くあり、今後、更に事業周知・広報活動に工夫が必要である。同時に、関係機関の気づきからの連携が相談につながりやすい傾向があるため、関係機関に対しても困窮事業の周知と連携体制の強化を図ることが重要である。特に滞納状況を把握できる納税担当部署や水道課など、徴収業務を担う課との連携が不可欠である。
- ・ 就業訓練事業や就労準備事業・学習支援事業は合致する困窮者の誰もが利用できる状況とは言えず、うまく機能していない。
- ・ 家計改善支援事業は、自立相談支援事業よりもさらに家計に踏み込んだ内容ゆえに、相談者にとっては1つ1つの数字を把握することに大きな負担を感じるものである。また、家計を他者に知られる恥ずかしさや理想的ではないお金の使い方を後ろめたく感じてか、事実とは異なる相談内容になっているケースが少なくない。本当のことを話していただかないと改善の道は遠く、信頼関係を築くには時間がかかる。有効な改善提案をするには担当職員のファイナンシャルスキルや相談スキルの向上も不可欠である。

⑤ 法人後見

(1) 法人後見の受任体制整備

◆家庭裁判所との懇談

日時：8月29日（木）午後2時～3時30分 場所：京都家庭裁判所園部支部

内容：南丹市社協からの説明（法人後見事業実施要綱、実施イメージ等）、質疑応答、意見交換

◆法人後見運営委員会の開催

第1回 日時：10月4日（金）午後2時～ 場所：南丹市社協本所農事研修室

内容：委嘱状交付、委員長・副委員長選出、要綱等確認、経緯説明、今後の運営について 他

【成果】 法人後見事業の要綱等を確認し、今後の運営についての展望や方向性について意見をいただいた。今後は実際の受任候補について検討していく。

【課題】 受任対象者についての検討や、実務の体制について

◆法人後見支援員登録の呼びかけ

日時：1月9日（水）午後1時30分～ 場所：京都新光悦村

対象：南丹市市民後見人養成講座受講者

【成果】 市民後見人養成講座受講者に向けて法人後見支援員の登録のお願いをした。今年度登録の申し出があった方は6名。

【課題】 一部において、市民後見人と法人後見支援員、また福祉サービス利用援助事業の生活支援員との違いが十分にご理解いただけていない側面がみられる。引き続き、丁寧に説明を重ねていく必要がある。

◆法人後見の実務に係る視察研修

日時：2月5日（水）午後1時30分～ 場所：長岡京市社会福祉協議会

【成果】法人後見の取組を始めるまでの経緯を時系列で説明を受けた。さらに、実際に受任されていたケースについて、受任に至るまでの事務処理、その後の支援など、実際に使用した書類を（一部）見せていただきながら学んだ。同時に、反省点や、これから始める際に配慮すべき点など、丁寧に教えていただくことができた。

【課題】当法人において、まだ整理すべき点（書類や管理体制）があることがわかった。これらについては、早急に整理していく必要がある。

◆成年後見制度利用促進のための意見交換会

日時：2月14日（金）午後1時～4時55分 ガレリア亀岡

◆京都府下の法人後見実施団体（社協、NPO法人等）の意見交換会

日時：2月26日（水）午前10時～ 京都テルサ

【成果】これまで法人後見を実施している団体との交流や意見交換の機会はほとんどなかったこともあり、大変有意義な時間であった。なかでも後見事業を中心に取り組んでいるNPOの現状を知ることができたのはよかった。今後のつながりにも期待したい。

【課題】社協においては、当会も含め多くの場合兼務で対応している。本格的に受任となった時に、どこまで対応できるのか、今後については見通しが立たない点もある。

(2) 市と緊密に連携を図る

・南丹市成年後見センター設置に向けた準備会に係るコア会議

第1回	9月18日（水）	南丹市成年後見制度利用促進に向けた体制整備について（南丹市成年後見センター（仮）準備会について、センター設置に向けてのスケジュール 他）
第2回	12月25日（水）	事業内容確認、中核機関についての庁内検討結果、地域連携ネットワークについて 他

・南丹市成年後見制度利用促進に向けた準備会

事前勉強会	10月15日（火）	成年後見制度利用促進法及び利用促進基本計画について 他 講師：弁護士 椎名基晴氏（椎名法律事務所）
第1回	11月19日（火）	成年後見センター（仮）業務内容について、相談窓口イメージについて 他
視察	12月24日（火）	精華町権利擁護・成年後見センター視察
第2回	2月4日（火）	第1回準備会での意見を受けて、令和2年度の取り組みについて 他

・成年後見制度利用促進に関する南丹圏域協議

日時：3月23日（月）午後1時30分～2時45分 場所：南丹市役所2号庁舎

参加：亀岡市、亀岡市社協、京丹波町、京丹波町社協、南丹市、南丹市社協

内容：南丹圏域における成年後見制度利用促進のあり方について協議

【成果】市が令和2年度に設立を目指す「南丹市成年後見センター（仮称）」の設置に向けた準備会に、社協からも委員として3名参加し、連携を図った。

・法人後見運営委員会においても委員、およびオブザーバーとして行政に参加してもらい、連携を図りながら取り組みを進めている。

包括支援の部

1. 南丹地域包括支援センター事業（南丹市委託事業）

(1) 総合支援事業

相談内容は、家族（主に子やその配偶者）が本人の生活を不安視して介護保険サービスに繋がたいといったものが多い。医療機関をはじめ専門職から見ると何らかの支援が必要だが、本人には実感が無い。「とりあえず言われたから」と相談に来られ、課題とニーズのすり合わせをすることで「いずれ世話になるんだから」と介護認定申請をされ、サービス利用に繋がるという傾向にある。ここ数年は高齢のみならず、障がい・生活困窮などを重複した課題を抱えた世帯の対応も増え、多職種で幅広くきめ細やかな支援に繋がられるサポート体制の構築が必要である。センターとしては、行政、医療や福祉専門職との連携力を強化し、柔軟に対応できる相談窓口としての役割が求められるようになってきている。

①新規相談件数

		件 数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
南 部		32	27	45	41	31	35	36	38	34	38	32	24	413
内 訳	園部	21	14	28	19	15	20	27	22	24	21	19	16	246
	八木	11	13	17	22	16	15	9	16	10	17	13	8	167
北 部		20	29	14	15	31	18	23	18	19	16	19	22	244
内 訳	日吉	15	19	4	8	15	5	15	7	11	8	11	10	128
	美山	5	10	10	7	16	13	8	11	8	8	8	12	116
その他		2	1	1	2	1	0	3	1	1	0	0	1	13
不明		1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	6
合 計		55	58	60	59	63	53	62	58	54	55	51	48	676

②相談経路（重複あり）

相談経路	件数	割合	相談経路	件数	割合
本 人	39	5.2%	区長・区役員	4	0.5%
配偶者	44	5.9%	近隣住民	9	1.2%
子・子の配偶者	157	21.0%	サロン	4	0.5%
家族・親族	33	4.4%	老人クラブ	1	0.1%
ケアマネ	80	10.7%	ボランティア	2	0.3%
サービス事業所	21	2.8%	その他	37	5.0%
入所施設	10	1.3%	合 計	747	100.0%
医療機関	84	11.2%			
社協	40	5.4%			
学校	2	0.3%			
行政	99	13.3%			
ふれあい委員	6	0.8%			
民生児童委員	75	10.0%			

③相談内容（重複あり）

相談内容	件数	割合
制度・サービス	410	47.3%
虐待（疑い含む）	6	0.7%
認知症	68	7.9%
衣食住	21	2.4%
医療	28	3.2%
入退院	59	6.8%
施設入退所	28	3.2%
アルコール	5	0.6%
権利擁護	6	0.7%
状況確認	126	14.5%
出前講座依頼	13	1.5%
生活困窮	9	1.0%
その他	87	10.0%
合 計	866	100.0%

(2) 権利擁護

① 虐待

全国的にみると、虐待種別は、身体的虐待が一番多く、次いで、心理的虐待、介護放棄である。被虐待者の男女別は、23.7%が男性、76.3%が女性である（平成30年度）。

今年度の南丹市での虐待種別を男女別でみると、身体は男性2人、女性が7人、心理は男性が1人、女性が4人、介護放棄は男性が1人、女性2人となっている。

虐待通報の内容からは、病気の進行などでご本人の状況が変わってくることで、より高度な介護スキルが必要になるが、介護者側がその変化についていけず、心身共に負担になっている姿がみえる。また、介護を必要とする人が複数いる世帯、独身の子が適切な方法を知らないまま介護や家事を担っている世帯もある。サービスの導入や介助方法の伝授などによって、状況が好転したケースもあった。こういった支援は関係者の協力協働のもとで行われており、認識の共有が必須である。

ア. 虐待通報件数

(4～3月)

12 件

認定

8

件

(通報の内2件、認定可否がまだ)

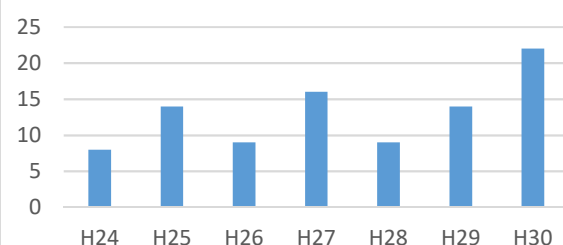
イ. 相談者内訳

相談者	件数
民生児童委員	1
ケアマネ・サービス事業所	5
医療機関	3
行政・警察	1
家族・親族	0
本人	2
その他	0
合 計	12

ウ. 虐待種別(重複有)

種 類	件数
身体的虐待	9
心理的虐待	5
介護放棄	3
性的虐待	0
経済的虐待	0
疑い不適切な状況	0
合 計	17

経年虐待通報件数推移



エ. 被虐待者の内訳

性 別	人数	要介護度	人数
男 性	2	申請中	0
女 性	10	要支援1	2
合 計	12	要支援2	1
		要介護1	2
		要介護2	3
		要介護3	2
		要介護4	0
		要介護5	0
		認定なし	2
		合 計	12
		認知症有無	人数
		あり	7
		なし	5
		不明	0
		合 計	12

オ. 養護者の内訳

性 別	人数	関係(続柄)	人数
男 性	5	夫	2
女 性	7	妻	0
合 計	12	息子	3
		娘	3
		息子の妻	4
		娘の夫	0
		孫	0
		その他	0
		合 計	12
		同居の有無	人数
		同 居	11
		別 居	1
		合 計	12

カ. 対応

会議	開催回数
虐待コア会議	9回
虐待評価会議	11回

②成年後見

もともと親族との関係の薄く、かつ、金銭管理に課題を抱えていた人が、入院などをきっかけに保証人を必要とし、申し立てに至るケースが多い。

申し立て書類をそろえる手順として、本人情報シートが導入され、鑑定する医師へ本人の状況を伝えやすくなった。ひとりの方に対し、さまざまな機関が関わっているため、情報シートも協力して作成することがある。引き続き、関係機関と連携しながら、必要な方が申し立てできるよう支援していきたい。

ア. 成年後見相談件数 (4～3月) 9 件

	事例概要	地域	主な対応、支援内容
1	生活保護CWより相談。独居、身寄りなし。認知症により金銭管理支援必要。保証人問題あり。	園部	個別支援会議を開催。関係者で申し立て必要と判断し、本人も希望された為、生活相談センターと連携し、法的解決プログラムにて後見申し立て手続き予定。診断書依頼の為、CWと病院受診同行。
2	糖尿病の悪化、認知症状の進行により医療保護入院となった。身寄りがいないため後見人が必要となる。	八木	結婚歴なくきょうだいもおらず、連絡が取れる身寄りは高齢で要介護状態のイトコのみ。個別会議、病院との連携で支援を検討。後見相当のため市長申し立てする。
3	生活保護CWより相談。独居、身寄りなし。療育手帳保持。兄が亡くなり、今後、転居の可能性があり後見人が必要となる。	八木	地域ケア個別会議を開催。関係者では後見相当と思われるため、法的解決プログラムの利用が困難な見通し有り。市長申立ての可能性を考え、福祉相談課とも調整しながら対応。→ケアマネ、ケースワーカーと協力し、本人情報シートを作成。後見相当の診断書となったため、市長申し立てする。
4	独居、結婚歴もない。4親等になる姪が何かと連絡先になってくれていたが、負担感が増してきて申し立てを検討。	日吉	姪も交えて地域ケア個別会議開催。姪が申し立てをする方向になったが、のちに「申し立てできない。」と言われる。本人申し立てできないか法的解決プログラムを活用し、司法書士を交えて個別会議開催。類型を診てもらうために医療機関につなぎ、その結果から本人申し立てをする。
5	独居。親族は遠方で疎遠。認知症あり、金銭管理等できず、生活環境も悪い。サービス受入拒否、サービス利用時の契約等の関係からも後見申し立てを検討。	美山	法的解決プログラム、法テラスの出張相談などを利用。その中で、本人の知り合いの弁護士がわかり、連絡。弁護士事務所とのやりとりや同行訪問、個別ケア会議での連携など行い、申立てする方向で検討、結果、弁護士とも連携しながら市長申し立てすることとなった。
6	担当CMからの相談。独居。親族とは疎遠。もともと適切な判断が1人では困難。金銭管理支援必要。入院中であるが、保証人が誰もいない状況。	園部	個別支援会議を開催。関係者で申し立て必要と判断し、本人も希望。司法書士に申し立て手続きを依頼。CMと協力し、本人情報シートを作成。
7	担当CMからの相談。独居。親族とは疎遠。金銭管理や適切な優先順位が判断できない。骨折で入院となり、保証人問題でてくる。要介護状態となる。	園部	個別支援会議を開催。関係者で申し立て必要と判断し、本人も希望された為、司法書士に手続きを依頼。CMと協力し、本人情報シートを作成。
8	親族から包括へ相談あり、関わりを続けていたケース。精神疾患。独居、親族とは疎遠。金銭管理は権利擁護サービス利用。保証人問題あり。入院や入所が想定される。	園部	地域ケア個別会議や主治医との連携を積み重ね、法的解決プログラムにて後見申し立て手続き行う。
9	包括でケアマネ担当。難病、認知症。独居、親族とは疎遠。金銭管理は権利擁護サービス利用。保証人問題あり。入院や入所が想定される。	園部	法的解決プログラムにて後見申し立てを行う事となる。診断書作成の為の精神科受診同行行う。本人情報シートを作成。

(3) 包括的・継続的マネジメント支援事業

ケアマネ連絡会は、ケアマネ同士の情報交換や行政からの説明、医療連携についての研修、認知症の妻を介護している介護者からの話を聞く研修など、ケアマネの資質向上の取り組みができた。また第3回は、ヘルパー事業所との合同研修として位置づけて開催し、それぞれの立場で意見交換し、お互いの業務をさらに深く理解する機会を得ることができた。

① ケアマネ連絡会

	開催日	内容・講師	参加
第1回	5/16 (木)	交流会（日頃の業務について情報交換）・ひよりカフェの出張	33 名
第2回	8/23 (金)	研修「福祉相談課業務について」	37 名
第3回	11/21 (土)	研修「精神疾患の理解・支援方法」	44 名
第4回	2/18 (火)	研修「認知症の妻を介護する家族の立場からケアマネに思うこと」	36 名

② ケアマネ事例検討会

	開催日	タイトル	事例提供者	参加
第1回	4/18 (木)	南丹市介護者家族の会合同交流会について、情報交換	美山診療所 秦雅子	14 名
第2回	6/20 (木)	必要なサービスを受け入れず、体調を崩していく利用者の支援について	ほほえみかぐら 諫本昌美	15 名
第3回	8/22 (金)	一人暮らしの不安かや疲れから気持ちが不安定となられる利用者の支援について	ほほえみ八木 平井いずみ	11 名
第4回	10/17 (木)	若くして脳内出血を発症し、右半身麻痺が残った方の就労も含めた支援について	シミズふないの里栗津裕子	13 名
第5回	12/19 (木)	鬱の夫と娘と三人で自宅で暮らしたい利用者の支援について	ほほえみかぐら長内みずき	12 名

③ その他 ケアマネ支援（ケース支援など）

	事例概要	地域	主な対応、支援内容
1	独居で親戚づきあいもなく不安に思っている人について任意後見を勧められるだろうか。	日吉	本人の不安と思っている部分について詳しく聞き、どの制度が合うのか検討。
2	家族とケアマネジャーの関係性が作りにくいことが影響し適切な支援に結びつかない。	八木	個別会議を開催。課題整理、役割分担をおこない、ケアマネジャーや支援者の動きを視覚化した。
3	担当利用者の家族に関わる支援。問題行動が急に出現した息子氏、その状況にパニックになる嫁氏に対する支援について、その母を担当するケアマネジャーからの相談。	八木	母を担当するケアマネジャー、高齢福祉課、包括とで自宅訪問。長女氏を新たなKPとし情報収集。今後の動きを整理。（支援継続中）
4	ケアマネジメント業務についての問い合わせ。	八木	ケアマネジメントの流れ、計画書の作成等についてケアマネジャーに説明。
5	独居で姪から「これ以上関われない、施設に入れて欲しい。」と相談され、今後の検討をしたい。	日吉	姪を交えての地域ケア個別会議。成年後見制度を含めた対応を検討。

6	担当している利用者の知人の生活が困窮している様子。	日吉	社協事務所と一緒にその知人に声掛け。生活相談課へつなぐ。
7	担当していた利用者が亡くなり、残った家族の心配。	日吉	ケアマネと同行し、今後の相談は包括が受けて行くことを伝える。
8	独居。認知症、生活環境悪化などにも関わらず、サービス受入理解がない。	美山	行政、弁護士などと連携。自宅や関係機関などケアマネと同行。
9	担当利用者に徘徊がみられるため、家族に市の事業やGPSについて教えてあげてほしい	美山	訪問し、つながろう南丹ネットやGPS事業等について説明する。
10	介護度の高い利用者について、家族の介護力、経済力が心配なケースについての支援。	日吉	サービスが受けやすいように、家庭の経済状況を把握するために生活相談課にも話に入ってもらい支援した。
11	同居家族が精神的に不安定であり、利用者への曖昧な態度がスムーズなサービス提供を妨げている。	八木	家族自身のしんどさの相談先として保健医療課保健師を提案。
12	同居家族が精神的な課題を抱えている。状態が悪いとサービス事業所に攻撃的な態度をとる。	園部	ケアマネと基幹相談支援センター相談員との顔つなぎ。会議をもって課題共有。
13	精神疾患のある娘宅に要介護状態の父親が同居することになり、CM紹介、娘の不安が強く今後が心配。	美山	ケアマネや保健師と同行訪問。ケアマネや行政間の連携支援や引き続きの関りを行っている。
14	独居でサービス利用していたが、以前からあった妄想がひどく出現するようになり、サービス提供ができなくなる。食事すら入らず急激な状態悪化が予測される。	八木	ケアマネと同行訪問し状態確認。主治医連携。地域住民、駐在所含め情報共有と今後の支援について検討するため、個別ケア会議を開催。
15	認知症の進行により生活状況が悪化。また、浮腫等あり内科的にも心配な状態だが、家族の理解が得られず受診ができない状態が続いている。	八木	ヘルパーの訪問に合わせてケアマネと同行訪問し状況確認。介護保険更新時期を控えていたこともあり、サービス事業所・ケアマネ・包括で今後の支援を検討。
16	要支援の本人と要介護の母との二人暮らし。精神疾患のある次男が他市に在住も時々帰省し、本人達の不安につながっている。	美山	次男の関わりや支援等について行政間連携の確認や今後の動きの確認の為、個別ケア会議を開催し、検討する。

④ なんとん通所サービス部会

	開催日	活動内容	参加
幹事会	4/15 (月)	前年度の振り返り、次回の内容について検討	2 名
第1回	7/19 (金)	研修会「しんどい」を「楽しい」に変換しよう 講師：認定コミュニケーショントレーナー 竹内 博士氏	22 名
幹事会	8/19 (月)	前回の振り返り、次回の内容についての検討	2 名
第2回	11/22 (金)	研修会「現場の課題を深掘りして、みんなで考えよう！！」 ～課題に向き合う考え方について～ 講師：社会福祉法人みその会 在宅事業施設ケアリング 森田武 氏	25 名
幹事会	12/18 (水)	前回の振り返り、次回の内容についての検討	2 名
第3回	2/14 (金)	研修会「介護現場のタイムマネジメント」 ～効率的な仕事で「時間がない」から脱却しよう～ 講師：京都府介護福祉士会 柏本 英子氏	19 名
幹事会	3/25 (水)	前回の振り返り、次年度への引継ぎ事項の確認、 次回の内容についての検討	3 名

⑤地域ケア推進会議

今年度の地域ケア推進会議では、南丹市内で活動が広がるよう新たに社協地域福祉部職員もチーム員に迎え、地域のシニア世代（団塊の世代）の方々に焦点をあて、社会参加や早期の介護予防等について考える機会を持ち、シニア世代の社会参加や社会資源の創出につながる内容で取り組みを進めてきた。第1回目は、実際に南丹市内で男性が活動されている団体の事例を共有し考える機会とし、第2回目は、その延長にある人生のしまい方についても考える機会で開催したが新型コロナウイルス感染症対策のため中止することになった。

次年度は、更に社協内での部門間連携を深め、地域課題解決に向けた会議開催ができるようにしていきたい。

	開催日	テーマ（場所）	内容	参加	
第1回	9/3 (火)	みんなでつくる地域ケア包括システム「シニア世代の社会参加が地域を豊かにする」～頂上までのルート探索～ (遊youひよしホール)	<p>実際に南丹市内で男性が活動されている2つの団体から事例発表いただき、それぞれの活動を登山に例えて「社会参加の方法を探すヒント」や「シニア世代の活動が南丹市内で広がる」よう、みなさんで考える機会になることを目的に開催した。</p> <p>1. 事例発表 パネラー 西田塾様、クレージーモンキーズ様 コーディネーター南丹市社協地域福祉部長</p> <p>2. 質疑応答</p> <p>参加者：150人 民生児童委員、ふれあい委員、サロン代表者、介護保険事業所、ボランティア、老人クラブ、集落支援員、食改、さくら楽習館、まちづくりデザイン、地域リハセン、行政、社協、包括</p> <p>(まとめ) 事例を通して「社会参加を行うことで健康にも効果がある」こと、活動を行う上では、「人のために活動することが、結果自分のためにもなっている」こと、「楽しみながら活動することの大切さ」など学ぶことができた。</p> <p>質疑応答では、実際に活動をされている方へのヒントやこれから活動をしてみたいなど聞くことができた。</p> <p>アンケートでは、「男の料理教室は楽しそうなので地区でもやっていきたい」や「高齢者だけでなく地域まるごとがつながっている活動をしていきたい」と前向きな感想が多かった。</p> <p>今回から、社協地域福祉部職員もチーム員に参加いただいているため、更に南丹市内で活動が広がっていくことを期待したい。</p>	150	名
第2回 中止	3/11 (火)	百まで生きる“覚悟”超長寿時代の“身じまい”の作法（国際交流会館イベントホール）	「老い支度」をテーマに春日キスヨ氏を講師に招き『百まで生きる覚悟～超長寿時代の身じまいの作法～』と題して公開講座を企画。3月10日に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症に伴い開催中止となる。		

⑥ 地域ケア個別会議

地域ケア個別会議：課題のあるケースについて、関係者で集まり解決やより良い状況を目指し関係者で検討を行う会議。地域課題を抽出し、地域ケア推進会議にもつなげ、地域課題の解決を目指す。

【今年度の開催】 会議数： 81回（43ケース）

- ・独居、高齢世帯で身寄りなく、入院や入所（保証人）を想定し、成年後見制度について検討したケースが増加。
- ・家族に困窮課題があり、十分なサービス利用ができないといった経済的課題のあるケースが増加。
- ・現状サービス利用している方の課題整理を行った、担当者会議の拡大版として開催したケースが増加。

（今後について）

- ・ケースにより、オブザーバーとして地域リハセンや司法書士にも参加を依頼する（継続する）
- ・引き続き生活支援コーディネーターへも参加を依頼し地域課題にまで検討できる会議の開催をおこなう
- ・ケースにより、会議の開催方法を工夫する
- ・予防プランの会議を開催する
- ・ケースに応じて幅広い機関に出席を依頼する
- ・次年度からはまとめ方を改善し、課題分析を丁寧に行う。分析内容を、地域ケア推進会議へつなげていく。

1-1. 実施状況（延べ回数）

町名	実施回数
園部	17
八木	24
日吉	28
美山	12
合計	81

1-2. 実施状況（ケース数）

町名	人数
園部	12
八木	14
日吉	14
美山	3
合計	43

2. 職種別参加状況

参加者	参加者数（人）
包括職員	139
高齢福祉課	93
保健医療課	6
社会福祉課	15
福祉相談課	5
その他行政の課	21
介護支援専門員	71
介護サービス提供事業所	61
障がい者サービス提供事業所	17
社協職員	52
認知症推進員	4
その他事業者	3
本人	2
家族・親族	12
医療系従事者等	15
民生委員	11
区長	0
近隣等	9
警察関係	5
消防署	0
金融機関	0
その他	14
合計	562
1回あたりの参加者数	7.03

3. 開催の経緯※重複あり

情報共有	66
近所との関係	3
障がいの課題	10
制度について	5
経済的な課題	13
認知症の課題	14
虐待	28
独居	20
高齢者世帯	6
居場所	1
見守り	14
医療の課題	6
施設入所	14
家族関係	17
就労	1
住環境	16
運転	0

(4) 介護予防マネジメント

サービスの利用件数は、月ごとにばらつきが発生しているが、年間での平均月利用件数は518件となり、前年度3月の508件から比べゆるやかに増加している。事業対象者に限ってみると、前年度3月の33件と比べ、29件と、わずかに減っているものの、継続して利用されている。ケアマネジメントBについては、件数が減っており、八木と美山では0件となっている。市内ケアマネジャーへの委託率は、全体で76.8%となっており、今後もケアマネジャーと連携を図ることが重要である。

①介護予防サービス・総合事業（介護予防・生活支援サービス（第1号事業）

ア. 令和元年度 月別サービス 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	34	34	33	34	33	33	35	36	35	32	29	29
要支援1	103	105	103	98	91	95	98	103	106	110	106	101
要支援2	378	378	384	386	387	397	391	381	384	380	383	372
合 計	515	517	520	518	511	525	524	520	525	522	518	502

※年間平均…事業対象者：33件、要支援1：102件、要支援2：383件、合計518件

イ-1. 介護予防支援/介護予防ケアマネジメント委託件数（町別）

	全体	園部	八木	日吉	美山
ケアマネ	383	140	101	60	82
委託率	76.8%	76.9%	79.5%	71.4%	77.4%
包括	116	42	26	24	24
合 計	499	182	127	84	106

※R2.3月時点（市外在住3名除く）

イ-2. 介護予防支援/介護予防ケアマネジメント委託件数（全体）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度
ケアマネ	236	268	298	323	338	384	383
(委託率)	69.4%	71.1%	71.1%	74.1%	68.7%	75.5%	76.8%
包括	104	109	121	113	154	124	116
合 計	340	377	419	436	492	508	502
包括職員配置	8人	9人	9人	10人	10人	11人	11人

- ・南丹市内委託居宅介護支援事業所…19箇所 介護支援専門員数…47人
- ・R2年3月に他市・他県でサービスを利用している要支援者…3人
京都府内…2人 他県…1人
- ・南丹市内のケアマネジャー1名あたり平均担当数…8.6人

ウ. 介護予防サービス計画・介護予防ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防支援	336	339	344	344	332	348	344	339	348	346	343	342
ケアマネジメントA	168	171	169	168	174	172	175	176	172	170	170	155
ケアマネジメントB	11	7	7	6	5	5	5	5	5	6	5	5
合 計	515	517	520	518	511	525	524	520	525	522	518	502

- ・介護予防支援…介護予防サービス利用（総合事業サービス含む）
- ・ケアマネジメントA…総合事業サービス（現行相当）利用（くらし安心サポート含む）
- ・ケアマネジメントB…総合事業サービス（くらし安心サポート）のみの利用
- ・介護予防サービス…通所リハビリ・福祉用具貸与・訪問看護・短期入所など
- ・総合事業サービス…通所型サービス（デイサービス現行相当）
訪問型サービス（訪問介護現行相当）
くらし安心サポート（旧 軽度生活支援事業が移行）
- ・事業対象者…基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方

エ. 令和元年度 町別 サービス利用件数（認定別）

	園部	八木	日吉	美山
事業対象者	11	3	9	6
要支援1	41	21	9	30
要支援2	130	104	67	71

オ. 令和元年度 町別 サービス利用件数（ケアプラン別）

	園部	八木	日吉	美山
予防支援	112	82	66	82
ケアマネジメントA	69	46	15	25
ケアマネジメントB	1	0	4	0

(5) 地域包括支援ネットワークの構築

①介護者（家族）の会

介護者家族の会は、どの会も発足して10年以上が経過しているが、ここ数年、新しく会員となる方が少ない。4町での合同会議の中で、広く介護者家族の会を知ってもらうための取り組みを検討。各町会長出演のCMをCATVにて放映した結果、地域から反響があり、合同交流会への一般参加者確保へと繋がった。また、現役介護者が興味を持って参加できる行事を計画したり、会員から声をかけるなど、積極的に新規会員増に向けた動きがあり、少しずつではあるが、現役介護者の新規入会に繋がっている。OB会員が現役介護者の悩みを聞いたりアドバイスするなど、会員同士の交流が活発に行われている。

南丹市介護者家族の会（全体）

	開催日	内容など	参加
第1回	6/28（金）	（会長会）全体の取り組みについての協議、情報交換	9名
第2回	9/12（木）	南丹市介護者家族の会合同交流会について、情報交換	8名
第3回	10/9（水）	南丹市介護者家族の会合同交流会について、情報交換	9名
全体会	11/13（水）	南丹市介護者家族の会合同交流会（映画鑑賞、昼食交流会）	59名
第4回	1/29（水）	合同交流会振り返り・次年度について、情報交換	8名

園部町介護者の会 なごみの輪（会員数：25人〔うちOB会員7人〕）

	開催日	内容など	参加
第1回	4/18（木）	総会、交流会	11名
第2回	6/13（木）	勉強会「誤嚥性肺炎について～家庭でできる予防法～」	11名
第3回	8/29（木）	勉強会「体を痛めない介助方法」	7名
第4回	12/13（金）	クリスマス交流会	14名
第5回	2/14（金）	おしゃべり交流会	11名

八木町介護者の会 たんぽぽ（会員数：35人〔うちOB会員26人〕）

	開催日	内容など	参加
第1回	4/19（金）	総会、交流会	16名
第2回	7/24（水）	勉強会「口腔ケアや誤嚥性肺炎について」	12名
第3回	10/11（金）	男の料理教室	13名
第4回	12/6（金）	懇親会（クリスマス交流会）	19名
第5回	2/21（金）	男の料理教室 ※食生活改善推進員の方と合同開催	21名
第6回	3/13（金）	【中止】交流会※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	—名

日吉町介護者の会 絆の会（会員数：22人〔うちOB会員11人〕）

	開催日	内容など	参加
第1回	4/24（水）	総会、交流会（アロマクリーム作り）	14 名
第2回	6/19（水）	車いすの介助方法の学習会	17 名
第3回	9/25（水）	癒しのミニコンサート	25 名
第4回	1/28（火）	新年交流会	10 名
第5回	3/5（木）	【中止】10周年記念行事※コロナウィルス感染拡大防止のため	- 名

美山町介護者の会 あいの会（会員数：15人〔うちOB会員6人〕）

	開催日	内容など	参加
第1回	4/24（水）	総会、交流会	7 名
第2回	5/23（木）	交流会、年度行事について	7 名
第3回	6/27（木）	出張あいの会（宮島）、交流会	10 名
第4回	7/18（木）	川柳教室、交流会	4 名
第5回	9/26（木）	グラウンドゴルフ交流会	13 名
第6回	10/18（金）	RUN伴（応援隊）、交流会	5 名
第7回	12/5（木）	クリスマス会&忘年会	8 名
第8回	12/7（土）	美山福祉のつどい『あいの会川柳』パネル展示	
第9回	1/24（金）	新年会（食事会・初釜）	11 名
第10回	2/19（水）	交流会、次年度について	7 名
第11回	3/18（水）	交流会、今年度のふりかえり	7 名

②さまざまな社会資源との連携

例年同様、各イベントや行事に出向いて包括の啓発や出張相談、出前講座など行った。
イベントや行事、サロンなどに参加される方は、ほかの違う集まりでもお会いすることが多かった。
反対に、集まりに参加しにくい方は、相談事を発信することもしにくいと思われるので、今後はそのような方への啓発の方法も検討が必要である。

ア. 出前講座

	実施日	地域	団体・対象	内 容
1	4/2 (火)	園部	ふれあい教室 (南部)	足の筋力測定、 体操
2	4/5 (金)	日吉	後野集会	包括啓発
3	4/9 (火)	園部	ふれあい教室 (埴生)	足の筋力測定、 体操
4	4/11 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	紙芝居
5	4/16 (火)	園部	ふれあい教室 (新町)	足の筋力測定、 体操
6	4/19 (金)	美山	深見サロン	健康、血管年齢、 包括啓発
7	4/23 (火)	園部	ふれあい教室 (黒田)	足の筋力測定、 体操
8	4/23 (火)	日吉	殿田ミニデイ	介護保険制度 包括啓発
9	4/24 (水)	日吉	中世木サロン	包括啓発
10	5/7 (火)	園部	ふれあい教室 (高屋)	足の筋力測定、 体操
11	5/9 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	ボランティアの歌 と踊り
12	5/14 (火)	園部	ふれあい教室 (大西)	足の筋力測定、 体操
13	5/20 (月)	日吉	ようきはったカ フェ	認知症予防 包括啓発
14	5/21 (火)	園部	ふれあい教室 (小山西)	足の筋力測定、 体操
15	5/28 (火)	園部	ふれあい教室 (竹井)	足の筋力測定、 体操
16	6/3 (月)	日吉	志和賀サロン	包括啓発
17	6/4 (火)	園部	ふれあい教室 (曾我谷)	足の筋力測定、 体操
18	6/11 (火)	園部	ふれあい教室 (半田)	足の筋力測定、 体操
19	6/13 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	特殊詐欺
20	6/17 (月)	八木	青戸サロン	包括啓発

	実施日	地域	団体・対象	内 容
21	6/18 (火)	園部	ふれあい教室 (北部)	足の筋力測定、 体操
22	6/19 (水)	園部	大西にこにこクラ ブ (サロン)	血圧・血管年齢・足の 筋力測定、デイ希繁栄 養士の話
23	6/25 (火)	園部	ふれあい教室 (仁江)	足の筋力測定、 体操
24	7/2 (火)	園部	ふれあい教室 (船岡)	足の筋力測定、 体操
25	7/3 (水)	日吉	ようきはったカ フェ	包括啓発
26	7/9 (火)	園部	ふれあい教室 (殿谷)	足の筋力測定、 体操
27	7/9 (火)	園部	栄町遊友サロン	いなふ 歩行テスト、 足の筋力測定、体操
28	7/10 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	折り紙
29	7/16 (火)	園部	ふれあい教室 (越方)	足の筋力測定、 体操
30	7/19 (金)	美山	上平屋サロン	介護予防など
31	7/23 (火)	園部	ふれあい教室 (大 河内)	足の筋力測定、 体操
32	7/23 (火)	美山	平屋ミニデイ	健康教室
33	8/1 (木)	美山	知井ミニデイ	健康教室
34	8/6 (火)	園部	ふれあい教室 (美園)	足の筋力測定、 体操
35	8/8 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	サイコロトーク
36	8/18 (日)	日吉	まちカフェサロン	包括啓発
37	8/23 (金)	園部	出張相談 (京信園部)	血圧、血管年齢、足の 筋力測定：23人
38	8/30 (金)	園部	出張相談 (Aコープ)	血圧、血管年齢、足の 筋力測定：26人
39	9/12 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	お灸体験
40	9/17 (火)	園部	出張相談 (トラッグ ユタカ)	血圧・血管年齢・足の 筋力測定：46人

	実施日	地域	団体・対象	内 容
41	9/27 (金)	美山	三和クラブ	健康講座
42	9/28 (土)	美山	出張相談 (やすらぎふれあいまつり)	脳年齢、血管年齢 測定:21人
43	10 /2 (水)	園部	西本梅合同サロン	包括啓発
44	10/14 (月)	八木	出張相談 (西田塾)	脳年齢、足指筋力測 定、包括啓発:15人
45	10/10 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	RUN伴応援グッ ズ作り
46	10/15 (火)	園部	出張相談 (J A園部)	血圧測定、血管年齢:18人 足指筋力測定、包括啓発
47	10/15 (火)	日吉	出張相談 (JA日吉)	血圧測定、血管年齢:16人 足指筋力測定、包括啓発
48	10/26 (土)	八木	出張相談 (アイリス福祉会介護教室)	血管年齢測定、包 括啓発:51人
49	11/3 (日)	美山	出張相談 (美山ふるさとまつり)	脳年齢、血管年齢、包 括啓発:71人
50	11/4 (月)	園部	出張相談 (川辺ふれあいまつり)	脳年齢、健康チェッ ク、包括啓発:27人
51	11/5 (火)	園部	ふれあい教室 (黒田)	足の筋力再測定
52	11/12 (火)	園部	ふれあい教室 (南部)	足の筋力再測定
53	11/14 (木)	八木	生き通[西]	認知症について
54	11/14 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	ゆる体操
55	11/19 (火)	日吉	出張相談 (日吉ゆう薬局)	血圧測定、血管年齢:12人 足指筋力、認知機能チェック、包括 啓発
56	11/19 (火)	園部	ふれあい教室 (新町)	足の筋力再測定
57	11/19 (火)	八木	生き通 [北・東・神吉]	認知症について
58	11/24 (日)	園部	出張相談 (高山の郷文化祭)	脳年齢測定、握力測 定、包括啓発:58人
59	11/26 (火)	園部	ふれあい教室 (竹井)	足の筋力再測定
60	11/29 (金)	八木	生き通[南]	認知症について
61	11/30 (日)	日吉	世木振興会	包括啓発
62	12/3 (火)	園部	ふれあい教室 (小山西)	足の筋力再測定
63	12/7 (土)	美山	出張相談 (美山福祉のつどい)	血圧測定、 啓発:15人
64	12/10 (火)	美山	平屋ミニデイ	フレイル予防
65	12/10 (火)	園部	ふれあい教室 (埴生)	足の筋力再測定

	実施日	地域	団体・対象	内 容
66	12/12 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	クリスマス会
67	12/17 (火)	園部	ふれあい教室 [北部]	足の筋力再測定
68	12/24 (火)	園部	ふれあい教室 [北部]	足の筋力再測定
69	1/7 (火)	園部	ふれあい教室 [高屋]	足の筋力再測定
70	1/9 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	
71	1/14 (火)	園部	ふれあい教室 [半田]	足の筋力再測定
72	1/23 (木)	八木	京都信用金庫	介護予防につい て・体操
73	1/21 (火)	園部	ふれあい教室 [美園]	足の筋力再測定
74	1/28 (火)	園部	ふれあい教室 [仁江]	足の筋力再測定
75	2/4 (火)	園部	ふれあい教室 [曾我谷]	足の筋力再測定
76	2/12 (水)	園部	若松町サロン	血管年齢測定、 体脂肪スキャン
77	2/13 (水)	園部	上木崎町サロン	血管年齢、 足の筋力測定
78	2/13 (木)	日吉	ひよしのまちカ フェ	手芸
79	2/15 (土)	園部	内林町高齢者の 集い	認知症について
80	2/16 (日)	日吉	まちカフェサロン	エンディングノー ト
81	2/27 (木)	日吉	生畑サロン	たすけあい会議で決め た聞き取り調査
82	/ ()			
83	/ ()			
84	/ ()			
85	/ ()			
86	/ ()			
87	/ ()			
88	/ ()			
89	/ ()			
90	/ ()			

イ. 会議等への出席

【全体】

会議名	出席数	開催日	主な内容
南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 (地域包括支援センター運営協議会)	2	7/10(水)、11/13(水)、 3/11(水)中止	
南丹市老人ホーム入所判定委員会	1	5/23(木)	養護老人ホームの入所判定
南丹市医療対策審議会	3	7/欠、10/23(水)、12/23(月)、 3/3(火)	美山町の医療体制について
南丹市生活困窮自立支援事業支援調整会議	7	4/欠、5/30(木)6/21(金)、7/欠、 8/23(金)、9/27(金)、10/29(火)、 11/21(木)、12/欠、1/欠、2/17(月)、3/ 欠	月次報告、支援ケースの報告・検討
南丹市健康づくり推進協議会	2	6/18(火)、12/17(火)、 3/16(月)中止	第2次南丹市健康増進・食育推進計画 進捗状況、健康づくり推進協議会活 動報告
京都中部総合医療センター地域 医療支援病院運営委員会	3	6/5(水)、9/11(水)、11/27(水) 3/9(月)中止	H30年度地域連携実績報告、退院支 援報告
京都中部総合医療センター認知 症疾患医療連携協議会		3/12(木)中止	
京都府認知症施策連絡会	3	5/16(木) 11/7(木) 2/19(水)	認知症にやさしいまちづくり
南丹市認知症初期集中支援サ ポート会議	3	5/24(金) 8/22(木) 12/5(木)	活動報告、情報共有、認知症施策に ついて
京都府地域包括・在宅介護支援 センター協議会	1	6/26(水)、3/19(木)中止	総会、研修会
オレンジロードつなげ隊	3	5/21(火)企画会議 7/30(火)養成研修 7/31(水)フォローアップ研修	H30年度実績・R元年度計画について
在宅医療・介護連携推進事業検 討会	1	7/19(金)	在宅医療・介護連携推進事業の取り 組み状況について 今年度の計画について
地域リハビリテーションにかかる 連携会議 (南丹市)	1	8/2(金)	地域リハビリ・介護予防にかかる 重点課題 事例検討会・サロン交流会開催に向 けて
南丹市障がい者支援ネットワー ク会議 全体会	1	12/17(火)	南丹市内事業所内の情報共有、グ ループワーク
南丹地域医療構想調整会議・地 域保健医療協議会	1	12/6(金)、3/6(金)中止	南丹地域における病院の役割と今後 のついて
南丹市成年後見制度利用促進に 向けた連携会議	5	9/18(水) 11/19(火) 12/24(火) 2/4(火) 3/26(木)	権利擁護・成年後見センター設置に 向けて

【園部】

会議名	出席数	開催日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	5	5/10(金)、7/12(金)、9/13(金)、 11/8(金)、1/10(金) ※3月は中止	障がい者支援に対する協議、情報交 換など
第5回	2	4/18(木)、12/12〔木〕	
ふれあい委員研修会	1	4/13(土)	
地域別懇談会	6	7/18(木)(摩気)、8/1(木)(川辺)、8/29(木)(西本 梅)、9/5(木)(元桐)、9/19(木)(元町) 10/3(木)(元村)	地域での実践発表、意見交換など

園部たすけあい会議	5	5/22(火)、7/23(火)、9/26(木)、 11/25(月)1/29(水)※3月中止	
園部エリア会議	12	4/4(木)、5/8(水)、6/5(水)、7/3(水)、 8/5(月)、9/2(月)、 10/1(火)、11/6(水)、12/9(月) 1/10(金)、2/3(月)、3/5(火)	情報交換、課題共有
幸せの里運営推進会議	6	4/24(水)、6/28(金)、8/28(水)、 10/23(水).12/18(水)、2/27【木】	施設運営などについて
はぎの里オアシス運営推進会議	4	5/14(火)、7/欠、9/10(火)、 11/12(火).1/14(火) 3月中止	施設運営などについて
だんない運営推進会議	5	5/16(木)、7/11(木)、9/12(木)、 11/14(木)、1/23(木) ※3月は中止	施設運営などについて
ふれあいハート運営推進会議	1	10/30(水)	施設運営などについて
ふれあい本町運営推進会議	2	8/9(金)、2/13(木)	施設運営などについて

【八木】

日吉

会議名	出席数	開催日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	6	4/16(火)、6/18(火)、8/27(火)、 10/29(火)、12/17(火)、2/18(火)	障がい者支援に対する協議、情報交換など
民生児童委員協議会総会、定例会	1	4/24(水) (定例会)	
ふれあい委員研修会	1	4/13(土)	
ふれあいネットワーク会議	9	7/12(金)(東A)、7/16(火)(南B)、7/19(金)(西B)、 9/2(月)(東B)、9/3(火)(西A)、9/10(水)(北)、 9/12(木)(東C)、11/7(木)(南C)、2/19(水)(南A)	
地域別懇談会	2	10/6(日)(西)、1/25(土)(南)	災害机上訓練、非常食の試食
八木たすけあい会議	5	5/17(金)、7/19(金)、9/10(火)、 10/4(金)、12/9(月)	
八木エリア会議	11	5/21(火)、6/20(木)、7/23(火)、8/22(木)、9/20(金)、 10/24(木)、11/19(火)、12/19(木)、1/18(木)、2/25(火)、 3/23(月)	情報交換、課題共有
かたらいの家運営推進会議	5	4/26(金)、5/29(水)、7/17(水)、 9/18(水)、1/15(水)、3月中止	施設運営などについて
ちくりんえん運営推進会議	2	7/25(木)、9/26(木)	施設運営などについて
ラポールデイサービスセンター 運営推進会議	1	9/26(木)	施設運営などについて
N I S リハトレセンター運営推進会議	1	12/10(火)	施設運営などについて

【日吉】

会議名	出席数	開催日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	5	5/21(火)、7/23(火)、9/24(火)、 11/26(火)、1/28(火)	障がい者支援に対する協議、情報交換など
民生児童委員協議会総会、定例会	2	4/23(火) 定例会、1/27(火)	あいさつ
ふれあい委員研修会	1	4/20(土)	
地区別懇談会	5	7/12(金)保野田・志和賀、7/19(金) 五ヶ荘、7/26(金)世木、8/3(土)胡 麻、8/9(金)田原	

日吉たすけあい会議	5	4/11(木)、6/6(木)、8/22(木)、10/24(木)、12/16(月)	
日吉エリア会議	6	5/28(火)、7/9(火)、9/13(金)、11/22(金)、1/23(木)、3/23(月)	情報交換、課題共有、地域懇談会について
ひよしのまちカフェ	11	4/11(木)、5/9(木)、6/13(木)、7/11(木)、8/8(木)、9/12(木)、10/10(木)、11/14(木)、12/12(木)、1/9(木)、2/13(木)	
ひよしのまちカフェ実行委員会	4	5/9(木)、6/13(木)8/8(木)12/12(木)	運営などについて
はぎの里ふれあいホーム運営推進会議	4	5/16(木)、7/11(木)、9/12(木)11/14(木)	施設運営などについて
はぎの里デイ運営推進会議	2	9/13(金)、2/14(金)	施設運営などについて
はぎの里評議員会	2	6/25(火)、12/19(木)、3月中止	H30年度事業報告、決算報告

【美山】

会議名	出席数	開催日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	4	4/17(水)、6/19(木)、8/21(水)10/9(水)、	障がい者支援に対する協議、情報交換など
民生児童委員協議会定例会	1	12/17(火)	あいさつ
美山福祉ネットワーク会議	4	7/23(火)(鶴ヶ岡)、7/26(金)(大野)、7/29(月)(宮島)、8/30(金)(平屋)	民生委員、行政、駐在所、消防署との情報交換、共有、連携
ふれあい委員研修会	1	4/16(火)	
地域別懇談会	4	6/21(金)(鶴ヶ岡)、7/19(金)(知井)、12/18(水)(宮島)、2/10(月)(大野)	
美山たすけあい会議	2	7/18(木)、12/11(水)	
美山エリア会議	10	6/26(水)、7/29(月)、8/29(木)、9/25(水)、10/29(火)、11/26(火)、12/23(月)1/28(火)、2/26(水)、3/26(木)	情報交換、課題共有
グループホーム美山やすらぎ運営推進会議	5	5/28(火)、7/30(火)、9/19(木)、11/21(木)、1/28(火)	施設運営などについて
グループホームみやま運営推進会議	5	5/22(水)、7/24(水)、9/2(水)11/27(水)、1/22(水)	施設運営などについて

(6) 認知症を知り地域で支える活動の推進

1年を通し、住民や教育機関、また調剤薬局や金融機関等、高齢者と関わる様々なところから開催希望がみられた。市民に向けた認知症サポーター養成講座は、参加者を募る形になったが、参加人数も少なめであった。行政や協力機関のSNS媒体等も活用し、幅広い年代に受講してもらえるように、広報の方法も検討していきたい。

① 認知症サポーター養成講座の開催

	開催日	地域	対象者	サポーター数	キャラバンメイト	使用教材・内容
1	4/24 (水)	日吉	日吉ゆう薬局	12 人	上菌	標準テキスト
2	5/29 (水)	美山	北桑田高校美山分校	6 人	上菌、山田	標準テキスト
3	8/2 (金)	日吉	南丹市民	9 人	河岸、上菌	標準テキスト
4	8/5 (月)	八木	南丹市民	6 人	芦田、竹内、山田	標準テキスト
5	8/7 (水)	園部	南丹市民	10 人	芦田、三好、上菌	標準テキスト
6	8/7 (水)	園部	南丹市民	10 人	芦田、三好	標準テキスト
7	8/8 (木)	美山	南丹市民	15 人	河岸、竹中、山田	標準テキスト
8	9/27 (金)	園部	京都聖カタリナ高等学校看護科	50 人	河岸、上菌、山田	標準テキスト
9	10/15 (火)	美山	美山小学校4年生	19 人	山田	標準テキスト
10	10/16 (水)	園部	園部第二小学校	43 人	上菌	標準テキスト
11	10/25 (木)	八木	八木中学校3年生	54 人	森	標準テキスト
12	11/13 (火)	八木	フロンティア薬局八木店	6 人	河村、西野	標準テキスト
13	12/4 (水)	園部	新町地区	19 人	市原、栗原、平井、本多	標準テキスト
14	12/12 (木)	園部	京都信用金庫園部支店	11 人	栗原	標準テキスト
15	1/10 (金)	日吉	はぎの里デイサービス職員	7 人	近田	標準テキスト
16	2/12 (木)	日吉	JA日吉女性部生活大学	41 人	上菌、下村、西野 笹江、島川、中斎	標準テキスト
17	2/12 (木)	八木	八木町ふれあいネットワーク北地区	20 人	松本	標準テキスト
			合計	338 人		

②南丹市徘徊SOSネットワーク「つながろう南丹ネット」事業

SOSネットワークについて、ケアマネ連絡会や個別支援会議で啓発し、事前登録を増やす事ができた。徘徊歴がない方でも、もしもの場合に備えて登録していただく家族が増えた。協力機関は、障がいネットワーク会議や商店を訪問し依頼する事で、今年度16機関増えた。H30年度協力機関向けに実施したアンケート結果を分析し、改善点や今後の取り組みにつなげられる点が明確になった。

■事前登録、協力機関、FAX送信

事前登録 (行方不明の心配のある方)	36 人	令和元年度 新規登録：19人(4～3月)
協力機関登録 (行方不明発生時に見守り・情報提供を行う)	142 箇所	平成30年度末、高齢福祉課でアンケートを実施→廃業された等の理由あり、登録抹消：5箇所
FAX送信	2 件	事前登録 有：1件 無：1件 ※内市外1件 発見 翌日：1件 3日後：1件

2. 認知症初期集中支援推進事業（南丹市委託事業）

初期集中支援チームでは、今年度、計8ケースの検討、支援を行った。うち、3件は前年度からの継続ケース、5件が新規のケースとなった。今年度中に、7件の支援を終了と判断した。対象ケースについては、チーム員会議の中で、医師や専門職と意見交換を行い、支援の流れをつくることができた。

一方で、チームについて、ケアマネや医療機関などからの相談も少なく、まだまだ周知されていない現状があることから、ケアマネ連絡会において、支援ケースの概要紹介やチーム介入時の支援の流れ等説明、活用してもらえるよう広報に努めてきた。また、他市町村チームからも課題としてあがっているが、包括業務として対応していくケースと重なる部分も多く、チームの介入についての見極めや判断の難しさを感じる。

次年度も各関係機関への広報や周知をはじめ、支援の検討や経験を重ねる中で、チーム員の資質向上を図っていく必要があると思われる。

（1）認知症初期集中支援チーム活動

性別	男性：2人 女性：6人		
年齢	70歳～74歳：1人 75～79歳：1人 80歳～84歳：5人 85歳以上：1人		
把握ルート	家族から：5人 民生委員から：0人 介護支援専門員から：2人 行政から：1人		
終了ケース	認知症：3人 軽度認知障害：0人	要介護：4人 要支援：3人 事業対象者：0人 未認定：0人	

■チーム員会議（チーム員・チーム員医師）

内容…訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討

	開催日	検討ケース	新規	継続	支援終了	モニタリング
第1回	4/19（金）	3	0	3	0	1
第2回	5/24（金）	3	0	3	0	1
第3回	7/5（金）	4	1	3	2	0
第4回	8/22（木）	2	0	2	0	0
第5回	10/11（金）	3	1	2	1	2
第6回	11/15（金）	2	0	2	0	0
第7回	12/5（木）	4	2	2	0	0
第8回	1/30（木）	5	1	4	0	0
第9回	2/20（木）	5	0	5	0	0
第10回	3/27（金）	5	0	5	4	0

■サポート会議・その他会議など

	会議名	開催日	主な内容
1	サポート会議	5/24(金)（第1回）	チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討など
2	サポート会議	8/22(木)（第2回）	チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討など
3	サポート会議	12/5(木)（第3回）	チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討など
4	チーム員養成講座伝達研修	1/29(水)	チーム員養成（2名） 社会福祉士・薬剤師
5	検討会議	2/20(木)	初期集中支援事業の活動報告、評価、情報共有、地域課題など

(2) 認知症地域支援推進員

昨年度は1名の配置であったが、今年度より2名の配置で活動を行った。

成果として、RUN伴の開催や当事者向けケアパス作成があげられ、双方とも実行委員会を立ち上げ、推進員が事務局を担った。RUN伴では、南丹市で2年目の開催となり、南丹市で計15チーム、49名（内当事者5名）の参加があり、当事者や関係機関はもちろん、地域や小学校を巻き込んでの認知症啓発を行うことができた。

ケアパス作成では、当事者やそのご家族に実行委員に入ってもらうことで参考となる意見をもらい、また他方の当事者や関係者にもネットワークを活用して率直な意見をいただく機会をもつことができ、あくまでも「当事者向け」のケアパスとなるよう心掛けた。

その他、当事者活動支援の実践発表や推進員の資質向上やネットワーク形成、情報共有や連携などの機会にも積極的に参加した。

次年度に向けて、ケアパスの広報や活用をはじめ、引き続き地域づくりやネットワーク構築、個別支援へと繋がる活動を展開していきたい。

①各種会議、研修等への出席

(京都府)

内容	実施日	内容	実施日
市町村施策連絡会	5/16、11/7、2/19	初期集中支援チームスキルアップ研修	11/14
リンクワーカーフォローアップ研修	6/27、2/21（実践報告）	オレンジロードつなげ隊養成研修、オレンジロードつなげ隊フォローアップ研修（実践発表）	7/30、7/31
認知症の人と家族の会 連携（支部だより「プロの視点」寄稿）	10/29	認知症地域支援推進員ネットワーク会議	2/4
推進員現任者研修（大阪）	11/28、29		

(南丹圏域)

内容	実施日	内容	実施日
オレンジロードつなげ隊 企画会議	5/21	南丹保健所 若年性認知症研修	6/8（講師調整） 11/14
南丹リハセン 認知症研修	10/7	包括・在介南丹ブロック視察研修（高槻：オレンジホスピタル）	11/15
認知症高齢者行方不明時における検索ツール活用に関する研修会	1/21		

(南丹市)

内容	実施日	内容	実施日
南丹市RUN伴実行委員会（主催）	5/10、6/21、7/24、8/21、9/10、10/6、12/18	認知症ケアパス作成委員会（主催）	9/26、10/24、11/28、12/26
認知症ケアパスデザイン作成チーム会議（主催）	2/5、2/19、2/26、3/6	認知症事業計画等会議	5/20、2/6
認知症初期集中支援チーム員会議	4/19、5/24、7/5、8/22、10/11、11/15、12/5、1/30、2/1、3/27	認知症初期集中支援サポート会議/検討会議	5/24、8/22、12/5（サポート会議） 2/20（検討会議）

②各取り組み、活動

取り組み	内容
認知症サポーター養成講座（企画、開催、RUN伴啓発など）	園部第二小学校（8/27打合せ、10/16開催）、美山小学校（9/30打合せ、10/15開催）、聖カタリナ高校（8/1打合せ、9/27開催）、北桑田高校美山分校（5/29） 園部地域（8/7）、八木地域（8/5）、日吉地域（8/2）、美山地域（8/8） JA日吉女性部生活大学（2/12）
お出かけ支援訓練	園部新町地域（10/18）RUN伴と同時開催
認知症初期集中支援チーム員活動	都度（訪問、アセスメント、関係機関・医療連携など）
当事者支援活動	都度（訪問、アセスメント、関係機関調整・医療連携、ボランティア活動など）
ひよしまちカフェ（認知症カフェ）	実行委員会参加、外出企画など
たすけあい会議	美山（7/17 認知症カフェについて）
認知症相談	都度
各種連携	都度
推進員現任者研修	11/28、11/29（大阪会場）

居宅介護の部

1. 居宅介護支援事業

〈事業所〉	ほほえみ園部	居宅介護支援事業所	[介護保険]
	ほほえみ八木	居宅介護支援事業所	[介護保険]
	ほほえみかぐら	居宅介護支援事業所	[介護保険]

【今年度スローガン】住み慣れた地域で「望む暮らし」の支援をめざして

【今年度達成目標】医療連携加算取得（対前年度比4%増）

【目標達成状況】

事業所	前年度医療連携加算	今年度目標加算数	今年度加算総数	目標達成率
ほほえみ園部	17件	18件	30件	166.67%
ほほえみ八木	69件	71件	70件	98.59%
ほほえみかぐら	63件	65件	72件	110.77%

安定した事業経営

今年度の事業経営も厳しい状況であった。制度上収益の出ない事業であるが人件費率3事業所の平均は99.5%となった。特に園部では人員配置上特定事業所加算の算定が不可能であり年度を通じて厳しい状況であった。遠距離での介護や共働き世帯での介護等、地域で暮らす要介護者の家庭環境も厳しいなか長期入所の意向も増えており今後在宅サービスの組み立てで少しでも住み慣れた場所で暮らし続けられる支援を介護支援専門員としてわかりやすく説明しサービス事業所と更に連携を深めていく必要がある。

① サービスの質的向上と利用者の信頼確保

包括主催の事例検討会へ年5回参加、他法人との共同事例検討会を年2回共同で計画実施、また個々のケースにおいても、自立支援の視点で計画や評価を定期的に行うことで、課題解決スキルの向上を図ることができた。その結果、法人内ケアマネジャーが、京都府介護支援専門員協会開催の事例研究会で、「最優秀賞」を受賞するといった快挙を成し遂げた。今年度は第三者評価を受診し、自ら提供するサービスを振り返り、質の改善を図るための良い“気づきの契機”となった。利用者だけでなく家族支援を行う上で家族関係を理解し信頼を深めることも出来た。今後も人としてのマナーを基本に各々の利用者・家族に対応できる力量を身につけて愛される事業所づくりを目指していきたい。

② 法人内他部門との連携強化と地域福祉貢献

法人内部他部門と連携を図り、地区別懇談会に積極的に参加し、地域住民との関係構築、地域課題を共有することができた。地域貢献事業として認知症カフェの運営委員としてだけでなく職員もカフェに参加し地域の方々との交流できた。また今年度初めての取り組みとして、消防署主催の救急座談会に、地域住民と一緒に参加し、救急時の対応や防災についての知識を深めることができた。

③ 後継者育成・離職ゼロとケアマネ業務の魅力発信

主任ケアマネジャーを中心に、常にチームで情報を共有し業務やケース支援に取り組んだ。新人ケアマネジャーが支援に行き詰っているケースにおいては、事業所内で事例検討会を繰り返し開催し、孤立を防ぐように、後継者育成を行った。ケアマネ業務の魅力の発信には至っておらず、次年度の広報活動強化で発信していきたい。

【南丹看護専門学校 実習生受入状況】

	回数	受入人数
ほほえみ園部	2回	2人
ほほえみ八木	7回	7人
ほほえみかぐら	7回	7人
合計	16回	16人

【事故・苦情・ひやりはっと報告】

	事故	苦情	ひやり
園部	2件	0件	0件
八木	20件	0件	8件
かぐら	1件	0件	4件
合計	23件	0件	12件

【研修参加状況】

(1) 外部研修

日時	曜日	研修名	参加人数
4月16日	(火)	H31. 京都府認定調査員初任者研修	2人
4月24日	(水)	成年後見制度利用促進に係る各圏域での勉強会	2人
5月13日	(月)	認知症の人とその家族を支えるためのCM育成事業（3日間）	2人
5月17日	(金)	消費税引き上げに伴う改定内容と医療・介護改定動向	2人
5月20日	(月)	R1. スーパーバイザー養成研修（4日間）	1人
5月28日	(火)	福祉職のためのマナー研修	1人
6月 2日	(日)	研究大会にむけて研究発表を学ぶ（2日間）	2人
6月 5日	(水)	R1. 介護保険サービス事業者等集団指導	1人
6月 6日	(木)	R1. 介護保険サービス事業者等集団指導	1人
6月12日	(水)	R1. 障害福祉サービス事業者等集団指導	1人
6月14日	(金)	H31. キャリアアップ 初任者研修（3日間）	3人
6月24日	(月)	R1. 市町村社協職員新任職員研修（3日間）	3人
7月 5日	(金)	京都福祉人材育成認証制度 法人内講師養成研修	2人
7月19日	(金)	法人内研修講師養成研修	2人
7月22日	(月)	管理職研修 現場出身管理職のための財務管理	1人
7月25日	(木)	財務管理研修	2人
8月 6日	(火)	R1. 南丹市居宅介護支援事業所 集団指導	4人
8月23日	(金)	H31. 介護支援専門員実務更新研修 課程Ⅱ	1人
9月 7日	(土)	南丹市人権講演会	2人
9月26日	(木)	「京都式」ケアプラン点検研修	3人
9月26日	(木)	高齢者虐待予防研修（於：長生園）	1人
10月 4日	(金)	京都府介護支援専門員更新研修課程Ⅱ（5日間）	1人
10月23日	(水)	キャラバンメイト養成講座	2人
10月26日	(土)	第8回京都府介護支援専門員研究大会	1人
10月28日	(月)	R1. 京都府介護支援専門員会中部ブロック研修	8人
11月 8日	(金)	令和元年度 主任介護支援専門員更新研修（8日間）	1人
11月11日	(月)	京都式ケアプラン点検（他者点検）	1人
11月 7日	(木)	職場でのコミュニケーションづくり	1人
11月14日	(木)	若年性認知症支援者向け研修会	1人
11月18日	(月)	福祉職場におけるケース記録の書き方セミナー	1人
11月22日	(金)	管理者研修 労務管理の基礎知識	1人
12月 9日	(月)	高次機能障害について知ろう	1人
12月 9日	(月)	京都府介護支援専門員実習受入協力事業所指導者講習会	2人
12月16日	(月)	R1. キャラバンメイト養成研修	2人
1月10日	(木)	令和元年度京都府認定調査員現任研修	1人
2月 4日	(月)	R1. 南丹市居宅介護支援事業所等研修会	7人
2月15日	(金)	第10回なんたん在宅医療連携研究会	1人
2月21日	(木)	看護研究発表会	1人

(2) 法人内研修

日時	曜日	研修名	参加人数
4月13日	(土)	ふれあい委員研修会	4人
4月18日	(木)	包括主催 事例検討会	12人
4月18日	(木)	地域ケア個別会議	8人
5月10日	(金)	RUN伴京都2019 南丹市実行委員会	5人
5月28日	(火)	令和元年度南丹地域在宅医療地域推進会議	4人
6月12日	(水)	園部地域ケアマネジャーと社協との懇談会議	6人
6月13日	(木)	R1. 居宅介護部研修 (リスクマネジメント)	12人
6月20日	(木)	包括主催 事例検討会	8人
6月21日	(金)	地域ケア個別会議	2人
7月 9日	(火)	R2. 第1回八木事務所 (デイサービス) 避難訓練	5人
7月17日	(水)	八木町内他法人居宅との共同事例検討会	2人
7月18日	(木)	包括主催 事例検討会	5人
8月 7日	(水)	認知症サポーター養成講座	7人
8月21日	(水)	RUN伴京都2019 南丹市実行委員会	4人
8月22日	(木)	包括主催 事例検討会	8人
8月23日	(金)	南丹市ケアマネ連絡会	4人
9月 3日	(火)	南丹市地域ケア推進会議	4人
9月10日	(火)	RUN伴京都2019 南丹市実行委員会	1人
9月12日	(木)	2課 消防署との救急座談会	1人
9月29日	(日)	地域ケア個別会議	1人
10月 3日	(木)	成年後見制度の活用について	1人
10月 4日	(金)	RUN伴京都2019 南丹市実行委員会	1人
10月17日	(木)	包括主催 事例検討会	1人
10月18日	(金)	RUN伴京都2019inなんたん	1人
10月21日	(月)	R2. 第2回八木事務所 (デイサービス) 避難訓練	1人
11月 8日	(金)	園部中2年生勤労体験	2人
11月18日	(月)	地域ケア個別会議	1人
11月21日	(木)	南丹市ケアマネ連絡会	5人
11月21日	(木)	南丹市ケアマネ連絡会	1人
12月12日	(木)	園部町民生児童委員協議会定例会 (社協紹介)	1人
12月19日	(木)	包括主催 事例検討会	1人
1月20日	(月)	八木町内他法人居宅との共同事例検討会	1人
2月18日	(火)	権利擁護利用者ケース会議	1人

月例会議

- ・園部エリア会議
- ・八木エリア会議
- ・日吉エリア会議
- ・美山エリア会議

その他取り組み

- ・地域別懇談会
- ・ひよしまちカフェ

2. 訪問介護事業・居宅介護事業所

〈事業所〉 ほほえみ八木 訪問介護（居宅介護）事業所 [介護保険] [自立支援]
ほほえみかぐら 訪問介護（居宅介護）事業所 [介護保険] [自立支援]

【今年度スローガン】まごころ・笑顔・チームワークでつなぐ暮らしの支援

【今年度達成目標】サービス提供数の増加（対前年度実績2%増）

【目標達成状況】※介護保険・自立支援の合計サービス提供数

事業所	前年度提供件数	今年度目標件数	今年度提供件数	目標達成率
ほほえみ八木	12,314件	12,338件	11,369件	92.15%
ほほえみかぐら	19,974件	20,013件	18,605件	92.96%

① 利用者本位のサービス提供

八木ヘルパー会議ではコミュニケーション研修を継続的に行い資質向上に力を入れることができた。各事業所で医療機関主催の研修への参加や相談支援相談専門員を迎え障がい特性について学び合った。制度に準じたサービス提供責任者の任務を行い、居宅介護支援事業所や医療専門職に的確に情報を提供できた。今年度も利用者アンケートを実施し、第三者評価受診結果を職員間で共有し事業所の特色を活かして改善すべき点を確認し、次年度に繋げていく。

② 地域福祉事業との協働による地域貢献

各事業所では福祉教育の一環として地域福祉部との協働事業に努めた。八木東小学校への福祉体験への参加をし、事前準備、事前学習や振り返りなども行った。地域別懇談会への参加を通して地域での生活課題を知る機会となった。市の委託事業くらし安心サポート事業では日吉地域のみ継続利用者数実績あり。生活援助員受講者としての活動は実質的になく、介護福祉士等訪問介護員の兼務として担った。八木事務所では防災訓練を実施し、参加した。各ヘルパーの住居地域でも積極的に参加し防災意識を高めることが出来た。今年度も南丹看護専門学校の学生や介護職員初任者研修の実習受け入れができ、年度内に登録型訪問介護員として1名雇用に繋げることができた。

③ 迅速・的確な対応と安定した事業経営

毎月の事業所会議やヘルパー会議では利用者数とサービス実績収入の把握を行い事業経営意識の改革に力を入れた。しかしながら、介護保険事業では長期間サービス利用であった方が長期入所にやむなくされたり入院から在宅復帰が厳しくなることも多かった。美山地域では高齢化率がピークを迎え支援を必要とする利用者数は減少していることで介護保険事業は低迷した。7月にヘルパーの座談会を開催し、ヘルパーの魅力を語り合い、映像や音声で残したり、南丹市社協だよりではヘルパーの仕事の紹介をアピールできた。安定した事業を運営経営していくには安定した人材確保が必要であり、過疎地域の美山地域では高齢化を理由に退職され、後継者の育成が危ぶまれた。ヘルパーチーム会議でご利用者向けの暑中見舞いはがきや年賀状などヘルパーの交流事業とし作成し発送できた。孤立しがちなヘルパーどうしが語り合える場を今後も定期的に関わっていき、永く働き甲斐のある職場を運営していきたい。

【会議】

(1) 訪問介護事業所連絡調整会議 [月例]

日時	曜日	研修名	参加人数
4月11日	(木)	・平成31年度事業計画の周知・ヘルパーとは(ワークショップ)	6人
5月14日	(火)	・ヘルパーアンケートについて・システムの改善意見収集 ・個人情報、プライバシー	7人
6月11日	(火)	・脱水・熱中症予防・訪問介護員の有休取得について ・総合事業の日割り請求の確認	8人
7月12日	(金)	・防災・緊急時・事故発生時の対応・システム改善(計画書) ・第三者評価受診について	7人
8月 8日	(木)	・ヘルパー座談会の報告・嚥下について	7人
9月18日	(水)	・感染症について	8人
10月17日	(木)	・訪問キャンセルの状況報告・重点目標の中間振り返り ・ご利用者向け ヘルパーアンケート送付予定計画	7人
11月15日	(金)	・第三者評価受診報告(1)	8人
12月17日	(火)	・アンケート結果報告・第三者評価受診報告(2) ・来年度事業計画について(案)	7人
1月16日	(木)	・マニュアル見直し検討(事故と苦情を分ける) ・訪問キャンセルについて	5人
2月12日	(水)	・虐待について	5人
3月12日	(木)	・来年度の調整会議計画・ヘルパー年間個別研修計画	6人

(2) ヘルパーミーティング[八木]

日時	研修名	参加人数
4月22日 23日	接遇マナー・ヘルパー職業倫理綱領・重点目標と年間個別計画の目標 設定個別チェックシート	26人
5月27日 28日	個人情報・プライバシー保護・コミュニケーション力アップ①	24人
6月24日 25日	脱水と熱中症について・コミュニケーション力アップ② 2課内合同 介護技術「ベッド上の移動・移乗」	32人
7月29日 30日	防災と緊急時、事故発生時の対応について コミュニケーション力アップ③	23人
8月26日 27日	虐待防止対策研修会、「摂食・嚥下」伝達研修 口腔ケアについて・コミュニケーション力アップ④	20人
9月24日 25日	感染症ノロウイルスの処理実践・コミュニケーション力アップ⑤	19人
10月23日 24日	障害福祉サービスの理解・コミュニケーション力アップ⑥	18人
11月18日 20日	虐待について・コミュニケーション力アップ⑦	25人
12月23日 24日	認知症について 認知症、難病 伝達研修	19人
1月21日 21日	事故・ひやりはっと事例検討会・虐待の芽チェックシート コミュニケーション力アップ⑧	21人
2月 5日 7日	調理実習	23人
2月27日	コロナウイルスについて(資料にて)	14人
3月23日 25日	グリーフケア 虐待の芽チェックシート・1年の振り返り	20人

(3) ヘルパーミーティング[日吉]

日時	研修名	参加人数
4月12日	事業計画・本年度達成目標・接遇マナー・個別計画書について	25人
5月17日	個人情報・プライバシー保護	24人
6月14日	感染症について	25人
7月19日	救命救急について	25人
8月23日	精神障害者の方への対応の仕方について	23人
9月13日	消防署から救急座談会	22人
10月18日	感染症について(〇×クイズ他)	16人

11月15日 19日	入浴介助（ビデオと資料会から技術・手順の確認）	18人
12月13日 17日	認知症介護・フレイル予防について	17人
1月21日 24日	調理実習	15人
2月21日	虐待防止研修・アンケート調査結果の周知	9人
3月13日 17日	事故・苦情・ひやりはっと事例検討会	15人

(4) ヘルパーミーティング[美山]

日時	研修名	参加人数
4月18日	年間個別計画書 ヘルパーの基本的な心得	12人
5月20日 20日	プライバシー保護について	9人
6月27日	熱中症、脱水予防と対策	9人
7月 9日 13, 17	緊急時の対応 消防署（美山出張所）	9人
8月20日	嚥下について。伝達研修『移乗動作』	7人
9月26日	感染症について	9人
10月31日	障害支援について	13人
11月20日	介護技術について	6人
12月24日	認知症について	10人
1月29日	調理実習	11人
2月19日	虐待について	9人
3月24日	振り返り、事故苦情事例検討会、有給取得の説明	11人

【研修】

日時 曜日	研修名	参加人数
5月24日（金）	ステップアップ研修第1回「寝返り等」	7人
5月26日（日）	料理教室 嚥下サポート食を作ろう	1人
6月13日（木）	ステップアップ研修第2回「移乗・歩行」	5人
6月18日（火）	京ホ連総会と研修会『生活援助』について	1人
7月 9日（火）	ステップアップ研修第3回「摂食・嚥下」	3人
7月12日（金）	キャリアアップ研修（チームリーダー）	1人
7月30日（火）	介助方法の学習	1人
8月 2日（金）	キャリアアップ研修（中堅職員）	1人
8月22日（木）	虐待防止対策研修会	3人
9月 6日（金）	同行援護従事者研修	1人
9月12日（木）	救急座談会	1人
9月26日（木）	法律面からみた虐待防止について研修	2人
9月26日（木）	キャリアアップ研修（管理者）	1人
10月 7日（月）	認知症の病態理解とその対応方法について	1人
10月19日（土）	府内医師会セミナー 2019 緩和ケア	1人
12月 2日（月）	難病患者等ホームヘルパー養成研修 基礎課程 I	1人
1月14日（火）	安全衛生推進者養成講習会	1人
2月20日（木）	京ホ連 グリーフケア研修	2人

【地域連携事業】

日時	曜日	事業所	内容
7月14日	(日)	ほほえみかぐら	日吉地域別懇談会
8月 8日	(木)	ほほえみかぐら	日吉地域別懇談会
10月31日	(木)	ほほえみかぐら	福祉教育 胡麻郷小学校
11月 7日	(木)	ほほえみ八木	福祉教育 八木東小学校
11月16日	(土)	ほほえみ八木	八木地域別懇談会
1月25日	(土)	ほほえみ八木	八木地域別懇談会
2月 6日	(木)	ほほえみかぐら	福祉教育 美山小学校

【事故・苦情・ひやりはっと報告】

	事故	苦情	ひやり
ほほえみ八木	15件	1件	15件
ほほえみかぐら	27件	0件	6件
合計	42件	1件	21件

【実習受入状況】

(1) 南丹看護学校

	回数	受入人数
ほほえみ八木	4回	4人
ほほえみかぐら	6回	6人
合計	10回	10人

(2) 介護職員初任者研修

	回数	受入人数
ほほえみ八木	4回	6人
ほほえみかぐら	4回	4人
合計	8回	10人

【その他の事業】

(1) 制度外サービス(社協独自) 実績

	種別	件数	時間数
ほほえみ八木	通院介助	51件	9,150分
ほほえみかぐら	通院介助	64件	8,075分
ほほえみかぐら美山	通院介助	0件	0分
合計		115件	17,225分

(2) 南丹市くらし安心サポート事業 実績

	件数
ほほえみ八木	0件
ほほえみかぐら	81件
ほほえみかぐら美山	0件
合計	81件

3. 通所介護事業

〈事業所〉 ほほえみ八木 通所介護事業所 [介護保険・自立支援]

【今年度スローガン】

住みよい地域で「暮らし続ける意欲と希望」が生まれるよう、心輝く時間を提供する

【今年度達成目標】稼働率(1日あたり利用定員充足率)平均90%以上

【目標達成状況】※1営業日あたり目標利用者数 = 30人 × 90% = 27.0人

事業所	利用定員	平均利用者数	利用定員充足率	目標達成率
ほほえみ八木 通所介護事業所	30人	24人	79.33%	88.15%

① サービスの質の向上

介護技術やマニュアルの見直し等を、毎月の事業所会議にて計画的に実施し職員のスキルアップに努めた。今年度は第三者評価を受診し、サービス内容を振り返り気付きとなる部分も見つけられた。満足度調査の意見も参考に今後とも質の向上に繋げる。

② 個別ケアや機能訓練の充実

利用者の意見を尊重し、利用者本位のサービスを提供した。個別機能訓練も自主的に参加できるよう訓練プログラムも多様化し、また、シフトを見直すことで機能訓練に係る時間が確保でき利用者の意識改革にも繋がった。食事形態の見直しや口腔ケア等の自立に向けた支援で個別力が高められるよう努め、個別を重視することで感染症予防にも繋げた。

③ 住民主体の地域福祉活動と協働したケアの強化

地域別懇談会への参加やサロンへの参加・幼稚園児との交流・民生委員とのレクリエーション交流等で地域との関り、通所を知って頂いた。避難訓練や自然災害対応訓練を年2回実施し、利用者と共に防災・減災意識を高めた。しかし、地域住民の方々との調整がつかず、地域の方と合同で実施することはできなかった。

④ 介護者の負担軽減と支援強化

介護用品の提案やアドバイス等を行い、介護者の介護負担軽減に努めた。また家族交流会の実施や家族がリフレッシュ事業参加時には通所利用へ繋げるなど、介護者の休暇・休息支援を行った。実績として緊急・延長・早朝利用は無かったが、柔軟な対応は可能としている。

⑤ 事業の安定経営

毎月の事業所会議で事業実績を共有・分析を行い、毎月空き状況を居宅介護支援事業所に配布し利用者獲得に努めた。年度当初から送迎コースの見直しを検討し送迎時間の短縮も試みたが利用者個々の要望に応えられない状況もありコース変更を断念してきた。予定していた利用者も短期入所の利用が増えることで利用者数の確保が安定しなかったことで年間を通じて大変厳しい経営状況であった。介護職員の人員配置を整えることで積極的に利用者を受け入れる事ができるため、人員配置を整え多くの利用者の在宅生活を支えていく事が必要で介護職員が疲弊せずに生き生きと働ける事業所づくりを目指したい。非常勤職員個々の労働時間が違う為、職員の生活環境に沿った働きやすい環境を整える事で就業意欲を高めた。

【事故・苦情・ひやりはっと報告】

	事故	苦情	ひやり	合計
令和元年度	61件	0件	25件	86件

【研修】

(1) 外部研修

日時	曜日	研修名	参加人数
5月24日	(金)	ステップアップ研修介護力向上①	1人
6月13日	(木)	リスクマネジメント研修	4人
7月 9日	(火)	ステップアップ研修介護力向上②	1人
7月16日	(火)	アンガーマネジメント研修	1人
7月31日	(水)	感染症対策研修会「地域の感染症情報」	2人
8月 2日	(金)	令和元年度キャリアアップ研修 中堅コース	1人
9月12日	(木)	救急座談会	1人
10月 7日	(月)	医療、介護、福祉分野従事者向け研修会	1人
10月10日	(木)	感染症対策基礎研修会	1人
12月16日	(水)	キャラバン・メイト養成研修	1人
1月17日	(金)	社会福祉専門セミナーⅡ	1人
2月 7日	(金)	HIV等血液感染予防研修	1人

(2) 内部研修

日時	曜日	研修名	参加人数
4月19日	(金)	理念・接遇研修	15人
5月21日	(火)	ステップアップ研修介護力を磨こう伝達研修	12人
5月23日	(木)	危険予測訓練	13人
6月25日	(火)	認知症について部内研修	14人
7月23日	(火)	介護技術伝達研修	12人
8月26日	(月)	虐待について部内研修 アンガーマネジメント伝達研修	14人
9月25日	(水)	介護技術伝達研修	13人
10月24日	(木)	感染症について	14人
11月28日	(木)	機能訓練体操、手引き歩行、立ち上がり介助法	14人
12月23日	(水)	人権・プライバシーについて	9人
1月28日	(火)	マニュアル見直し（清掃について）	13人
3月 8日	(日)	特殊浴槽導入後の実技研修	9人
3月17日	火	緊急時訓練（誤嚥時の対応）資料配布のみ	18人

【地域交流事業】

日時	曜日	研修名	場所
4月15日	(月)	青戸サロン	青戸公民館
5月14日	(火)	お茶会	デイセンター
6月17日	(月)	青戸サロン	青戸公民館
6月19日	(水)	ほほえみ八木スタンプラリー	デイセンター
7月26日	(金)	尺八演奏会・家族交流会	デイセンター
9月 5日	(木)	夏祭り	デイセンター
9月11日	(水)	敬老祝賀会	デイセンター
9月23日	(月)	フラダンス	デイセンター
10月 9日	(水)	運動会	デイセンター
10月21日	(月)	青戸サロン	青戸公民館
11月20日	(水)	文化祭	デイセンター
12月23日	(月)	クリスマス会	デイセンター
1月21日	(火)	お鍋イベント	デイセンター

4. 地域密着型認知症対応型通所介護事業

〈事業所〉 やぎ詩の郷

[介護保険]

【今年度スローガン】住み慣れたあたたかな地域で暮らすために

【今年度達成目標】稼働率(1日あたり利用定員充足率)平均80%以上

【目標達成状況】※1営業日あたり目標利用者数 = 12人 × 80% = 9.6人

事業所	利用定員	平均利用者数	利用定員充足率	目標達成率
やぎ詩の郷	12人	7.89人	65.75%	82.19%

① 個別援助の充実とサービスの質の向上

認知症介護において、認知症の方が意欲をもって日常生活を送る事に着目し、一人ひとりが「主人公」という思いを職員が心に持ちながら、エンパワメントに着目した支援が行えた。定期的な支援会議の記録と合わせ、利用者の日々の変化も記録に残し継続的に経過観察を行い、今後の支援方法の検討に繋げた。今年度は第三者評価を受診したことで、事業所の現状を知る機会となり、受診結果を職員間で共有する事でサービスの質の向上に向けての意識統一も行えた。

② 地域福祉の推進を図る事業所運営

例年同様に開かれた事業所を目指し地域住民やボランティアとの積極的な交流に取り組んだ。運営推進会議や地域交流会、サロンへの参加により、詩の郷の事業や施設の活用方法等を公報し、地域の詩の郷という位置づけも行えた。地域住民と消防署、詩の郷で消防訓練や緊急時講習を実施し、非常事態時の連携方法や、共同、共助についても検討・確認し、強いつながりが築けた。経営面では年間通じて大変厳しい状況であった。新規相談者の受け入れもあるが希望曜日の重なりが多く少ない曜日では5名程度になる日があった。重度の要介護状態になり永く毎日利用されていた方の長期入所や機械浴のあるデイサービスへの移行が重なった。

③ 家族（介護者）支援の強化

日々の介護者の些細な言葉や表情、様子の変化に注意しながら、利用者同様に介護者の見守りを行い、介護者の変化については関係機関に報告し、情報共有に努め、サポートについても検討した。介護者にとって必要な助言を必要時に行い、ねぎらいの気持ちを持ちながら、介護者が社会、家族から孤立する事の無いように努めた。ピアカウンセリングにも繋がる認知症介護者同士の交流の場として家族会を開催する予定をしていたが、コロナウィルスの影響もあり開催をする事は出来なかった。

【実習生受け入れ状況】

	受入人数
社会福祉士	2人
介護職員初任者研修	1人
合計	3人

【事故・苦情・ひやりはっと報告】

	事故	苦情	ひやり	合計
令和元年度	8件	1件	2件	11件

【研修】

(1) 外部研修

日時	曜日	研修名	参加人数
6月13日	(木)	ステップアップ研修 「移乗・歩行」	1人
6月27日	(木)	第8回リンクワーカーフォローアップ研修	1人
10月30日	(水)	福祉リーダーの極意を学ぶ	1人
10月31日	(木)	第9回リンクワーカーフォローアップ研修	1人
11月22日	(金)	なんたん通所部会	1人
12月 7日	(土)	人権学習「パパはお天気キャスター」	2人
12月16日	(月)	キャラバンメイト養成研修	1人
1月14日	(火)	安全衛生推進者養成講習会	1人
1月15日	(水)	安全衛生推進者養成講習会	1人
2月21日	(金)	第10回リンクワーカー	1人

(2) 内部研修

日時	曜日	研修名	参加人数
4月21日	(日)	職員全体研修	1人
6月13日	(木)	居宅介護部研修 リスクマネジメント	1人
6月25日	(火)	2 課 介護技術伝達研修 移乗	4人
11月14日	(木)	健康講座	1人
12月23日	(月)	ヘルパー会議（認知症）	1人
12月24日	(火)	ヘルパー会議（認知症）	1人

【地域交流事業】

日時	曜日	研修名	参加人数
5月11日	(土)	お茶摘み	3人
6月19日	(水)	オカリナ アンサンブル	7人
6月20日	(木)	地域合同消防訓練	13人
6月22日	(土)	ぽぽたん	2人
8月27日	(火)	運営推進者会議	9人
9月24日	(火)	地域交流会	13人
10月 5日	(土)	お芋ほり（グループ名：スカイ）	4人
1月21日	(火)	元気アップ体操（刑部サロン）	1人
2月12日	(水)	JA日吉女性大学認知症サポーター養成講座	1人
2月17日	(月)	青戸サロン	1人
3月25日	(水)	運営推進者会議	9人

※随時ボランティアの受入れ ボランティアグループ「さくらんぼ」

※涼やかスポット事業実施 7月1日 ～ 9月30日

5. 小規模多機能型居宅介護事業

〈事業所〉 小規模多機能ホーム だんない

[介護保険]

【今年度スローガン】

だれもが住み慣れたなじみの場所で暮らし続けられる地域づくりをめざして

【今年度達成目標】 利用登録充足率平均80%以上

【目標達成状況】 ※目標利用登録者数 = 25人 × 80% = 20人

事業所	利用定員	平均利用者数	利用定員充足率	目標達成率
小規模多機能ホーム だんない	25人	19.41人	77.64%	97.05%

①サービスの適切な提供と柔軟な対応

災害時の緊急避難者受け入れや家族の疲れや急用には通所・宿泊の受け入れ対応を行った。独居利用者の体調不良時に宿泊追加、病院受診付き添い、自宅訪問（服薬確認・安否確認）を追加した。独居で精神的不安定な利用者の宿泊追加と見守りの強化を行った。

②職員の資質向上

職員ひとり一人が業務目標を決め、月々の会議で担当者についての情報共有を行いケアの方向性を確認し事業所の目指す支援目標を共有できた。確実に職員資質が向上出来てきている。記録についてもすべての職員が努力し取り組むことが出来た。利用者が今までしてきたこと、例えば、編み物、縫物、調理、畑仕事等を支援しながら行えた。認知症独居の方の服薬と安否確認を行い安心して暮らせるよう支援した。利用者の気持ちに寄り添い個別に関わることが出来た。入浴やトイレの介助には同性介助を徹底した。

③広報活動の活発化と安定した事業経営

昨年度末から特養への入所、死去で利用者数減症が続き年度当初は17名の登録者数であった。病院や居宅支援事業所に新規受け入れ可能情報を度々伝えるが申込はなく苦しい年度初めであった。夏ごろまで低迷状態が続いたが、8月にやっと新規相談から契約者が相次ぎ22名の登録者となった。その後また入院や入所等があり登録者数が一旦減少したが、年度末には22名の登録者にもどり安定して年度末を迎えることが出来た。しかし年間実績として非常に厳しい結果となった。今年度の登録者は認知症で独居の方が多く訪問回数（食事の準備、服薬確認、安否確認等）が増えた結果、月200件前後の訪問回数となった。今後安定して訪問を提供できれば「訪問加算」を取得できる状況にまで成果が見えてきつつある。広報活動は今年度も地域にだんない通信を発信し新規相談は利用者家族からの口コミや地域住民から紹介が多い。

【事故・苦情・ひやりはっと報告】

	事故	苦情	ひやり	合計
令和元年度	11人	0人	16人	27人

【実習生受け入れ状況】

	受入人数
南丹看護学校	5人
八木中学校勤労体験	3人
社会福祉士	2人
介護職員初任者研修	2人
合計	12人



【研修】

日時	曜日	研修名	参加人数
4月 6日	(土)	小規模部会『外出支援』について	1人
4月21日	(日)	社協職員全体研修	1人
5月21日	(火)	認知症実践者研修	1人
5月23日	(木)	小規模部会「管理者」	1人
6月10日	(月)	ケアマネ更新研修課程Ⅰ	1人
6月11日	(火)	交換研修	2人
6月24日	(月)	交換研修ふれあいホームより	1人
7月 5日	(金)	キャリアアップ研修（中堅職員）	1人
7月12日	(金)	キャリアアップ研修（チームリーダー）	1人
7月30日	(火)	キャリアアップ研修（中堅職員）	1人
8月 6日	(火)	キャリアアップ研修（チームリーダー）	1人
8月 8日	(木)	小規模部会「BPSD」	1人
9月10日	(火)	小規模部会「看護業務について」	1人
9月13日	(金)	キャリアアップ研修（中堅職員）	1人
9月18日	(水)	キャリアアップ研修（チームリーダー）	1人
10月15日	(火)	小規模部会「レクリエーション」	2人
10月19日	(土)	地域包括ケアシステムで考える {がんになったら}	1人
10月23日	(水)	キャラバンメイト養成研修	1人
11月12日	(火)	小規模部会「訪問」	1人
11月22日	(金)	管理職研修④「労務管理」	1人
1月22日	(水)	認知症対応型サービス事業者管理者研修	1人
2月18日	(火)	小規模部会「ケアマネ業務」	1人

【会議】

(1) 常勤職員会議

日時	曜日	研修名	参加人数
4月16日	(火)	・昨年度の事業計画振り返り・日常業務管理シートについて	7人
5月17日	(金)	・避難訓練について・広報活動について	4人
6月17日	(月)	・避難訓練について・涼やかスポット	3人
7月10日	(水)	・涼やかスポットについて	6人
8月 5日	(月)	・熱中症予防について・涼やかスポットについて	4人
9月12日	(木)	・サービス評価について・業務管理, チャレンジシートについて	5人
10月 8日	(火)	・サービス評価について・人事管理新制度について	5人
11月20日	(水)	・サービス評価「外部評価」について・年末年始の体制について	4人
12月13日	(金)	・サービス評価・予算について	5人
1月14日	(火)	・次年度事業計画について	5人
2月 6日	(木)	・今年度事業計画のまとめ	5人
3月 5日	(木)	・次年度の準備について	4人

(2) 職員全体会議

日時	曜日	研修名	参加人数
4月25日	(木)	・個別研修計画について・ミニ研修「自己表現」	12人
5月30日	(木)	・避難訓練について・ミニ研修「四大認知症について」など	13人
6月13日	(木)	・居宅介護部研修「リスクマネジメント」	12人
6月27日	(木)	・避難訓練の反省・涼やかスポットについて	13人
7月29日	(月)	・涼やかスポットについて	14人
8月30日	(金)	・サービス評価について（自己評価）	13人
9月30日	(月)	・サービス評価について（チーム評価のまとめ）	14人
10月31日	(木)	・サービス評価について（チーム評価のまとめ確認）	13人
11月28日	(木)	・サービス評価（グループで評価まとめ）	12人
12月27日	(金)	・サービス評価（まとめ確認）・予算について	13人
1月30日	(木)	・サービス評価（まとめ報告）・事業計画について	11人
2月27日	(木)	・月例検討報告事項	15人
3月30日	(月)	・総務より年次有給休暇取得の考え方について他	15人

(3) だんない運営推進会議

日時	曜日	研修名	参加人数
5月16日	(木)	・委嘱状交付・年間事業計画など	16人
7月11日	(木)	・涼やかスポット・サービス評価について	15人
9月13日	(金)	・サービス評価について	15人
11月14日	(木)	・サービス評価・外部評価	15人
1月16日	(木)	・サービス評価まとめ	16人
3月30日	(月)	・新型コロナウイルス感染症のため書面配布により意見を求める	16人

【地域交流事業】

日時	曜日	研修名	参加人数
5月16日	(木)	絵手紙教室（民生児童委員主催）	12人
5月24日	(金)	絵手紙教室	15人
5月27日	(月)	内林地区ふれあいサロン	2人
6月21日	(金)	避難訓練	15人
7月 6日	(土)	ぽぽたん音楽会	13人
7月22日	(月)	内林地区ふれあいサロン	1人
8月 2日	(金)	涼やかスポット陶芸教室「貯金箱」	14人
8月 8日	(木)	涼やかスポット陶芸教室「貯金箱」	12人
9月 8日	(日)	内林地区運動会	5人
9月 9日	(月)	敬老祝賀会（日本舞踊）	18人
9月16日	(月)	つくし園交流会「芋ほり」	24人
10月18日	(日)	RUN伴	11人
10月26日	(月)	内林地区ふれあいサロン	1人
12月23日	(月)	クリスマス会（ハーモニカ演奏音楽会）	15人
2月 4日	(火)	つくし園交流会（節分祭）	7人
2月 6日	(木)	腹話術	14人
2月15日	(土)	避難訓練	16人

自立支援の部

1. 地域活動支援センター

社会参加を応援する地域活動支援センターは、利用される方の個別性を重視し、その方にあった支援や生きがいを感じてもらえるプログラムの開発や気軽に来所できるよう工夫に努めた。今年度は三つの事業所合同企画のリラクゼーション体験を行い利用者にも好評だった。来所が難しい方については継続的に訪問による関わりをしてきた。年度当初より、広報、啓発活動に力を入れ、多くの方に地域活動支援センターの存在を知ってもらえるように働きかけた。関係機関との連携、相談等の支援も行い新たな役割を感じることができた。生活困窮者の就労準備支援については、対象となる方への対応に至ることはなかった。今後も事業の見直しや改善をすることで、必要とする方への社会参加の場になるように地域活動支援センターを周知していただき社会活動の支援を行っていきたい。

① そよかぜ八木

※利用登録者数 …… 27 人(前年度：26 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 5.0 人(前年度：5.0 人)

前年度後半からの通所者減少による対策として、今年度は広報啓発に力を入れ、事業所の近隣住民へ通信を回覧し活動内容を周知したこと、関係機関にも働きかけたことで、新規利用につながるまでには至らないが、対象となる方へ関わるケースが増えたことで今後につながる方向性が見えたところである。また、利用者が安心して過ごせる場所の提供として、きめ細かい配慮と個別性を重視して過ごしていただくように努力した。秋には、町内で行われる「まちかどアートプロジェクト」のイベントに参加し、利用者の創作品を多くの方に見ていただける機会が持てたことも社会参加の実現の一つとなった。

② そよかぜ日吉

※利用登録者数 …… 24 人(前年度：24 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 4.5 人(前年度：5.5 人)

そよかぜ日吉については、障がい者だけではなく地域の居場所「おいで家」として住民にも集っていた場所になっているが、徐々に利用者数が減少してきている。しかし、障がいのある方や自宅に引きこもりがちな方への訪問活動等を継続し、プログラムの参加を通して来所されるようになったケースもあった。また、関係機関から紹介をいただくケースもあり連携をしてきた。地域交流を根ざしたイベントの参加による広報啓発や他事業所で初めて文化祭に参加をすることもあり利用者の活動の機会を設けた。

③ そよかぜ美山

※利用登録者数 …… 30 人(前年度：27 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 10.9 人(前年度：11.0 人)

社会参加の支援として新規利用者が来所できるように、関係機関への働きかけとして、地域への広報啓発を推し進めた。美山町民協障害部会の委員さんへ通信の送付による連携、年間を通して利用者との交流を4回することができた。また、各地域の振興会への広報活動を行った。美山町は広範囲の為、移動手段の課題があり、来所ができない方もあり、送迎ボランティアの利用により、イベントやプログラムの参加ができている方もあった。

創作活動では、絵画教室で講師の指導により利用者それぞれが絵画の創作を楽しむことができた。

④ 活動の状況等

(1) 活動状況

プログラム	開催頻度		内 容
そよかぜ土曜日	定 期	月 1 回	昼食作り・レクレーション等
オープンカフェ	定期／不定期	月 1 回／年数回	お菓子や飲み物を食べながら交流
フリーサロン	不定期	月 12～15 回	談話等
なんでも相談	定 期	月 1 回	障害者相談員が相談に応じる
カラオケ	定 期	月 1 回	カラオケを楽しむ
DVD 鑑賞	定 期	月 1 回	映画や娯楽の鑑賞
お出かけ	定期／不定期	月 1 回／年数回	リフレッシュを図る。
脳トレ	定 期	月 1 回	計算・塗り絵
調理実習	定期／不定期	月 1 回／年数回	自立生活力を高める

※全体の総括のため、事業所により内容、回数等違いがあり。

(2) 会議の状況

- 地域活動支援センター職員会議 月 1 回
- 南丹市地域活動支援センター会議 月 1 回

(3) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月16日(火)	社会福祉専門セミナー アンガーマネージメント研修	1人
11月27日(水)	花ノ木医療福祉センター地域向け情報発信事業 2019 「障害者・高齢者にも食べやすい嚥下困難な方への食事の提供」	2人

2. 相談支援事業

① つくし園（障害児相談支援事業）

今年度も学童期の児童の相談支援のニーズが高く、個別ケースへの対応や家庭支援に努め、行政を始め関係機関との連携を密にした。就学前の児童については、児童発達支援事業（つくし園）との連携で療育の相談や個別支援に努めることができた。学童期の児童については、サービス事業所と保護者との橋渡し役をしながら児童の特性にあった事業所への利用等、中立的な立場での相談支援を行ってきた。

利用状況

	就学前利用児	学童利用児	サービスの種類
利用者数計	8 人	42 人	・児童発達支援（就学前） ・放課後等デイサービス（就学後） ・保育所等訪問支援（就学前・後）
男 子	7 人	34 人	
女 子	1 人	8 人	

② てのひら（特定相談支援事業）

今年度は、当事業所の体制面で新規の受入が厳しい現状ではあったが、相談支援専門員が個別支援について、継続的に関係者とチームを組んで連携をしてきた。必要に応じてケース会議を開催し、特に、基幹相談支援センターの相談員のサポートを始め、関係機関と支援の方向性を協議しながら様々なケースの対応も行うことができた。

今後も必要とする支援やニーズに対応できるように、専門職としてさらにスキルアップしていきたい。

利用状況

	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	難病	合計(※重複除く)
利用者数計	16 人	40 人	14 人	1 人	1 人	65 人
男 性	9 人	20 人	9 人	1 人	0 人	35 人
女 性	7 人	20 人	5 人	0 人	1 人	30 人

※重複障害：7 人 / 65 歳以上：6 名 / 京都市：8 人

※市の委託事業として障害児・者一般相談を実施し、サービス利用前の相談や生活面、社会参加への対応等を行っている。

③ 共通項目

両事業については、毎月情報共有の会議を行い、支援の状況やケースの協議を行ってきた。相談員が1人で抱え込むことがなく、共有することで客観的にケースの検討をすることができた。相談員だけではなく関係機関とも連携し、より良い支援に努めた。

今後も相談員同士が切磋琢磨し、研修等で学びお互いに成長できるよう努めていきたい。

④ 会議・研修等

(1) 会議の状況

職員会議 月 1 回

南丹市相談支援事業所連携会議 2 ヶ月 1 回参加

(2) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
4月16日(火)	南丹圏域相談支援事業所研修 知っているようで知らない鑑別所や少年院のこと ～入口支援から出口支援まで～	1人
12月 6日(金) 12月18日(水)	南丹圏域障害児者総合ネットワーク(ほっとネット)精神保健福祉部会 令和元年度「精神保健福祉研修」 「精神保健福祉法の意義と限界について ～知識なき熱意で失敗しないために～」 「精神科病院との連携について ～ソーシャルワーカーの立場から～」	2人
11月26日(火)	令和元年度 相談支援従事者研修 ～地域で連携し支援するために～	1人
2月 5日(水)	令和元年度 相談支援従事者研修会 「発達障害の相談支援 ～ひきこもり等に対する家族支援～」	2人

3. 児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業 < つくし園 >

【今年度スローガン】 小集団の中で、一人ひとりにあった療育を行うとともに、その子の笑顔を引きし、
“やる気（意欲）”と“自信”をつけ、自分らしく生活する力を育てる

① 児童発達支援（療育）

利用希望者が年々増加している状況であったが、行政との連携を密に、受け入れに向けて希望者と受入側とが互いに現状を把握しながら進めていくことで混乱なく対応ができた。今後も、利用希望者に迅速に対応できるよう、関係機関との連携を重ねて受け入れ態勢を充実していく。

年度末には、新型コロナウイルスの流行により感染拡大防止に努め、登園、降園時の検温・手洗い・うがいや施設内の消毒等を徹底して行い、子ども達やご家族に安心していただけるように配慮をした。

療育支援輸送サービスの利用においては、対応できるご家庭については、家庭内で協力的に送迎されるケースが増加傾向にあった。その背景として送迎の際の保護者間の交流が増えたことも要因の一つとして考えられる。

毎年恒例の、年中児、年長児の行事として公共交通機関を利用し、公共施設で過ごす外出活動を取り入れ社会のルールを学ぶ支援を行った。保護者からも好評により今後も療育の一環として取り組んでいきたい。

職員の資質向上においては南丹保健所が中心となっており行われた『はぐくみ事業』において 亀岡市・南丹市・丹波町の療育事業所における見学・意見交流は、今後活かされる内容となった。



② 保護者支援・家族支援

親子療育後の談話や、個別面談、5 者面談など保護者と会話できる様々な機会において、つくし園での様子をきめ細やかに伝えるよう心がけてきた。就学後、学校での生活や放課後の過ごし方等の情報提供がいつもより早い段階に提案できたことは、保護者にも余裕を持って考える機会が作れたと感じている。

また、保護者が主体となって組織する「家族の会」の支援も保護者同士の交流において大切な役割を果たしている。年長児の保護者については、特に就学に向けて気軽に相談や交流ができる場所となっている。

学童期の支援については『支援ファイル』『移行支援シート』の活用が定着しつつあり、子どもの特性の把握やつくし園での支援等の連携の強化に役立てることができた。

学校生活の支援だけでなく学童保育・放課後等デイサービス等、子どもたちが生活する様々な場面で関わっていただく方との連携が行えるようになってきたことは、子どもたちの過ごしやすさや生きやすさにつながっていくと実感している。

③ 保育所等訪問支援事業

保育所等訪問支援事業の内容が理解されてきたこともあり、保育所・幼稚園、小学校など、つくし園からの訪問支援の相談件数が増えてきた。集団の場所での様子を見学するだけでなく、子どもへの関わり方など、ゆっくり話す機会も増えてきた。これまでの療育において支援してきたことが他の場所でも継続できるよう、連携の必要性を感じている。

④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
前年度	66人	63人	210人	10.6人
今年度	61人	58人	178人	8.2人

(2) 送迎利用児状況

年度	療育支援輸送事業(人)					つくし園送迎(人)				
	園部	八木	日吉	美山	合計	園部	八木	日吉	美山	合計
前年度	8	10	6	1	25	4	3	1	1	9
今年度	10	9	3	3	25	4	4	0	2	10

(3) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
4月 5日	はじまりの会	子育て発達支援センター 多目的ルーム（大）
5月20, 28, 29, 30, 31日 6月3, 6, 11, 14日 [8日間]	年中児・年長児外出活動（往復） 船岡駅発（電車）⇄ 園部駅 ⇄ 亀岡駅 ⇄(コミュニティバス) ⇄ ガレリアかめおか	ガレリアかめおか
7月30日	丹波支援学校より療育見学及び連携	子育て発達支援センター つくし園 療育室1
5月13日・6月13日、 9月 5日、10月13日、	家族の会懇談会及び交流会	旧川辺小学校 ランチルーム 子育て発達支援センター
9月9日、2月4日	だんない交流会（芋ほり・豆まき）	だんない 子育て発達支援センター

(4) 会議の状況

開催日	内 容	場 所
年間6回	職員会議	つくし園 職員室
療育利用希望者に応じて連携	療育連携会議（社会福祉課・保健医療課・つくし園）	子育て発達支援センター
5月10日 7月30日 12月6日	丹波支援学校連携	つくし園
5月23日 3月 9日中止	南丹市子育て発達支援センター 運営会議	市役所4号庁舎

(5) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
5月16日	福祉職のためのマナー研修	1人
11月 6日	要保護児童研修	1人
12月 5日	記録の書き方セミナー	1人
年間6回	はぐくみ研修（事例検討会・療育参観等）	4人

【今年度スローガン】一人ひとりの思いに寄り添い、利用者と地域の明るい未来を担える施設へ
～ 利用者第一を基本に、敬愛の心をもって職員一丸となる ～

① 就労継続支援B型事業

本格的に開始したトイレットペーパー事業は、訓練を重ねて生産活動に従事できる利用者が増えてきた。受注が安定的で徐々に増加しているが、更なる販路拡大が課題である。

さをり織りについては、生産量の変わらない記念品受注において仕様の変更から売上額が下がるものもあった。活動量は例年並みであるが、縫製加工の生産力が不足しているのが課題である。

クッキー事業については、例年通りの成果であったが、新たに従事できる利用者を見い出すことができなかった。

一般就労も意識した京都ジョブパークの「はあとふるカレッジ」へは、1名の利用者が受講を継続している。前年度、一般就労された方へは、定期的な面談等アフターフォローも実施している。今後、一般就労への移行と新規利用者の受入を循環的に行えることを目標としたい。

② 生活介護事業

作業活動を通じた社会貢献をしながら、利用者の日常生活の力も維持向上されるように意識して取り組んできた。しかし、利用者の維持向上すべきことを見い出し、支援方法も見直して検討を重ねるには、今後さらに職員のスキルを高めていく必要がある。

また、通所が安定しなかった利用者が、安定して通所できるまでに至ったケースもあり、長期の休みだった利用者の計画的な通所も再開された。その経緯として、本人や家族の努力あつてのことであるが、関係機関と連携して支援を進めることの重要性も再認識している。

③ 両事業共通事項

秋には「あじさい園まつり」を開催し盛況に終えることができた。利用者はそれぞれ役割をもって来場者に感謝を伝え、発表では練習を積み上げた新たなパフォーマンス「パプリカ」を披露することができた。



多くのボランティアや関係機関の方々の支援もあって、来場者にも充実した一日を過ごしていただけた。ただ、準備不足から周知も遅れ、前年よりも来場者数が減ったところは反省すべき点である。

大きな取組みとしては、「ロハスフェスタ 2019(万博記念公園) への2日間の出店や、株式会社良品計画様との共催ワークショップ「さをり織り体験」(無印良品 KYOTO イオンモール店)の実施もある。事業所の活動方向を思案する中で、それぞれの理念を学びながら大きな市場を体験できたことは、職員にとっても大きな財産となった。

反省をしながら、希望も感じながら、初めての試みも重ねた挑戦の一年でもあった。3月以降について

は、感染症予防の取組みから予定の行事やセミナー等を延期している。また、経営面では前年度に引き続き厳しい結果となったが、支援の質を低下させずに業務改善に取り組み検証を続けた。今後は、具体的な結果が出せるように事業運営を進めていきたい。

画像：株式会社 良品計画様との共催ワークショップ
(無印良品 KYOTO イオンモール店)

④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年 度	登録人数（月平均）	利用述べ人数	通所率
前年度	29.50 人	6,176 人	87.22%
今年度	31.17 人	6,028 人	86.83%

(2) 主な活動状況 補足（※1・2・3 月お誕生会 コロナウイルス感染予防の為延期）

開催日	内 容	場 所
5月26日（日）	スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然運動公園
6月26日（水）	4・5・6月お誕生会	ステーキ宮
7月 7日（日）	八木中央幼児学園保護者会バザー	八木中央幼児学園
9月25日（水）	7・8・9月お誕生会	ステーキ宮
11月 1～ 2日	ロハスフェスタ 2019	万博記念公園
11月24日（日）	あじさい園まつり	あじさい園
12月 1日（日）	南丹人権フェスタやぎ	八木東部文化センター
12月25日（火）	10・11・12月お誕生会	ステーキ宮
1月22日（水）	もちつき大会	あじさい園
2月22日（土）	株式会社・良品計画共催ワークショップ「さをり織り体験」 自由な色の組み合わせで作る世界で一つのフリークロス	無印良品 KYOTOイオンモール店

(3) 会議の状況

開催日	内 容	参加
4月12日（金）	家族会	全常勤職員
5月30日（木）	京都ほっとはあと南丹ブロック全体会議	1人
6月13日（木）	南丹市立障害者支援施設 運営委員会	1人
7月10日（水）	南丹市障害者就労支援ネットワーク会議	1人
9月12日（木）	交通安全教室	1人
9月25日（水）	第1回 南丹市心のバリアフリー推進協議会	1人
12月16日（月）	南丹市立障害者支援施設 運営委員会	1人
12月17日（火）	第2回 南丹市障害者支援ネットワーク会議	1人
1月30日（木）	南丹教育局管内 特別支援教育総合推進事業運営協議会	1人
2月26日（水）	第2回 南丹市心のバリアフリー推進協議会	1人
月 1回～随時	職員会議	全職員

(4) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
6月 5日（水）	音楽療法及び支援技能研修	全職員
7月10日、29日	京都府強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	1人
10月 2～ 3日	京都府強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	1人
10月10日（木）	食品衛生責任者養成講習会	1人
10月18日（金）	2019年度 障害福祉サービス経営セミナー	1人
11月 6日（水）	音楽療法及び支援技能研修	全職員
11月26日（火）	事業所向け食品表示講習会	1人
11月29日（金）	障害者高齢者虐待防止と施設事業所職員のメンタルケアを考える研修	1人

【今年度スローガン】 きめ細やかにニーズに応え、地域に根ざした施設へ

① 就労継続支援B型事業

授産事業については、定期的で開催している「ひよりカフェ」の利用を増やせるように周知方法を工夫し利用者、職員一丸となり意識して取り組んだ結果、前年度より多く地域の方にお越しいただく事ができ施設を知っていただく良い機会となった。地域の方との交流にも力を入れており、利用者にとっても大きな喜びやりがいとなった。このつながりが日頃の挨拶や声掛けなど地域での関係づくりにもつながっている。また、多方面から露店販売事業の販売の依頼をいただくことができ地域や他施設との交流もできた。

下請け事業は2月までは各企業から順調に頂くことができ収入も安定していた。しかし、3月に入り、新型コロナウイルスの影響が徐々に始まり、下請け企業から従来の部材が届かなかったり全体に動きが鈍くなる状態が続き年度末を迎えることになった。

全体として3月は大幅な収入減となったが、1年を通しては受注している仕事も安定し、前年度とほぼ変わらず工賃支給をすることができた。ボーナス支給総額は前年度と同額の支給ができた。

事業の柱となる新規事業の立ち上げは実現に向け準備を進めてきたが年度内に達成することができなかった。利用者のより安定した収入の確保、働きがいにつながるよう早急に進めたい。

② 生活介護事業

事業をプログラム化し、生活介護対象の利用者が楽しみを持ち通所いただけるよう意識し取り組んだ。ゆったり過ごせるプログラム、折り紙や塗り絵、散歩など少し変化のある楽しみも組み入れ、利用者の要望にも応えられるよう取り組んだ。今年度もスポーツのつどいへの定期的な参加を継続し、運動不足の解消、社会参加等リフレッシュの場を提供することができた。

日頃の過ごしの中では、ゆったりとした空間をつくることで職員と利用者との関係の構築を意識し、個々の思いを丁寧に聴く事で日頃感じていることや施設利用内外の悩みなど幅広く知る事ができた。また、高齢化や障がいの重度化による課題が明確になり関係機関と連携をして課題解決や利用者の安心につながるよう取り組むことができた。

③ 両事業共通事項

運営面では年度初め20名の登録からスタートし、年度途中の1名の退所、2名の新規入所で年度末には21名の1名増となった。

前年度と比較すると登録数が約1名減った状態となった他、長期入院や、感染予防の長期休みの方もあったが安定した運営ができた。

今年度も、個々のニーズに寄り添った作業内容の工夫や、作業外での小さな楽しみを意識して組み込み、利用者が楽しみを持ち通所できる施設づくりを目指した。

また、2年に1度の1泊旅行の年でもあり年度初めからの利用者の大きな楽しみと大きな目標に向けての健康管理、作業の頑張りとなり、旅行も思い出深いものとなった。

職員の資質向上では、復命研修を徹底することで研修に行った職員だけでなく職員全体で知識を得ることができ、日頃の支援にも反映することができた。

今後も利用者が健康で通所することが楽しく安心できるよう質の高い施設づくりを目指したい。

④ 通所の状況・活動の状況等



(1) 利用者通所状況

年度	登録人数（月平均）	利用総人数	通所率
前年度	20.75 人	3,546 人	68.4%
今年度	19.83 人	3,383 人	69.3%

(2) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
4 月 8 日(月)	花見昼食会	社協本所前
4 月 11 日(木)	社協日吉事務所事業まちカフェ販売	ゆう薬局
4 月 24 日(水)	社協日吉事務所事業絆の会販売	社協本所農事研修室
5 月 16 日(木)	南丹圏域ケアマネージャー研修販売	社協本所農事研修室
5 月 24 日(金)	民生委員交流会	ひより舎
5 月 24 日(火)	お楽しみ事業「DVD 鑑賞」	ひより舎
5 月 26 日(日)	京都府スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然運動公園
6 月 24 日(火)	お楽しみ事業「お菓子作り」	ひより舎
7 月 7 日(日)	森の学び舎オープンデー参加・販売	森の学び舎
7 月 12 日(火)	お楽しみ事業「DVD 鑑賞」	ひより舎
7 月 16 日(火)	ヘルパー座談会販売	社協本所
7 月 19 日(金)	避難訓練	ひより舎
8 月 9 日(金)	お楽しみ事業「お買い物と外食」	亀岡界限
9 月 1 日(日)	南丹船井母親大会販売	日吉町生涯学習センター
9 月 21 日(土)	日吉町ボランティア交流会販売	遊 YOU ひよし
10 月 6 日(日)	はぎの里まつり販売、交流	はぎの里
10 月 10 日～11 日	ひより舎泊旅行「芦原温泉と恐竜博物館」	福井県
11 月 17 日(日)	南丹市ボランティア交流会での販売	日吉町生涯学習センター
11 月 29 日(金)	お楽しみ事業「日吉ダム散策」	日吉ダム
12 月 5 日(木)	生活支援員交流会での販売	ガレリア亀岡
12 月 19 日(木)	歯科検診	ひより舎
12 月 20 日(金)	お楽しみ事業「買い物」	園部町内
12 月 27 日(金)	お楽しみ事業「茶話会」	ひより舎
1 月 10 日(金)	ひより舎新年会	ひより舎
1 月 22 日(水)	あじさい園餅つき大会参加	あじさい園
1 月 23 日(木)	口腔衛生指導	ひより舎
2 月 3 日(月)	お楽しみ事業「節分豆まき」	ひより舎
2 月 17 日(木)	お楽しみ事業「おかしづくり」	ひより舎
3 月 6 日(金)	避難訓練	ひより舎
3 月 9 日(月)	お楽しみ事業「散歩～避難場所を知ろう～」	ひより舎
3 月 12 日(木)	お楽しみ事業「昼食会～ひよりだけカフェ～」	ひより舎
3 月 27 日(金)	お楽しみ事業「DVD 鑑賞」	ひより舎
月1回	懇談会	ひより舎
月1回	ひよりカフェ（7.8.3月なし）	ひより舎
月1回	障害者スポーツのつどい（8、3月なし）	丹波自然公園
年3回	森の学び舎参加	旧五ヶ荘小学校
8月～11月数回	とっておきの芸術祭出展作品作成	ひより舎

(3) 会議の状況

開催日	内 容	参加
5月31日(金)	南丹市障害者就労支援ネットワーク会議	1人
6月13日(木)	南丹市立障害者支援施設 運営委員会	1人
11月15日(金)	家族会	1人
12月16日(月)	南丹市立障害者支援施設 運営委員会	1人
12月17日(火)	第2回 南丹市障害者支援ネットワーク会議	1人
2か月に1回	日吉町エリア会議（社協内部）	1人
2か月に1回	日吉障がい者支援ネットワーク会議	1人
年6回	人事管理新制度ワーキングチーム会議	1人
月2回	ひより舎職員会議	全職員

(4) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
5月31日(金)	メンタルヘルスケア研修	1人
6月4日(火)	福祉職のためのマナー研修	1人
7月 9～23	京都府相談支援従事者現認研修	1人
7月 10～18	強度行動障害研修	1人
7月25日(木)	食品表示法研修	1人
9月12日(木)	交通安全教室	1人
9月26日(木)	長生園職員虐待防止研修	1人
10月18日(金)	障がい福祉経営セミナー	1人
11月18日(水)	就労支援企業見学会	1人

6. 自立支援部門全体の取り組み

- (1) 自立支援部全体研修 …… 3月5日(木)：新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止
- (2) 自立支援部管理者会議 …… 月1回（メンバー：部長・課長・係長）

法人運営理念

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり

法人運営基本方針

〔住民との福祉の共創〕

すべての住民が支え合い、学び合い、福祉活動に参加できる地域社会を目指します。

〔福祉協働社会の構築〕

地域のあらゆる機関・団体と協働し、すべての住民が、心豊かで安全に安心して暮らせる福祉のまちづくりに、計画的に取り組めます。

〔選ばれる福祉サービスの提供〕

地域に密着した支援体制の整備・開発を提言・実施し、質の高いサービスを提供します。

南丹市社会福祉協議会 サービス精神

- 一、お客様にあくまでも満足していただくサービスを提供しなければならない。
- 一、サービスは、高度で専門的でなければならない。
- 一、サービスの提供は、的確にかつ迅速・効率的に行わなければならない。
- 一、常に、お客様の側に立って、助言を与えなければならない。

南丹市社会福祉協議会 職員心得

- 一、お客様にはいつもほほえんで、その場にふさわしいご挨拶をしよう。
- 二、どのお客様にも誠心誠意をつくして、丁寧かつ好意的な言葉と態度で接しよう。
- 三、お客様の様々な質問と要求には迅速かつ的確に答え、その場で答えられない問題は、自ら責任を持って回答を得るようにしよう。
- 四、お客様からの要求がなくとも、お客様のニーズを察知することによって問題を解決しよう。